

一處之長 ヒトコロノヒトゴノカミ	三・一六一五	長 ヒトナル	二・一〇六八。三・二〇七六。二〇八四。四・二〇〇〇。二四三四。二五二五。二五三一	從人 ヒトニシタガフ	三・二七二
未成人 ヒトナラズシテ	四・二六八〇	長與少 ヒトナレトワカキト	三・二〇七六	過人 ヒトニスグ	四・三〇〇
性(サガ)	一・一七〇。二・二六一。三・一五八一。四・二五七三。二六五八。二六八四。三〇四四。五・二六四。三三〇三。三三二七	一部(一部二十二卷)	五・六四六	超倫之氣 ヒトニスグレタルイキホヒ	二・九五三
質性(アレマシナガラ)	一・一七〇	士大夫 ヒトドモ	二・二七八	適人 ヒトニツグ	五・三三二
稟性	二・二九五。四・二七二。二七七七	士 ヒトドモ	二・二七六	適他 ヒトニツグ	五・三三二
情性	四・二九〇	人等 ヒトドモ	二・二七六	勿爲他欺 ヒトニツグ	四・二七〇八
爲人	二・一〇三三。三・一四三九。一四七四。一六八一。四・二六六六。五・三三三五。三三五四。三一六七。三六一九	人衆 ヒトドモ	四・二九六三。五・三三八〇	勿被他誑 ヒトニツグ	四・二七一一
性 惡	一・一七一	侶 ヒトドモ	四・二八九九	目勝於人 ヒトニマカツ	二・八四三
性 識	五・三三〇三	卒(イクサビトドモ)	五・三三九八	北敵 ヒトノタ	四・二七四〇。二七四二
爲成人	三・二〇七六	乏人時 ヒトモシキトキ	四・三〇六六	人兄 ヒトノアニ	二・一〇三五
不	三・二〇七六	衆中 ヒトナカ	三・一四七四	食人之禾 ヒトノアハチクフ	四・二七九〇
性 順	五・三三六四	衆 ヒトナカ	四・二五三四	他命 ヒトノイノチ	四・二四三五
性 懦弱	四・三三三八	非人 ヒトニアラズ	四・二七二八	世人短折 ヒトノイノチミジカン	二・九三五
		ひとにありせば(歌)	三・一七二二	世云 ヒトノイフ	四・二五七五
		悟人 ヒトニサトス	四・二七〇五	屋宇 ヒトノイヘ	四・二七一
		順人 ヒトニシタガフ	三・一七六九	人臣(巨勢...)	五・三四六六。三四六七。三四八五

他門 ヒトノカド	四・二六二七	ひととはいへど(歌)	二・一〇四四	一日一夜・隔離而住 ヒトヒロニ	一・二九八
他服 ヒトノキモノ	四・二七二二	ひととはいへども(歌)	二・一七七〇	一尋鰐 ヒトヒロニ	二・一〇三九。一〇四九
他界 ヒトノクニ	五・三八六八	一(ヒトヘニ)	三・一四六六。四・二四四八	單衫 ヒトヘキス	五・三三五六
人聲 ヒトノコエ	一・六五四	獨 ヒトハシラ	二・一一〇	ひとへだに(歌)	五・三四九二
他界 ヒトノサカヒ	四・二七三〇	一身 ヒトハシラ	二・一三三五	單使(ハヤツカヒ)	四・二七六九
點人面(點キザム)	四・二三八四	一軀 ヒトハシラ	四・二七四六	間 ヒトマ	五・三二六
人地 ヒトノチ	二・一一九〇	人柱(名柄橋人柱之事。繪灸人口。蓋起三千 茲)	三・二一九	間道(カクレミチ)	四・二七七五
人指甲 ヒトノマツメ	四・二五五七	第 ヒトハシラニアタリヌマフ	二・二七九	伺間隙 ヒトマチエテ	四・二六一四
一富二部之綾羅	五・三八六二	一神 ヒトハシラノカミ	一・六〇二	得間 ヒトマチエテ	四・二三二
他貨賂 ヒトノマナヒ	五・三三二二	獨居 ヒトハシラマシマス	五・三五五〇	一箕 ヒトマ	二・九八〇。一〇〇七
人身(ヒトゴトニ)	五・三三三三	一日 ヒトヒ	一・二九八。二・一〇三七。一〇四七三	ひとみつらむか(歌)	五・三三〇六
飲三人之水	四・二七九〇	人物 ヒトモノ	一・四九三。二〇八五。四・二四二一	一疋 ヒトムラ	三・三〇三四
他女 ヒトノメ	五・三三四二	諸人 ヒトビト	四・二六二七	舉燭 ヒトモシテ	三・一九七三
人臣 ヒトノヤクコ	五・三三七三	一人 ヒトヒト	五・三七〇六。三七三八	乘燭人 ヒトモシト	四・二八九九
他人屋內 ヒトノヤノクチ	一・四九三	日 ヒトヒ	四・二三六四	乘燭 ヒトモス	三・一七〇四
人代 ヒトノヨ	一・四〇〇		一・二三〇	一根 ヒトモト	四・二四六一
人生常分 ヒトノヨツネノコトワリ	四・二四二二				四・二四四八



一莖	四・二四八・三〇八〇	一身	一・三六四・五五三・二・九四七・九八五・一〇〇七・一〇〇九・一〇四九・一三五〇・一四四三	神	一・三六四・二・九四七
一百二十七歳	二・一四〇	一箇	四・二六九三・二六九六・二九〇一	一介之使(ヒトツツカヒノキミ)	四・三〇五八
一百人	四・二九〇〇	一騎	一・六三五・五・三三〇	一人	二・一〇一八・五・三一二六
囚園	三・一九七五	獨	一・六五四	客	二・一〇四九
囚獄	五・三七八九	一騎	三・二〇七・四・二八二	一貴人	二・一三五〇
廷尉	四・二七九二	一騎	四・二七六三	一希客者	一・九八五
牢園	五・三三四〇	獨	一・六三五・二・七三〇・三・一五五四	貴客	二・一〇〇九
獄中	五・三三二九	孤	一六二五・四・三〇五六・五・三五八一	一箇小男	一・六五四
一夜	一・二九八・二・七八六・九二二・九二九	特	四・二七二	一美人	一・九八五・二・一〇〇九
與一宵而脹	九四五・九五〇・九五三・九六四	獨見御	一・七〇	不 <sub>レ</sub> 得 <sub>二</sub> 一 <sub>一</sub> 存 <sub>一</sub>	一・五五三
一夜而有娠	二・二八六・一九〇	一人當千	五・三二六	孤獨	五・三八一八・三八五八・三九三七
一夜之間(アヒダニ)	二・七八六・九五〇	獨化	一・五〇	令 <sub>二</sub> 人 <sub>一</sub> 斷 <sub>レ</sub> 腸	三・一六三〇・二八一・二一九五
他是汝非	四・三〇六七	一長老	二・一〇〇七	司 <sub>二</sub> 牧人 <sub>一</sub> 神	二・一三三五
		一老夫	二・一四四三	吞 <sub>レ</sub> 人大蛇	一・五七五
		麗神	二・一〇〇九	仁	三・二〇八四・四・二四二

愛 <sub>レ</sub> 士	四・三五七一	夷守(地名)	三・一六四一	籬之川上	一・五九一・五四八・五六四・五七五
待 <sub>レ</sub> 士	四・二六八四	日根杵(人名)	三・一四六〇	籬之川上山	一・五七〇
敗 <sub>レ</sub> 俗(ナラハシチャブル)	四・二五〇〇	日爾立(山背臣)	四・二九三九	日神	一・一五〇・三五七・三五八・三六〇・三七一
絞 <sub>レ</sub> 人 <sub>レ</sub> 殉	五・三三四一	亞 <sub>レ</sub> 日	一・一五九	日尊神	一・四五五
戎夷	二・一四〇〇	配 <sub>レ</sub> 日	一・一五九	日神祀	四・二八六八
夷(エミシ)	二・一四〇〇	ひにはとをかを(歌)	三・一七〇四	檜(ヒ)	一・五八三・五八七
戎(西羌)	二・一四一一・三・一六六六・四・二四二・二四四九	日根(地名)	四・二四二一	火君	四・二七八三
雛	四・二六二七	日根野	四・二二六九	火國	三・一五九三・一五九六・一六四六・四・二六六〇
雛	四・二七九〇	短籍	五・三三四〇	火國春日部屯倉	四・二六六〇
雛	五・三三二六	火葦北國造	四・二八四一・二八四三	火國造	四・二六三〇
裔	五・三三九六	ひのいたどを(歌)	四・二五九八	火國別之始祖	三・一五九二
裔	四・二五〇〇	日出方	三・一六三三	檜隈(氏)	四・三三三八
ひなつめの(歌)	二・八一九	火上	四・二七二八	檜隈(大和地名)	四・二六六七
蠻所居	五・三九二七	丙	二・一〇八八	檜隈寺	五・三八〇二
夷曲	二・八一九	日臣命	二・二二八・一一九		
		日鏡	三・一四五三		











改<sup>ヒルガヘルココロ</sup>意 二・二九五  
 晝<sup>ヒルケキコトヨルノトシ</sup>暗如<sup>レ</sup>夜 三・二九二  
 蛭兒<sup>ヒルコ</sup> 一・二八、一四三、一六一、一七一、一七三  
 ひるつみに(歌) 三・二〇二  
 晝睡<sup>ヒルネムル</sup> 五・三四一  
 日也人作(作)<sup>ヒルハヒトツクリツケテ</sup> 二・二九九  
 晝<sup>ヒルミナマセリ</sup>寢 三・二四五  
 晝夜(ヨルヒル) 一・三九四、四三八、四・二八四  
 日夜(ヨルヒル) 三・二四六  
 嚙<sup>ヒルカミテ</sup>赫塗<sup>レ</sup>人及牛馬<sup>ニ</sup> 三・一七四  
 領巾<sup>ヒレ</sup> 二・二三八  
 ひれふらすみゆ(歌) 四・二七九  
 ひれふらすも(歌) 四・二九九  
 尋<sup>ヒロ</sup> 二・八四、九六三、一七九五、五・三三三  
 廣(身毛君…) 五・三五一  
 長菴<sup>ヒロキハラ</sup> 四・二二三  
 博<sup>ヒロクサカリナリ</sup>盛 二・一四六

寬博謹慎<sup>ヒロクツツシメテ</sup> 二・一三九  
 曠遠<sup>ヒロクトホシ</sup> 三・二六五、一八五、二一六  
 蕩蕩<sup>ヒロクトホシ</sup> 四・二八〇  
 廣國押武金日天皇<sup>ヒロクニオシタケカナヒノミコト</sup> 四・二六四  
 廣國排武金日尊<sup>ヒロクニオシタケカナヒノミコト</sup> 四・二五八、二五八三  
 瀾進<sup>ヒロクノブ</sup> 四・二七六  
 廣子<sup>ヒロコ</sup> 四・二八七  
 濶<sup>ヒロサ</sup> 五・三三八  
 廣<sup>ヒロシ</sup> 一・四八四  
 廣嶋(當摩公…) 五・三五二  
 廣隅(大藏直…) 五・三五九  
 廣瀨大忌神<sup>ヒロセノオホイミノカミ</sup> 五・三七八、三九五、三九三  
 廣瀨神<sup>ヒロセノカミ</sup> 五・三六九、三六八、三六九〇、三七〇一、  
 三七一四、三七一九、三七六八、三七九四、三八  
 六〇、三八六五、三八七七、三八七九、三八八〇  
 三八九五、三九〇二、三九一三、三九四一

廣瀨王<sup>ヒロセノミナ</sup> 五・三九九、三七三七  
 廣瀨野<sup>ヒロセノマダ</sup> 五・三七〇八  
 廣瀨勾原<sup>ヒロセノマガリノハラ</sup> 四・二八九七  
 廣田國<sup>ヒロタノクニ</sup> 三・一九一  
 廣足(佐伯連…) 五・三七〇五、三七一五  
 廣津邑<sup>ヒロツツムラ</sup> 四・二三五七  
 廣庭(波多臣…) 四・三〇三四  
 廣庭宮<sup>ヒロニハノミヤ</sup> 五・三七八  
 曠野(アラヌ) 四・二七六三  
 廣媛<sup>ヒロヒメ</sup> 四・二五八三、二五八八  
 廣姫<sup>ヒロヒメ</sup> 四・二八二五  
 拾<sup>ヒロフ</sup> 三・二一一三  
 採拾(トリヒロフ) 四・二七二八  
 廣矛<sup>ヒロボコ</sup> 二・七四七  
 廣麻呂(當麻真人…) 五・三七六七  
 寬<sup>ヒロム</sup> 二・一四二  
 闡<sup>ヒロム</sup> 二・一三三

弘<sup>ヒロム</sup> 二・一〇七、四・二九七  
 虺<sup>ヒロメク</sup> 四・二四九  
 恢弘(オホキニヒロム) 二・一〇七七  
 恢廓<sup>ヒロメヒラク</sup> 二・一〇七  
 廣山(柏原…) 五・三八八  
 出<sup>ヒラサシテ</sup>火 三・一六八  
 指<sup>ヒラサシテ</sup>火往之<sup>ユク</sup> 三・一六四  
 然<sup>ヒラツク</sup>火 五・三三〇  
 以<sup>ヒラツク</sup>火 二・九三九  
 放<sup>ヒラツク</sup>火 二・七六六、九五一、三・一四六  
 縱<sup>ヒラツク</sup>火 四・三〇七、二七五〇  
 舉<sup>ヒラトモス</sup>燭 五・三三三  
 取<sup>ヒラトル</sup>氷 三・二八六  
 含<sup>ヒラタム</sup>火 一・二六四  
 數<sup>ヒラヘテ</sup>日 四・三〇一  
 藏<sup>ヒラサメダマフ</sup>氷 三・二八七

歷<sup>フ</sup> 二・一〇七、一六六、四・二五五、二八七  
 積<sup>フ</sup> 二・一〇九  
 經<sup>フ</sup> 二・二四五、三・一六八、一八四  
 經(フルマデニ) 四・二〇五、二〇五五、二〇七六、二二二  
 經歷<sup>フ</sup> 四・二六三  
 兼(兼年) 五・三四一  
 吹<sup>フエ</sup> 四・二七三  
 吹 一・一八七、三・一八七、四・二七三、三〇  
 一六、三〇七、五・三六九、三七七  
 賦役<sup>アエキ</sup> 五・三三〇  
 ふえにつくり(歌) 四・二六三  
 ふえふきのほる(歌) 四・二六三  
 吹<sup>フエフク</sup> 五・三七四  
 吹 五・三三三  
 吹 三・二〇六  
 深<sup>フカク</sup> 四・二七二、二七四〇

深<sup>フカク</sup> 四・一九七  
 深草里(絶伊) 四・二六八  
 深草屯倉 五・三二八  
 深謀遠慮 一・三九六  
 深 二・九八〇、四・三三五  
 幽<sup>フカシ</sup> 三・一七四  
 渥田<sup>フカタ</sup> 五・三五八  
 富加拵(人名) 五・三五一  
 深紫<sup>フカムラサキ</sup> 五・三七六  
 深紫<sup>フカムラサキ</sup> 五・三六六  
 黑紫<sup>フカムラサキ</sup> 五・三六六  
 富干(人名) 五・三六三  
 深目(春日和珥臣…) 四・三二七、二五一八  
 深目(丹比…) 五・三三三  
 幽<sup>フカキコロ</sup> 五・三三三  
 幽抱<sup>フカキハナダ</sup> 五・三三五  
 紺<sup>フカキハナダ</sup> 五・三三五  
 紺幕<sup>フカキハナダノアゲハリ</sup> 五・三三三  
 幽深之致<sup>フカキムネ</sup> 一・六一七



賦積(賦部……)(溼積) 五・三三七  
 茸合 二・一〇三九  
 未合時 二・一〇一六  
 吹棄 一・三三六、三四〇  
 吹出 一・三六七、三六九、三七〇  
 墮風 三・一八四四  
 還息(フキヤム) 二・一〇五四  
 吹生 一・二九一  
 ふさなす(歌) 四・二六〇三  
 吹撥 一・一九五  
 揮 一・二二四、五・三五八  
 吹 一・一九五、二九一、三三六、三四〇、三六七、三七〇  
 茸 二・一〇一六、一〇三九  
 深(更深) 三・一六七二  
 福因(倭漢直……) 四・二九八六  
 福嘉(僧) 五・三九五  
 福信(人名) 五・三三五、三三八、三三八八

福富味身(人名) 四・二九〇六  
 福合 四・三〇四五、五・三三三六  
 福揚(僧) 五・三七三九  
 福利(鞍作……) 四・二九七〇  
 福林(僧) 五・三六二四  
 福亮(僧) 五・三三八九  
 囊 二・一〇〇七  
 負囊者 四・二四〇〇  
 吹負(大伴連……) 五・三五四四、三五五、三五五三  
 塞(フタガ)を見よ 三五六二、三五六七、三七二七  
 塞(厭(フタガ)を見よ) 四・二四九九  
 統 四・二四九九  
 總臨 五・三三八九  
 總攝 四・二八六九  
 攝 三・一九五一、五・三六八九  
 將臥之具 一・五八七、五九四

俯仰 四・二九〇一  
 不盡河 五・三二四七  
 柴籬 二・七四一  
 透地(一訓)(モヨヨフ) 三・一〇一六  
 柴島(シバシマ) 三・一七九五  
 臥泣 四・二四九九  
 布師首(ヌノシノオビト)を見よ  
 伏見陵(垂仁天皇) 三・一五六三  
 伏見陵(安康天皇) 四・二九九九  
 俯見村 四・二四〇七  
 臥 一・一七一、二・七〇〇、三・一七二四、四・三〇〇六、三〇〇七  
 伏 一・四七七、六二五、三・一八二五、四・二九〇一  
 俯 二・六七七、一〇〇九  
 仆 二・七八  
 服 三・二〇四六  
 衾 二・七六七、九三八、九六一、一〇四九、一〇五八

被 三・二二一〇  
 衣被 三・二二一一  
 防 五・三三九三  
 防禦 五・三三九四  
 拒閉 四・二四三三  
 拒戰 二・二一九九、三・一九四〇  
 拒戰 五・三二二六、三三九三  
 拒戰 四・二六二四、二六二五  
 防遏 一・九一〇  
 防護(ホセギマモル) 四・二五一一  
 距守 一・二七三  
 避 一・四九三、三・一四六八、一六二二、四・二二  
 距 四三、二八六三  
 防禦(ホセグ) 一・三五七、二・七四六、一・一五二  
 禦(ホセグ) 二・七四六、四・二七三五  
 拒 三・二〇三五、四・二四八四、二八七四  
 阻 四・三三六九

制 四・二七二五  
 禦 四・二七二五  
 防禁 五・三三五一  
 塞 五・三三五一  
 布勢朝臣・御主人 五・三八〇六、三八一九  
 富制 五・三三二四  
 布勢臣・耳麻呂 五・三三三八  
 布勢御主人朝臣 五・三三五六  
 經湍屯倉 四・二六六〇  
 蓋(間人連……) 五・三三九五、三六三五  
 蓋(大蓋・人名)を見よ  
 帳 四・二四九六  
 籍(一訓)(ヘノフミダ) 四・二六八九、二八二四、三三九七、五・三三七七  
 策(金策) 五・三三九二  
 兩首歌 二・二八九  
 二首 二・一〇四四

二上 二・七七六  
 二上峯 二・九四七  
 塞(ミテリ) 四・二六六〇  
 塞 五・三三六五  
 二階 五・三三三九  
 二等 五・三三三九  
 塞 一・三三〇、三・二二六、二一七  
 厭 四・二四八六  
 二種寶物 二・一〇三七  
 貳心 三・一九八六  
 貳心 四・二七〇二  
 雙生 三・一五七一  
 雙生 一・一〇一四  
 雙納 四・二五二五  
 再發(一發・再發) 二・二二六六  
 二竿(幡二竿) 四・一八〇一



二階	四・二九四七。五・三三一九	二面	五・三三三三	神	一・九八。一〇五。一三三。一三四。一三九
二王	五・三八六四	二領	五・三三三三	二疋(フタムラ)	一四二。一五三。一六七
二具(弓矢二具)	五・三三三三。三三三四	兩箇(兩箇蝦夷)	五・三五五六	二倍	四・二七七二
復(二訓)	二・一一九五	兩足	二・一〇四九	ふたへきて(歌)	五・三八二
再	四・二五七六。五・三三七八	兩脇	一・五六七	ふたへもよみ(歌)	三・二三四
再拜	四・二五七六	二谷	二・八三	ふたへもよみ(歌)	三・二三四
再	四・二五七六	二丘	二・八三	二疋(錦二疋)	三・二二〇
二隊	四・二四三五	雙墓	五・三一五	二疋(錦二疋)	四・二七七二
兩道入姫皇女	三・一七七三	雙日	五・三三三三	兩度再拜	四・二四三五
兩道入姫命	三・一七七三	二船	五・三三〇八	二萬餘軍	四・二九七九
二千餘里	二・一四三六	雙陵	四・二四九〇	二人	四・二九一四
二匹	三・一八五二。二一八五	兩槻宮	五・三三三三	二口	四・二七一〇
二疋	四・二七五六	二丘・二谷	二・八三	二騎	四・二七六三
二竿	四・二八〇一	兩	五・三七三五	二田造	四・二八七四
二隻	四・三三九一	二名洲	二・一一二〇		
二候(鷓...)	四・二九三二		一・一一〇。一三六。一四二		

ふたりこゆれば(歌)	三・二六六	藤原朝臣	五・三八〇六	神	一・九八。一〇五。一三三。一三四。一三九
二子	四・二八七六	藤原朝臣	五・三八二五。三八三一。三九三五	二疋(フタムラ)	一四二。一五三。一六七
二二三	三・一七八七	葛原朝臣	五・三九一一。三九一五	二倍	四・二七七二
ふたわたりす(歌)	二・一八六	藤原朝臣・大嶋	五・三八〇六	ふたへきて(歌)	五・三八二
不遲(大國...)	三・一五三八	藤原朝臣・大嶋	五・三八二五	ふたへもよみ(歌)	三・二三四
夫智(人名)	四・二六二三	葛原朝臣・大嶋	五・三九一一	二疋(錦二疋)	四・二七七二
淵	二・一四一五。三・二九四	葛原朝臣・麻呂麻呂	五・三九一五	兩度再拜	四・二四三五
派淵	三・二九三	藤原朝臣・史	五・三八三七	二萬餘軍	四・二九七九
鞭	三・一八七四	藤原朝臣・不比等	五・三九三五	二人	四・二九一四
藤形村	四・二四〇七	藤原池	四・二九七二。二九九四	二口	四・二七一〇
弗知鬼(地名)	四・二九三三	藤原姓	五・三四四八	二騎	四・二七六三
班駒	一・三八七。四・三七七。四五四	藤原内大臣	五・三四四八	二田造	四・二八七四
藤白坂	五・三三四〇	藤原内大臣	五・三四四五		
淵頭	二・二四一五	藤原内大臣薨	五・三四五一		
淵邊(フチノベ)	二・二四一五	藤原大臣	五・三四四六		
藤原(地名)	四・二六四。五・三四二九	藤原宮	四・二六四。二七一。五・三四三一。三八六		
藤原(氏)	五・三四四六。三六七九	藤原部	八・三六九六。三九〇二。三九一五。三九二五		



二田造鹽	フツクノミヤツコ シホ	五・三七五	太	フツク	二・八七五	大耳女・麻多鳥	フトミミノ マタラ	三・一四六一
都	フツク	一・六五四・六五七	武德(人名)	フトク	四・三〇七三	鯽魚	フナ	三・二二三二・四・二五二五
悉(フツクニ)	フツクニ	二・二五五・四・二八七・二八九七	懷(オモヒ)	フトコロ	四・二七四六	艘(幾艘)	フナ	三・二二三・四・三〇七七・五・三三三七
咸(一訓)	フツクニ	二・二二一	巨細	フトサホソサ フトシキタク	二・一三九四	隻(船二隻)	フナ	四・二七五六
忽(一訓)	フツクニ	二・二二一・四・二五九八	太立	フトサホソサ フトスワエノシナ	二・二一三三	ふなあまり(歌)	フナ	四・二七六
盡(一訓)	フツクニ	(コトゴトニ)	杖色	フトスワエノシナ	三・二二四	舟師	フナイクサ	二・一〇八一・四・二六一一・二七八三
盡(一訓)	フツクニ	二・一〇九六・四・二七四七・二八〇一	太手纏	フトダスキ	五・三七三三	船師	フナイクサ	三・一八六七・四・二四二〇・二四三七
經津主神	フツクニ	三・二七六	太玉命	フトタマノミコト	二・八九二	水手(カゴ)	フナ	三・一四五六
經津主神之祖	フツクニ	一・二〇七	太玉者(忌部遠祖...)	フトタマノカミ	一・四五六	水手曰鹿子	フナ	三・二〇三四
經津主神之祖	フツクニ	八七〇・八八四	太諄辭	フトノリト	一・四八八	水手曰鹿子	フナ	三・二〇三四
靈	フツクニ	二・二二四	大姫郎姬	フトヒメノイラツメ	三・二二三三	水手曰鹿子	フナ	三・二〇三四
佛法之初(ホトケノノリノハジメ)を見よ	フツクニ	五・三三八三	太姬皇女	フトヒメノヒメミコ	四・二八二六	鯽魚磯別王	フナ	三・二二三三
武帝咸寧元年	フツクニ	四・二八八四	太占	フトヒメノヒメミコ	一・一三三・二・八九八	船瀨(船居)	フナ	五・三九〇八
太市造・小坂	フツクニ	五・三三三三・三三三三	太真稚彦女・飯日媛	フトマシノヒメノコノ イヒヒヒメ	二・一八八四	船瀨沙門・法鏡	フナ	三・一六四六・四・二八二二・三〇四三・五・三四〇〇・三四三三
杖	フツクニ	五・三三三三	太耳(人名)	フトミミノヒメミコト	三・一四六〇・一五五八	發船	フナダツ	四・二九四二
繩	フツクニ	五・三三三三				鯽魚戶直	フナ	五・三三三三

岐神	フナトノカミ	一・二三二・二七二・二・八八四	舟	フネ	二七三五・二七五九・二七六九・二八二二	船材(ツムノキ)	フネノキ	四・三〇一七
隨船潮浪	フナナミ	三・一八六七	舟檣	フネノササ	二・二八四六・二八五〇・二九七四・三〇三六	船長	フネノカサ	四・二七五九
隨船浪	フナナミ	三・一八九七	舟	フネ	三〇七七・五・三三〇一・三三〇七・三三〇八・三三〇九	船官	フネノツカサ	四・三三七三
船樁(フナバタ)	フナバタ	二・七四一・七四三	舟	フネ	三九二・三三九七	船史	フネノフビト	四・二七五九・二九八八・五・三七三三
船人	フナヒト	四・二八三三	舟	フネ	一・五七〇・六五五・二・一〇八三・一〇九〇	船史・龍	フネノフビト	四・二九八八
發船(フナダチス)	フナダチス	三・一六四六・四・三〇三四	舟檣	フネノササ	一一五〇・四・二七六一・五・三三〇七	船史・祖・王辰爾	フネノフビト	四・二八一七
布那牟羅(地名)	フナムラ	四・二六三一	舟檣	フネノササ	二・一〇九〇	船史・王辰爾	フネノフビト	四・二八二四
扶南(南蠻國)	フナ	四・二七二〇	舟檣	フネノササ	二・一〇九〇	船史・王辰爾弟・牛	フネノフビト	四・二八二四
鯽魚女(難波玉作部...)	フナメ	四・二五二五	舟檣	フネノササ	二・一〇九〇	船史・王平	フネノフビト	四・二九七四
父奴(人名)	フナ	四・二九〇六	舟檣	フネノササ	三・一八五三	船史・惠尺	フネノフビト	五・三三六二
船(ツムを参照せよ)	フネ	一・一八・一六一・一七二	舟檣	フネノササ	四・三〇一七	船史(フナノヘ)	フネノフビト	三・一六一五
		二・七三七・八七五・一〇三三・一〇七七・一〇	舟檣	フネノササ	四・三〇七七	船賦	フネノミツキ	四・二七五九
		八・一一九〇・一四〇七・三・一四五五・一五	舟檣	フネノササ	四・三〇七三	船連之先	フネノムラシノオヤ	四・二七五九
		五八・一六五・一六九六・一七九一・一八〇一	舟檣	フネノササ	五・三三〇八	泊	フネノタタリ	四・二九八八
		一八〇二・一八六一・一八六六・一八七四・一八	舟檣	フネノササ	五・三三九四	浮海	フネノシラシ	三・二〇二〇
		九四・一八九七・二〇三四・二〇六六・二〇八九	舟檣	フネノササ	四・三三四四・二五五八・二六一三	破船	フネノシラ	四・二八二二
		二二四一・二二三〇・四・二六一五・二七三	舟檣	フネノササ	四・二九三三	吞レ船	フネノシラ	四・二八二二



不破(地名)	五・三六八、三五四四、三五四六、三五五二、三五五七、三五五九、三五八六	書紀	一・三九
不破道	五・三五三、三五三九	紀(マキ)	四・二五六
布帛の令	五・三二〇	本	四・三〇〇、五・三六三、三八五一
不比等(藤原朝臣……)	五・三九三五	記	四・二八三、二五二八、二五九〇、五・三二七
史(藤原朝臣……)	五・三八三七	本記(百濟本記)	三・三三四〇、三三四九、三三八七
史(骨)	四・二八〇四	本記(百濟本記)	四・二五九二
史(フミビト参照)	三・二〇四一、四・二八一七	經典	三・二〇四一
班雜毛(フフセ)	五・三二三	表	四・二七〇九、二七三二、二七九六、二八一三
銜	二・一八五	表	二九二一、三〇二八、三〇三五、五・三八八九
含	一・四一、二六四、三〇八、三七四	表狀	三・二〇六四
銜	四・二六一	表疏	四・二八一七
ふほごもり(歌)	三・二〇二四	表書	四・三〇二八
書	一・五三、五三〇、四・三五六、二七二三、二七九六、二九三九、五・三〇四	表文	五・三二五五、三二五七
文書	三・一八七九、五・三三二二	疏	五・三二一八、三二六二
令。論。經(ノリノフミを見よ)		纂記(イヘノツタヘアミ)	五・三八八〇
		傳記(シルシアミ)	四・二六八〇
		典(ノリ)(外典・内典)	四・二九二四、三〇三七

文筆	五・三八一五	書首(書首等之始祖)	三・二〇四四
斐然之藻(カタツクル)	四・二五九八	書首(加龍)	四・二三七九
文武官人	五・三八三六	書首(根麻呂)	五・三五二〇、三五五八
收表人	五・三三一七	五經博士	四・二六一二
躑躅	二・一三八七	書連	五・三七六八
書生(フミビト)	四・二九三九	式(兼式占)	五・三五五六
書	五・三二五四	書函	五・三五〇八
書直	四・三〇八六、五・三三〇八、三五四一、三七一〇	機槍(オシ)	五・三六四〇
書直	四・三〇八六	表面	五・三四〇六
書直	五・三五四一	國史	三・二二二二
書直	五・三五二〇、三七一〇	書生(フミナラフビト)	四・二九三九
書直	五・三三〇八	史(フビト)	三・二〇四一、四・二八一七、五・三六〇七
書直	五・三九二六	椽	四・二六八九
書直	五・三九二八	典	五・三八七四
文忌寸	五・三九二六	主典	五・三二八二、三三二二、三八六六
文忌寸	五・三九二六	主帳	五・三三〇三
文首	五・三三二九	録史(フビト)	四・二六二〇、五・三七三四
書首(河内書首)	五・三三二二		



破表 フミナブリスツ 三・二〇六四  
 踏 フミ 一・三三〇・二・七四一・一〇八・三・二〇八九  
 踏 フミ 二・一〇五五  
 踏 フミ 二・一〇九七  
 蹶 クウ 三・一四七四・一六二六  
 跋涉 フミユク 三・一七一七  
 履 フミ 四・二四八四  
 蹋 フミ 五・三五六八  
 籍 フミダ 二・一四〇二・四・二九六八  
 陰陽 フミナツ 三・一七一七  
 零 フミ 三・一九五六  
 富羅母智 ホラモチ 人名 二・八一九  
 曲 ヒナフリ 二・八一九  
 濯 フミスグ 一・三三六・三・四〇〇・三・五九  
 振起 フミタツ 一・三三〇  
 振媛 フミヒメ 四・二五六九  
 揮 フク を見よ

枚 ネリ・ヒラ 三・一九七二  
 降 フル 三・二五九・二四八三・四・三〇四四  
 下 雨下 五・三二〇・三・一五九  
 零 フル 五・三六七〇・三・七六五  
 發 大雨 三・一四六五・一四六六  
 觸 フル 四・三三三〇  
 經 經三國司等 五・三五五三  
 雨 フル 三・一六二四  
 古市 河内國 四・二八二  
 古市 黑麻呂 五・三五五九  
 古市郡 フルイナノホリ 四・三三七九  
 古市高屋 丘陵 安閑天皇 四・二六六五  
 舊市邑 フルイナノホリ 三・一七三〇  
 古老 フルイナノホリ 四・二四八四  
 著宿 フルイナノホリ 四・二四八九  
 舊宮 フルイナノホリ 五・三七七〇  
 古冠 フルイナノホリ 五・三三六九

古俗 フルキナラハシ 四・二八九四  
 典故 フルキナラ 五・三八四四  
 古人 フルキナラ 四・二七〇四  
 古京 フルキナラ 五・三五六二  
 古語 フルコト 二・一三二四・四・二八三九  
 舊例 フルコト 四・二五六〇  
 陳酒 フルサカ 五・三三四七  
 古市 舊市 フルイナ を見よ 五・三三四七  
 陳榮 フルサカ 五・三三四七  
 振根 出雲 二・一四二二  
 振之神 カミスギ 四・二四六九  
 振神宮 フルノカミノミヤ 三・三二一〇  
 布留連 フルノムラシ 五・三七五五・三七六一  
 奮 フルハス 一・三三〇  
 古人大兄皇子 フルヒトノオヒネ 五・三三二四・三・二九・三・二六七  
 古人大兄皇子謀反 五・三三一九  
 古人皇子 フルヒトノミコ 四・三〇七二・三・一七九・三・一九一

振姫 フルヒメ 四・二五六九  
 兢戰 オツ 三・一四六四  
 搖震 ワナナキフルフ 四・二八六二  
 掉戰 フルヒワナナク 五・三三五七  
 戰慄 フルヒオノク 二・二二六六  
 容止 フルマヒ 四・二二四一  
 威儀 フルマヒ 四・二二九〇  
 進止 フルマヒ 五・三六八一・三・七三六  
 觸 フルルカラニ 四・二二二〇  
 ふるをすぎて 歌 四・二五四九  
 科 フルオホス 三・二〇一三  
 ふれたつ 歌 三・二〇六八  
 武烈天皇紀 四・二五五三  
 武烈天皇元年己卯 四・二五五七  
 武烈天皇二年庚辰 四・二五五七  
 武烈天皇三年辛巳 四・二五五七  
 武烈天皇四年壬午 四・二五五八

武烈天皇五年癸未 四・二五六〇  
 武烈天皇六年甲申 四・二五六〇  
 武烈天皇七年乙酉 四・二五六二  
 武烈天皇八年丙戌 四・二五六二  
 武烈天皇崩御 四・二五六四  
 武王 フルワウ 五・三三二七  
 斧鉞 フルベツ 三・一六八〇・一六八一・一八五七・四・二六一  
 七・五・三五六〇

樞 ハタ 二・七四二  
 重 フル 二・一〇三五  
 戶 フル 二・一三五七・四・二六八九・五・三二  
 七・一三八四・三・三九七・三・三八八五  
 艦 フル 三・一〇九二・五・三三七〇  
 舳 トモ 三・一六一五・一七九五・五・三三七〇・三・八四四  
 貫 戸也 四・二五九二

秉炬 多妣 一・二五七  
 兵 ツバモノ を見よ  
 兵士 イクサビト を見よ  
 平壤 ヘキシヤク 地名 を見よ  
 兵制 フルイナ 五・三三五  
 兵馬の司 ツカサフネ 船の官 四・二三七三  
 不宜 ベカラズ 一・一五四  
 不可 ベキニアラズ  
 不合 ベカラズ 一・五七五・四・二五七九・二・九五七  
 四・二三四四・二・八三三・五・三三四九・三・三五〇  
 不容 ベカラズ 四・二四二二  
 不須 ベカラズ 二・八六九・五・三三四七・三・二九四  
 平壤 ヘキシヤク 四・二七四四・二・七五三  
 辟支山 ヘキシヤク 三・一九八〇  
 日置部 ヒオキベ 三・一五四七  
 折 ヘツル 四・二七〇五  
 折 當折 其代 五・三八九八







外(ト) 二・一〇〇九。一三四九。四・三六九。二四三  
 四・二六〇。二八七六  
 表(海表・ワタノホカ) 四・五九四。二八四三  
 二九八〇  
 以外 五・三三三。三六五一  
 外門 四・四三四  
 邊賊之難 五・三五四三  
 如(ユタカニマシマス) 四・二五七一  
 壽 四・二四六二  
 ほぎくるほし(歌) 三・一九六一  
 祝詞 五・三四六二  
 ほぎもとほし(歌) 三・一九六一  
 呪(ホサク) 二・八〇九  
 祝 二・九〇五  
 壽 四・二四六二。二四六九  
 五・三六六四  
 林刺破(人名) 五・三六六四  
 北廳(マツリゴトヤ)を見よ  
 朴(ヨクダク) 五・三九〇六  
 朴德(人名) 三・一五五三。五・三六二七  
 祠庫 三・一五五三  
 神庫隨樹梯 三・一五五三  
 法華經 四・二九六六  
 北陸道(クヌカノミチ)を見よ  
 矛 一・九二。一三七。四四四。二・七四七。四・三〇六一  
 戈 一・九二。一三一。一三三。二・一三三  
 槍 二・一四〇八。五・三三二  
 四・二七六四  
 戟 四・二七九〇。二七九七  
 鉤戟 四・二七九七  
 梓 三・一四五〇。五・三三二  
 梓削寺 五・三三一  
 一・九二  
 矛鋒 一・一三三  
 戈鋒 一・一三三  
 鋒末 四・二七六四  
 梓一枝 五・一四五〇  
 弄槍 二・一四〇八  
 矜 四・二四〇九  
 菩薩 五・三二〇五  
 談笑(ホタキゴト) 五・三二六八  
 祝 一・四六四  
 祝 四・二七九二  
 呪(カシル) 三・一六二九  
 渠帥(イササ) 四・三〇八六。五・三三八三  
 法師(ホフシ・法師・ホウシ)を参照せよ  
 僧 四・三〇九一。五・三三三。三二八九  
 五・三七七  
 師(法師) 五・三三九二  
 師(法師) 五・三四一八  
 沙門 五・三四三八。三九〇八  
 星 二・一〇〇七。三・一八三。五・三三三。三四四〇  
 星川臣 四・三〇八二。三〇八六。三〇四  
 五・三七五一

星川臣・麻呂 五・三六八八  
 星川王 四・二四二二  
 星川皇子 四・二四三四  
 星川稚宮皇子 四・二四三七  
 撞 一・四九九。四・五三三。二七一八。五・三三  
 一五・三三六〇  
 徑 二・一六五  
 專(タクメ) 二・二七〇  
 自由 二・二六二。四・二四三四  
 四・二三四。二六一  
 肆 四・三三九二  
 縱肆 四・二七二四  
 可得 四・二七四〇  
 恣情 四・二八七四。五・三一九三  
 恣 五・三三九三  
 縑素 五・三四一八  
 北叱智(人名) 四・二九九四  
 星神・香々背男 二・七五三  
 星辰 三・二二一〇  
 星辰漏壞 三・二二一〇  
 星辰 四・二六三三  
 星辰 五・三六二八  
 占星臺 五・三三五六  
 含(食嗜)(ツナシム) 五・三三五六  
 三・一八七四  
 乾 二・九三三  
 火進命 二・七六六。七九四  
 火闌降命 二・九二九。九三三。九七〇。九九五。一〇  
 〇七。一〇二六。一〇三九。一〇七  
 火闌降命自有(海幸) 二・九七三  
 防禦(フセグ) 二・九一〇  
 防禦(フセグ) 二・七四六  
 防禦(フセグ) 二・一三六三。三・二二一六。四・二七四  
 〇・二七四三  
 距 三・二二七六  
 臨祝(オセル参照) 二・八二三  
 瞻望(オセル参照) 二・一四四  
 臍 一・一七八。二・八四二。一〇一  
 細川山 五・三六四九  
 蔓椒 五・三三四七  
 細響 五・三三九〇  
 管 五・三三三二  
 細 二・一三三  
 細 二・一〇七  
 細繩 五・三七〇八  
 細布 二・九三三  
 臍絡 二・一三〇〇。一三〇七  
 細媛命 二・一〇一  
 臍見長柄丘岬 四・二四四〇。二四五五  
 細目(粟田臣) 五・三三二〇  
 細開(ホソメニヒラケ) 一・四二四。四八六  
 細目臣(粟田) 四・二九九四







焰ホノ 二・九二九  
 火燄ホノ 二・九三三、四・二八四九  
 火炎ホノ 二・九五〇、四・三九三  
 焱ホノ 起 四・二七二  
 焱皇子ホノ 四・二七〇  
 引ホノ 五・三七八五  
 法鏡ホノ 五・三九〇八  
 法興寺ホノ (アスカノテラ) 参照  
 法興寺造竟ホノ 四・二八九九、二九〇〇、二九〇七、二九二四、  
 五・三六一、三六九、三九八〇  
 法藏ホノ 四・二九三〇  
 法師ホノ 僧・沙門・大德等 五・三七七五  
 大德ホノ (省呼) ホシ音便ホウシ和訓ノリノシ) 参照 五・三八二五  
 法師君ホノ 四・二五六一  
 法定ホノ (僧) 四・二九九一  
 法定照ホノ (僧) 四・二九一一  
 法頭ホノ (ノリノツカ) 四・三〇三九  
 法忍ホノ 僧 五・三七九〇  
 法辨ホノ (僧) 五・三四三八  
 法隆寺ホノ (火災) 五・三四六二  
 法隆寺ホノ (斑鳩寺) を参照せよ  
 屠ホノ 四・三三七一  
 屠ホノ 四・二七九〇  
 法員ホノ (僧) 五・三九一八  
 燧火ホノ 二・九五七  
 穗瓮君ホノ 四・二五二三  
 略ホノ 四・二七二四  
 法提ホノ 郎媛ホノ (法提) 四・三〇七二  
 火出見ホノ 尊ホノ (彦火火出見尊に同じ) 二・一〇〇八、一〇〇九  
 其條をも参照せよ 一〇一〇、一〇一三、一〇一六  
 鎌間丘ホノ 二・二二三三  
 善ホノ (ヨキ) 四・二七六二、二九五三  
 譽ホノ 四・二六〇七、五・三二一一  
 積ホノ 善ホノ 餘ホノ 慶ホノ 五・三四四五  
 褒ホノ 善ホノ 四・二四九六  
 稱ホノ 其善ホノ 四・二七六二  
 火麻呂臣ホノ (何倍) …… 四・二六六七  
 陷石ホノ (ホムシ) 三・一六二六  
 踐ホノ (フム) 二・一三九四  
 蹈ホノ (フム) 三・一六五五  
 善ホノ (ヨシトス) 一・二八六、二・二七六  
 譽ホノ 二・一一一九、五・三五五〇  
 褒ホノ 二・二一九八、四・二四九六、五・三三九二  
 賞ホノ 三・一五三三  
 美ホノ 三・一六七七、一八〇二  
 讚ホノ 四・二三三五、一七四六、二七五五、三三三五  
 嘆ホノ 四・二六八二、二七八三  
 稱ホノ 四・二七六二

讚美ホム 四・二八一七  
 稱嘆ホム 五・三三三〇  
 褒美ホム 五・三三七七、三三八九、三  
 三〇四、三三五一、三九三四  
 布彌支ホム (地名) 三・一九八〇  
 火産靈ホム 一・一八〇  
 踐立ホム (穴門直) …… 三・一八〇九、一九〇〇  
 譽田天皇ホム 三・一八八九、一九九七、四・二五六九  
 五・三三三七  
 胎中之帝ホム 四・二五九六、二六七四  
 胎中天皇ホム 四・二六二四  
 譽田陵ホム 四・二三七九  
 譽田別神ホム 三・一九九九  
 譽田別皇子ホム 三・一九五四  
 譽田別尊ホム 三・一九七五、一九九九  
 品治ホム (多臣) …… 五・三五五七、三五六五、三七三四  
 品遲部ホム 三・二一六四  
 品遲部ホム 雄鯽ホム 三・二一六四  
 譽津別ホム 三・一四八六  
 譽津別命ホム 三・一四三五、一四六八  
 譽屋別皇子ホム 三・一七八二  
 火炎ホム (ホノホ) 二・九三一、九五二  
 詠德之音ホム 三・二一〇九  
 頌音ホム 三・二一〇九、四・二九五三  
 頌德ホム 三・二一一〇  
 美聲ホム (ヨキナ) 四・二六六〇  
 梵音ホム (ノリノオト) を見よ 五・三四七六、三九二〇  
 梵衆ホム (ホウシドモ) を見よ 四・二七〇八  
 本實ホム (黄書造) …… 五・三四七六、三九二〇  
 褒讚ホム 四・二七〇八  
 稱ホム 四・二三五四  
 褒賞ホム 五・三三八二  
 稱ホム (タタヘマナス) 二・二二四、四〇三、一六七四、二二五  
 失火ホム 五・三四二〇、三六八六、三七八五  
 吠ホム 二・一〇二六  
 吠狗ホム 二・一〇三六  
 吠聲ホム 四・三〇八三  
 火夜織命ホム 二・九六八  
 發覺ホム (アラハル) 四・二六五七  
 步廊ホム (カキ・ホソドノ) を見よ  
 堀江ホム 三・二二六、四・二七五〇、二八五九  
 母夫人ホム (高麗語) 五・三四四〇  
 欲ホム (オモフ) 一・一五七〇、三・一五八一、二二五五、二二  
 六四、四・二三七九、五・三三三六  
 願ホム 四・二四四八  
 思欲ホム 四・二八二二  
 不ホム 欲ホム (舊訓ホニセツ) 三・一五八一、二二五五、二二六四  
 不ホム 願ホム (舊訓ホニセズ) 四・二四四八  
 堀ホム 一・三三六、四・二七七三



掘 二・一六五。四・二五五七  
 開 二・一四三。三・一五四三。四・三〇四四  
 髮 四・二五〇二  
 穿 四・二五六一。五・三三三七  
 折 五・三二五三  
 迅於滅没(ホノカニシテ) 四・三三七九  
 亡 五・三三九三  
 滅鈎 二・一〇三三  
 存 四・二六一七  
 喪亂 五・三三六九  
 滅 二・七八六。四・二七〇八。二七二二。二七八九  
 亡 四・二七二二。二七三三。二七七八。二七七九  
 五・三一八九。三三九〇  
 所滅 二・一三〇四  
 見レ亡 四・二七〇二  
 見レ亡 四・二七二五  
 滅 三・一六二六。一六二九。四・二

盡 七七五。二七八九。二八一  
 亡 四・二四二一  
 絶滅 四・二七〇二。五・三二一五  
 四・二八三九  
 五・三二二八  
 火折尊 二・九二九。九五二。一〇四七。一〇五三  
 一〇五八  
 火折彦火火出見尊 二・九三三  
 火折彦火火出見尊 二・九三三

東宮開別皇子(東宮) 四・三〇九三  
 毛治(人名) 五・三八四  
 卿(マヘツキミ)の音便 一・二四五  
 枉 二・二六一  
 禍 二・一六七一  
 禍害 三・一六七七  
 眼火耀(マノカカヤク) 三・一八〇九  
 眼炎國 三・一八九四  
 籬 五・三三二四  
 藩屏(カクレマガキ) 四・二五九四。二七九〇  
 凶惡事 一・二四五  
 眞麿 二・一六三  
 眞鹿兒矢 二・八〇七。八〇九  
 任 三・一四三三  
 引(引水) 三・一八五〇  
 溉(澆水) 四・二六四九  
 まかすけばこそ(歌) 三・二一五五

當御 二・九二二。九一四  
 侍者 二・一〇〇九  
 從女 四・二八〇一  
 曲玉 一・三六四。三六七。四八〇。二・八三二  
 目勝 二・八四二。八四六  
 退(マカル) 四・二九五三  
 出 四・三〇五八  
 一・二四四  
 枉津日神 五・三二一八  
 退散(マカリアラク) 二・二一九。二七三  
 彎(ヒキマカナフ) 二・二一九。二七三  
 擬(サシマカナフ) 四・二九〇一  
 禍心 二・二六一  
 禍害之數 三・一六七七  
 三・一八五七  
 錯亂 三・一八五七  
 眞上田・子人君 五・三六五五  
 眞神原 四・三三〇。二九〇七  
 眞髮觸奇稻田媛 一・五六四

麻加牟(人名) 四・二七二〇  
 退散 五・三二一八  
 出 四・二四九〇。二四九一  
 退 五・三三〇四  
 正夫人(韓語) 四・二七三六  
 歸 三・一四三二。一九五七。四・二三五二。三〇一  
 三・三六三三。三六四三  
 還 三・一九五七  
 罷歸 四・二七三三。二七五〇。二七四一。二七五三  
 二七六八。五・三四七九。三五二一  
 勾子(青海夫人……) 四・二六九〇  
 避 三・二二四九  
 致仕(マカリシヅク) 三・二〇三三。二〇三四  
 三・二〇三三。二〇三四  
 致仕(マカリサル) 三・二〇三三。二〇三四  
 上臣(韓語) 四・二六二六。二六二七。五・三四三八  
 勾玉(マガタマ) 三・一五五六  
 去・留 四・二七七七

曲殿 四・二八〇二  
 世子(マカリヨモ)韓語 四・二七三八  
 臨死 五・三七八八  
 勾大兄皇子 四・二五八三。二五九八  
 勾大兄・廣國押武金日天皇 四・二六四三  
 勾金橋 四・二六四五  
 勾金橋宮 四・二六六五  
 勾舍人部 四・二六六〇  
 勾原 五・三七二九  
 勾宮 四・二八九七  
 勾靴部 四・二七五九  
 辭(イトママチシス) 三・一六八七  
 世子(韓語)(マカリトモ) 四・二七三六  
 曲峽宮 二・二八四四  
 就 一・三〇八。三三三  
 退(シヅク・マカツ) 一・三三三。三・一〇三三



去 <small>マカル</small>	四・二三四。二九五。三〇六七。三〇八一	薨 <small>マカル</small>	三・一七五四。一七五七
就 <small>マカル</small>	一・四九九。四・二六一	枉 <small>マカル</small>	四・二九五二
歸 <small>マカル</small>	一・五二五	勾 <small>マカル</small>	三・一八〇二
行 <small>マカル</small>	二・一一一。三・一五四。一六六九。二二二八	死者 <small>マカル</small>	四・二六三一
發 <small>マカル</small>	二・一四〇〇	鈎爪 <small>マカル</small>	四・二七九〇
往 <small>マカル</small>	二・一四二。三・二〇八七。二〇八八。四・二	亡者 <small>マカル</small>	二・二七八
還 <small>マカル</small>	二六三。二三四九。五・三七三五	死人 <small>マカル</small>	二・二八三
向 <small>マカル</small>	三・一四三九	死者 <small>マカル</small>	二・二八三
至 <small>マカル</small>	三・一七五七。四・二六八二	死亡者 <small>マカル</small>	二・一三三七。四・二七三六
之 <small>マカル</small>	五・三五二	直 <small>マカル</small>	四・二九五二
罷 <small>マカル</small>	五・三八〇。三二二	枉 <small>マカル</small>	四・二九五二
死 <small>マカル</small>	四・二六一。二七二〇。二七六六。二七八七	疋 <small>マカル</small>	一・三九〇
隱 <small>マカル</small>	二八二。二八四九	被 <small>マカル</small>	三・一四三七。一九七二。二二三。四・二
	一・三三九。三〇〇。三・一四六九。一六二五	播殖 <small>マカル</small>	七七一。五・三二一〇。三三七八。三四三四。三
	四・二九七六。五・三二二六		六九二。三七七七
	二・七四七		一・五八三。五九六。二・二五五

拜 <small>マケタマフ</small>	三・一七五四	求 <small>モトム</small>	三・二八五二。三〇一七。五・三二二九
設 <small>マケタマフ</small>	一・三五七。五五五。二・一〇三三。一〇四九	尋覓 <small>モトム</small>	四・三三七
	一一三。三・一四四。四・二五七。二七	莫哥武連 <small>人名</small>	四・二七六九
	〇五。二九一五。五・三九一六	莫奇委沙奇 <small>人名</small>	四・二七六九
儲 <small>マケタマフ</small>	五・三二七	莫古 <small>人名</small>	三・一九七一
罷 <small>マケタマフ</small>	二・九二二	莫古 <small>人名</small>	四・二七六八
枕 <small>マケタマフ</small>	二・二〇四。三・一四六六。四・二三	莫古解 <small>人名</small>	四・二五二
	〇〇。五・三六八	秣 <small>マケタマフ</small>	四・二三七九
藉 <small>マケタマフ</small>	四・二七三三	まぐずはら <small>歌</small>	五・三四九二
纏 <small>マケタマフ</small>	一・三三八。三七四。五〇六	蠶 <small>マケタマフ</small>	四・二四四八
播 <small>マケタマフ</small>	一・三八三。四七七	妙美 <small>マケタマフ</small>	二・一〇〇九
耕 <small>マケタマフ</small>	四・二五二五	眼妙 <small>マケタマフ</small>	二・一三三三
負 <small>マケタマフ</small>	一・二七九	目妙 <small>マケタマフ</small>	二・一三五〇
枉 <small>マケタマフ</small>	五・三五二	違合 <small>ミトノマクハヒ</small>	一・一〇七
勾 <small>マケタマフ</small>	三・一八四七	爲夫婦 <small>同上</small>	一・九八。二二八。一四一。一四三
寬 <small>モトム</small>	一・五一九。二・七七六。九一八。九七七		
	一〇〇七。三・一四四三。四・二三七九。二七三		

合 <small>マケハヒス</small>	三・一四四四	交 <small>マケハヒス</small>	四・二四四八
得交 <small>マケハヒス</small>	三・一〇三一	得交 <small>マケハヒス</small>	三・一〇三一
真嚙 <small>的臣</small>	四・二八八九	枕 <small>マケ</small>	二・一〇四。三・一四六。四・二三〇〇
			五・三六九
頭 <small>マケ</small>	四・三三〇	頭邊 <small>マケ</small>	一・一〇三。二六一
孫 <small>マケ</small>	一・五五二。五・三二九	術 <small>ハケ</small>	二・一〇五三
術 <small>ハケ</small>	二・一〇五三	枉 <small>マケ</small>	四・二四五四
不負 <small>マケ</small>	一・二七九	拜 <small>マケ</small>	四・二四九六。二六八三。二八〇四
選任 <small>マケ</small>	五・三八六四	眞毛津 <small>人名</small>	三・二〇三五
眞毛津 <small>人名</small>	三・二〇三五	猥 <small>マケ</small>	四・二四八九



任所(コトヨサシドコロ) 三・一七五七。五・三二三八  
 任(マケドコロ) 五・三二二二  
 之(マケドコロニマケル) 五・三二八〇。三二二一  
 拜(マケヌ) 五・三三七七  
 儲用鐵(マケノカネ) 五・三七七七  
 貳(マケノキミ) 三・二〇八五  
 儲君(マケノキミ) 三・二二三七  
 維城(ヒツギノミコ) 四・二五七九  
 東宮(ヒツギノミコ) 四・二八三二。二八六九。三〇九二。五・三四八一  
 皇大弟(マケノキミ) 五・三五一一。三五四〇  
 大皇弟(マケノキミ) 五・三五四二。三五四九  
 設匱(マケノモノ) 五・三二一八  
 儲用物(マケノモノ) 五・三七七七  
 信(マコト) 二・七八六。四・二九五五。二九五六  
 誠欸(マコト) 二・八八七

實(マコト) 二・一〇三三。三・一九五七。一九七六。四・二七四一。三〇一一。五・三三七二  
 效(マコト) 二・二一九八  
 眞(マコト) 三・一四三三  
 欸(ホモコロナル) 三・一九八五  
 丹誠(マコト) 四・二七〇八  
 血(心血) 五・三三七三  
 虛實(マコトイッハリ) 一・三六六。三・一九五七。四・二七四一  
 是(マコトイッハリ) 三・二〇一一  
 忠誠(マメゴコロ) 四・六六九〇  
 丹誠(マコトイッハリ) 五・三三八八  
 語(マコトイッハリ) 五・三四二九  
 實哉(マコトナルカナ) 四・三〇一一  
 實(マコト) 一・三〇〇。三八六。五一五。二・七八。九二九。九六四。一〇〇九  
 固(マコト) 一・三六〇。二・九五〇  
 寔(マコト) 三・二〇七六

允(マコト) 四・二三六九。二五七九  
 良(マコト) 四・二六二四  
 適(マコトニシカナリ) 五・三五八八  
 適是也(マコトニナレリ) 五・三五八八  
 允濟(マコトニマカス) 四・二三六九  
 任眞(マコトニエアリ) 三・一四三三  
 良有以也(マコトナルカタチ) 四・二六二四  
 實(マコト) 五・三一八三  
 誠欸之至(マコトノイタリ) 二・八八七  
 丹心(マコトノココロ) 四・二九二二  
 誠欸(マコトノココロ) 四・二五七九  
 誠(マコトノココロ) 四・二六五三  
 忠誠(マコトノココロ) 四・二六九〇  
 精誠(マコトノココロヲクサス) 四・二七〇五  
 盡誠(マコトハコレトワリノモトナリ) 四・二九五五  
 信是義本(マコトハコレトワリノモトナリ) 四・二九五五  
 間狹(丘首……) 四・二八二二

正勝吾勝々速日天忍穗耳尊(マサカガカツカチハヤビアマノオシホネノミコト) 一・三四〇。三七四。二・六六七。八二三  
 正哉吾勝々速日天忍骨尊(マサカガカツカチハヤビアマノオシホネノミコト) 一・三五九  
 正哉吾勝々速日天忍穗根尊(マサカガカツカチハヤビアマノオシホネノミコト) 一・五〇六  
 眞坂樹(マサカガ) 一・四〇六。四六。四八〇  
 正勝山祇(マサカガマツミ) 一・二六二  
 斧鉞(フヱツ) 三・一六八〇。一六八。一八五七  
 顧眄之間(ミルマサカリ)を見よ 四・二六一七。五・三五六〇  
 眞途國(マサキクニ) 二・一二三三  
 眞鋒田(眞) (マサキダ) 四・二二三四  
 眞鋒田(高天) (マサキダノタカマ) 四・二二三四  
 眞鋒田(高天) (マサキダノタカマ) 四・二五九八  
 弄(マサリ) 三・一六七二  
 正哉吾勝(マサシカモアレカチヌ) 一・三七四  
 正(マサシキツキテニマン) 四・二四八六  
 正(マサシク) 五・三二四二

坐(マサス) 三・一四七九  
 請(マサス) 四・二九六五  
 當(マサニ) 一・一〇四。一二七。一三八。一五四。二一九  
 方(マサニ) 二・三〇。二四〇。三六七。四九九。五〇二。五一五。五三五。五五五。二・七四六。七八六。一〇一六。四・二七〇五。二七七七  
 方(マサニ) 一・三六〇。三八七。四六五。五五三。二・九六四。四・二七三〇。三七六六  
 將(マサニ) 一・三六五。五六七。二・八四二。八八四。一〇九六。三・一六二六。四・二九〇四  
 正(マサニ) 一・五五三。二・七一八  
 正當(マサニイマ) 四・二七五七  
 方今(マサニイマ) 四・二七四九  
 優劣(マサリオト) 五・三三七〇  
 益(筑紫史……) (マサル) 五・三三七四  
 勝(スグル) (マサル) 二・一〇四九。三・二〇四一。四・二七三。二九五六。五・三〇九七

愈(マサル) 三・一八〇九  
 多(マサル) 三・一八九四  
 優(マサル) 四・二九五六  
 益(マサル) 五・三三四七  
 加(マサレル) 五・三三三三  
 多(サハナル) (マサレル) 三・一八九四  
 增換(マシカフ) 五・三四〇二  
 間敷屯倉(尾張) (マシキムツケ) 四・二六六〇  
 麻自許理(マシヨリ) 一・六一二  
 遭害(マシヨル) 二・八〇九  
 眞舌媛(マシタヒメ) 二・一三〇〇  
 禁厭之法(マシナヒヤムル) 一・六〇八。六一。六一五  
 厭(トコフ) (マシナフ) 四・二八八二  
 方術之書(マシナヒワザケルフミ) 四・二九三九  
 參(マシハル) 一・七九  
 厠(マシハル) 四・二七二〇  
 接(マシハル) 四・二七九六。五・三三三五



交雜(マツル〇マツ) 五・三三〇  
 接(ツク) 四・二六六。五・三二八四  
 雜 五・三二六五  
 會 五・三六六六  
 無 三・一七七七。四・二五五六  
 不在(ハベリマサズ) 三・二二九九。二二〇。四・二八二二  
 在 一・二九三。二・七一八。八二三。九五。九五  
 二・一〇三〇。四・二二四八。二二七。五・三  
 三五〇  
 居 一・三八七。四五四。四五五。五九六。二・一〇  
 四八。一〇五三。一〇八八。三・一四六三。一五  
 四五。一六二二。一六三三。一七〇四。二〇五六  
 四・二八六九  
 坐 一・四三七。九八〇。二・九五。九五二。三・  
 一九八六。四・二五七五。三〇五八  
 一・四四六。五七八  
 座 二・六九三  
 有 二・九七三。九八五。一九〇。二六〇。三・一  
 八二五。一九〇四。四・二六八四。五・三三八三  
 所居 三・一八九七。二二二四。五・三五四四  
 踞坐(アガミマシマス) 四・二五七五  
 爲 四・三〇五四  
 馬津城 四・二七三九  
 馬次文(馬進文)人名 四・二七四一。二七四二  
 馬進文(馬次文)人名 四・二七四二  
 麻自物 一・六一二  
 麻且奚推封(地名) 四・二六〇九  
 交居 三・一六八〇  
 參 一・七九  
 錯 三・二〇五九  
 接 三・二〇八九  
 預(アヅカル〇タハル〇ソフ) 四・二四〇〇。二六二三。二六五三。二六八四  
 比(ナル) 五・三三五。三一九  
 交雜(マツ) 五・三二五〇  
 混 五・三二三三  
 有(アリイマス) 一・五五。七三。一七〇。二・七  
 五二。九八九。一〇〇七。一九〇。一三九  
 三・一八二五。四・二六四三  
 居 一・二二四。二〇四。三六七。三六九。三七七  
 四七九。二・一〇三九。三・一四六五  
 一・一三八  
 在 一・二七七。五五七。二・七一八。八六五。九八  
 五・一〇八〇。一〇四七  
 益 三・一四六八。五・三一九四  
 增益 四・二八二四  
 倍(倍而徴) 五・三三二二  
 二・一六五  
 五・三二六四  
 坐 一・一三八  
 在 一・二七七。五五七。二・七一八。八六五。九八  
 五・一〇八〇。一〇四七  
 益 三・一四六八。五・三一九四  
 增益 四・二八二四  
 倍(倍而徴) 五・三三二二  
 二・一六五  
 五・三二六四

益田直・金鐘 五・三七七五  
 益人(路直……) 五・三五三四。三五三七  
 益 二・九五。九八〇。一〇四九。一一五〇  
 滋 四・二五二九  
 倍 四・二八〇八  
 加 五・三三四七  
 滋殖 四・二五二九  
 眞墨(長尾直……) 五・三五七六  
 白銅鏡 一・二六九。三・一七九五  
 大夫(身毛君……) 四・三三三二  
 男(チノコ) 一・三三三。三五八。三六六。三七四  
 男子 一・一〇四  
 丈夫 一・三五七。二・七三〇。一〇一。五・三二九  
 男 三・一八五三  
 居 四・三〇三〇  
 使坐 五・三二六九  
 雜居 二・二一六五  
 接起 五・三二六四  
 諸(マナシテ) 四・二七七九。二七九二。三〇二八  
 復 一・一六六。二〇。二二。二二。二七七  
 安置 四・二八五三  
 まそかよ(歌) 四・二九九九  
 まそけむひとは(歌) 三・一六三四  
 又 一・一七〇。二九。二九三。三〇〇。三五七  
 亦 一・二二〇。五二五。五九六。二・七四六。一〇  
 二五。一三四九。三・一六八一。一八四。四・  
 一・一七〇。二九。二九三。三〇〇。三五七  
 四五四。四九三。二・八一六。一〇七七。四・二  
 四二。  
 更(サラニ) 二二〇。二七四六。五・三六八一。三八四四  
 一・二六。二・一四〇。一三八七  
 三・一四六八。一六八〇。一七一六。一八四二  
 一九二二。四・二四九〇。二六三二。二七〇〇  
 二七五〇  
 且 一・三八三。四五四。五一五。五二二。二・七六  
 七。八〇七。八四二。八九八。九一八。一〇一  
 八。三・一八四二。一八四四。四・二二四八  
 加(クハフ) 二・七五三。八八四。一一九。四・二六七  
 四。二六七八  
 加以(シカノミナラズ) 三・一八五三。四・二二九〇。五・三七〇六  
 重 三・一八九八  
 且重 三・一八九四  
 亦復 五・三二二一  
 岐 一・五二八。五五三  
 間(指間) 一・六六〇。四・二八九三







朝政(ミカドマツリゴト) 五・三七二四  
 賞罰支度 四・四二二一  
 坐 四・二五三一  
 稱制 五・三三八六  
 兼政 四・四二七七  
 脩政 四・二五八一  
 政所 五・三三九九  
 朝廷之中 五・三七三三  
 廳(マツリゴトヤ) 五・三三六二、三三六六、  
 四・二七七三、二八四三、二  
 九九一、五・三三六二、三三六六、三三六七  
 堂 五・三三八四  
 録攝政 四・四九二四  
 政令(マツリゴト) 五・三二九五  
 判官 五・三三八二、三三三四、三三七七  
 主政 五・三三〇三、三三四九  
 軍監 五・三五五五

允 五・三九一三  
 攝政 三・一九九八  
 攝政元年(神功皇后) 三・一九五一  
 大夫 四・二六六七  
 宰臣 五・三二七三  
 北廳(マツリゴトノ) 四・二七七四  
 廳(マツリゴトノ)を見よ  
 聽政 四・二六三〇  
 壇場(タカミクラ) 四・二四三七  
 靈時 二・二二二九  
 廟 五・三二一三  
 奉 一・五二五、五九六、二・八九八、九〇〇、九八  
 九、一〇三六、一〇三七、一〇八一、一三六八  
 祭(イハヒマツル) 一・一八七、三五  
 二、三六一、二・八九二、一〇九七、一一四六  
 一、二一九、一三三八、一三四一、一三四九、一三

祠(イハヒマツル) 四・二七七九、五・三二七四  
 秘(祠)一本 三・一五二一、一五二六、四・三二六七  
 郊祀 一・四六五、二・一三六八  
 祀 四・二七七九、五・三五八九  
 供 四・二八五三  
 服(シタガフ・マツロフ) 四・四二二一  
 不順 三・一六一五、一六八一、一八〇九  
 不順者 二・七四七、七四八  
 不順色 二・一四〇二  
 不順鬼神等 五・三五四二  
 降 二・七五三  
 三・一八七八

順 三・二七二四  
 和順 一・六二五  
 歸順 二・八八四、二七五、一九五  
 降 三・一八一  
 服(ツカヘマツル・マツロヒシタガフ) 三・一八〇九、一八四四、一八五七、一八七四、一  
 八七八、四・二九三三、三〇三五  
 順 四・二六五八  
 松峽宮 三・一八四四  
 迄(イタルマデ) 一・七九、五・三八七六  
 及(オヨブマデ) 四・二七〇四、三〇六六  
 馬丁安(人名) 四・二七六八  
 真跡(草壁吉士……) 五・三〇九九  
 的 三・二二二一、五・三六四五  
 周田 五・三三九三  
 真床追衾 二・七六七  
 真床覆衾 二・九三八、九六一、一〇四九、一〇五八

貧 二・一〇三七  
 中の的 五・三六四五  
 真砥野媛 三・一四七七  
 亂走 四・二三七一  
 不知東西 五・三七四九  
 迷眩 二・一八三  
 慟(イタム) 二・二七八、三・二一〇一、五・三三七二  
 失 三・一七二四、一七二七、一八七三、一九七五  
 悲慟 四・二八八六  
 慟 四・二四九〇、五・三三三九  
 迷 五・三四四二  
 迷鳥圖 二・二九五  
 真鳥賊 四・二二二五  
 真鳥大臣(平群……) 四・二四三六、二五五四  
 真鳥大臣男・鮪 四・二五三三  
 真鳥臣(平群……) 四・二五三一

麻那(人名) 四・二六二三  
 無(一動) 三・二一八四  
 無(一退) 四・三〇八四  
 無(一藏)金銀銅鐵 五・三三三六  
 勿(一誼言) 四・三〇五八  
 勿(一輒言) 四・三〇六五  
 勿(一妄作)主兼(并劣弱) 五・三三九四  
 勿(一爲)放逸 五・三三二九  
 勿(一使)復爲 五・三三四六  
 勿(一爭)爵位 五・三四〇九  
 莫(一誼) 四・三〇五三  
 莫(一退) 五・三三一八  
 莫(一自)斷(民之所訴) 五・三二二八  
 莫(一停) 五・三二四〇  
 莫(一作)諸惡 五・三六三〇  
 莫(一葛)薪 五・三六四九



莫(一)妄燒折(キルコト) 五・三六四九  
 粗(ツクエ) 四・二七九〇  
 眞名鹿 一・四四六  
 麻那君 四・五六〇  
 眼(メ) 一・五三八、三・一七四  
 織沙 二・二八六  
 目精赫赫 四・三三九  
 織沙谿上陵(懿德天皇) 二・二八六  
 無目籠 二・九八二  
 無目堅間 二・一〇〇七  
 無目堅間小船 二・一〇三二  
 面 三・一七五  
 學受 四・二八九  
 學 四・二九三九  
 學習 四・二九三九  
 眞名井 一・三三六、三三八、三五九、三六七  
 占 一・一三二  
 ト 二・八九八  
 順(シタガヒテ) 一・一六一、一七三  
 隨(マヤニ) 一・六五五、一八五六、九一八、九四七  
 九九五、一〇三七、一〇四八、一五五、一三四  
 八・三・一五〇五、一五三、一八六七、四・二  
 八五三、五・三二五〇、三八三五  
 尋(マヤニ) 二・一〇〇九、一〇三二、一一八  
 依(マヤニ) 二・一〇四四、一三六八、四・二七四一、二七五〇  
 觸(キダキダ) 四・二七二六  
 免 二・一〇〇、一三九〇、三・一四六九、一六八  
 七、四・二六六〇、二八〇四、五・三五八二  
 滿(地名) 四・二六〇九  
 眞野首・弟子 四・三〇〇三  
 眞根(猪名部) 四・三三九五  
 招聚(ナギアツム) 四・三九一五  
 召 五・三三六〇  
 眞根子(壹伎直) 三・二〇一八  
 爲 三・一九五八  
 陽(イツハル) 四・二八四六  
 面 四・二六二〇、三〇六六、五・三三七二  
 眼炎耀之金銀 三・一八〇九  
 幣 三・一五六、二一七、四・三二五八、五・三二七九  
 四・二四六九、五・三二一三、三八〇六、三八三〇  
 舞 五・三七二四  
 眞人 五・三七〇、三七六七  
 眞人(粟田臣) 五・三七六七  
 眞人(粟田朝臣) 五・三八三六  
 眞人朝臣(粟田) 三・一六三〇、一八九四  
 幣 四・二六一四、五・三二八二  
 貨賂 四・二九五三  
 賄 四・二九五三

幣物 四・三〇三六  
 賂物 五・三二五七  
 幣 五・三七〇四  
 幣 三・一八九九  
 賂 四・二六五六  
 女(ひらく)童諸 五・三三七〇  
 一・一八七  
 舞 四・二四六一、二四六三  
 轉 三・二二一七  
 卿(マヘツギミ)の誤訓 一・四〇八  
 眞經津鏡 一・四一三、二・六九三、九八五、一〇一八  
 三・一六二四、四・二八四三  
 前頭 五・三三八四  
 見前 五・三三六一  
 女(つぎみ)歌 三・一六五五  
 群卿 二・一三三六  
 諸大夫 二・一三六六  
 大夫 三・一八二〇、四・三〇五六、三〇六八、五・三  
 一〇〇、三八九六  
 卿 四・三三七〇、三三六、二七〇八、二七九  
 五・三三五〇  
 諸臣 四・二四八三、二六八四  
 群僚 四・三三八六  
 臣 四・二七二六、三〇五八、五・三三七三、三三八  
 公卿 五・三八二四  
 大連(タイレン)と訓むべし 四・二七二〇  
 群卿 二・一三三五、一三七二、三・一四七四、一四八  
 五・一六二九、四・二二四二、二九五二、三〇六  
 八・五・三二二〇  
 卿大夫 三・一七八七、四・二九〇五  
 卿等 四・二七〇八  
 公卿大夫 四・二四九九  
 群卿大夫 五・三三三三、三六四  
 諸臣等 四・二六九〇  
 諸大夫 二・一三六五  
 諸大夫等 二・一三六五  
 大夫等 五・三九〇四  
 群臣 四・二六六六、二七二二、二九〇五、五・三二二  
 三・三三二九  
 群大夫 四・三〇五八  
 將相諸臣 四・二五七七  
 群 四・三〇六八  
 鞍後後橋 四・二七七五  
 前 四・二七七五  
 後 四・二七七五  
 前津見(人名) 三・一五五八  
 前津耳(人名) 三・一五五八  
 前軍後軍 四・二七六二  
 違前事 五・三八四四  
 前々(ヒトビト) 五・三三五七  
 禪 五・三七一一



蕃屏之任(クニノマモリ) 四・二七九〇  
 保(マモル)參照 五・三三九七、三三六五  
 守(マモル)參照 五・三五四三  
 依 四・二六二五  
 隨 四・三〇三三  
 庶兄 二・二六六一  
 隨(イイ) 一・五五五、五五五二、一〇一〇  
 四九、一〇九七、三・一五二、一七三五、四・  
 二四〇三、二五九六、二七四六、二七五六、二八  
 一七、二九九四、三〇五四、五・三二〇五、三二  
 三五、三二七七、三二八〇、三二八三、三二五三  
 三三三三、三四八五、三六六五、三六七〇、三六  
 七七、三七〇八  
 依 四・二四三八、二五〇五、二六三〇、二六四九  
 二六五一、二六九〇、二七四〇、二七四七、二八  
 九九、五・三二四九、三四〇四、三八六〇  
 一・二五六、二・二六五、三・一四五六、四・  
 任 一・二五六一

尋 二六三三、二八〇六、二八五〇、五・三三四六  
 三七三九、三八六八  
 所 三・一四四三、四・二六三三  
 從 四・二六一七  
 見 四・二七四三、三〇五四  
 一・三三三、三三三、三五八、三六六、四九九  
 觀 五・三三五一  
 馬武(人名) 五・三三三四  
 茨田池 五・三三二、三三二、三二二  
 茨田大娘皇女 四・二五八三  
 茨田郡 四・二六七四  
 茨田堤 三・二七五  
 茨田皇子 四・二八六九  
 茨田皇女 四・二五八三  
 茨田屯倉 三・二二二三  
 茨田連 三・二二一九、五・三七五五

茨田連・杉子 三・二二一七  
 茨田連・小望 四・二五八三  
 萬首(人名) 五・三八八七  
 大豆 一・三〇〇、三〇五  
 忠誠 一・三〇五  
 忠誠(マメゴロ) 二・六八六  
 忠(マメゴロ) 三・二〇一八、四・二五七九  
 忠(マメ) 四・二五七九、五・三八四四  
 忠誠(マメ) 五・三三八七  
 忠誠(マメゴロ) 四・二五七五、五・三八七四  
 忠(マメ) 五・三八六八  
 豆田(マメタ) 二・九五九  
 摩毛羅比(守) 二・二一八〇  
 藩屏(カクシマガキ) 三・一七六九  
 拆 四・二七〇五  
 成 四・二七二〇  
 衛送 四・二四二〇、五・三三八八

護力(マモリノチカラ) 五・三三二一  
 護養(マモリサマム) 四・二八四六  
 護衛(マモリサマム) 四・二六〇九  
 馳拆(マモリサマム) 四・二七〇五  
 護 二・八八七、九一〇  
 持 四・二四一〇  
 守 四・二五一一、二五九四、二七一九、二九〇四  
 五・三五六二  
 衛 四・二五七一、二五七四、二七八三  
 防護 四・二七二五  
 擁護(イダキマモル) 四・二七四六  
 守護 四・二八八四、五・三五八六  
 候 五・三三三五  
 助衛 五・三一五七  
 保(マモル) 五・三三九七、三三六五  
 成 五・三五四三、三五六二  
 質 一・三〇〇、三〇八

眉 一・三〇〇  
 眉毛 一・五八三  
 まゆみ(歌) 三・二〇九二  
 檀弓 三・二〇九三  
 檀弓崗 五・三三二二  
 睪 三・一八〇九、一八九四  
 紛錯 三・二〇五九  
 雜 四・二六九六  
 眉輪王 四・二二九八、三〇〇、三〇二  
 領客 四・二八二一  
 客 二・九八五、一〇〇九、一〇一三、一〇二一、一〇  
 四九、三・二二二、四・三〇七三、五・三〇九九  
 貴客 二・一〇〇九  
 蕃 四・二七八七  
 饗客 五・三三六六  
 司賓 四・二七八七  
 掌客 四・二九七四、二九八〇

客星 五・三三〇四  
 掌客 四・二七八八  
 鏡(モヒ) 四・二二四四  
 龜 五・三三三五  
 萬里(大藏造) 五・三三三五  
 麻利者(紀) 五・三三三二  
 梔子(上殖葉皇子の亦名) 四・二六七〇  
 梔子皇子 四・二五八六、二六九三  
 梔子連 五・三三三一  
 麻理勢(境部臣) 四・三〇〇一  
 麻理勢臣(境部) 四・三〇五六  
 鏡水 四・二二四四  
 自在矢 三・一九三七  
 まりやをたくへ(歌) 三・一九三四  
 摩禮志(采女臣) 四・三〇五四  
 罕 四・二五五四、二六〇九  
 希 三・二〇五一







參上 マキコシム	五・三八六四	詣 マキツ	一・一三〇、三三三、四九九、二・八五〇、三・三二〇、四・二六四七、二八七六、三五五六、五・三三三、三三三三	入 マキツ	四・二六三〇、五・三二一八
不來 マキコズ	二・九九九、九八六、一〇一八、一一九、一一七五、三・一六四四、二〇三五、五・三二一〇	就 マキツ	一・三三三、三・一九八八、四・二五五九、三〇五九、五・三六二七	來詣 マキツ	四・二六八四、二七一八
不參向 マキコズ	三・一七三四	到 マキツ	一・三六四	朝謁 マキツ	四・二七三三
不來參 マキコズ	四・二六六三	就 マキツ	二・一〇三九	參詣 マキツ	四・三〇六七
不來集 マキコズ	四・二六二五	詣到 マキツ	二・二七三	參會 マキツ	四・二八二二
不來到 マキコズ	四・二七二四	參向 マキツ	二・二四一八、四・二六三三	會 マキツ	四・二八二二
不朝 マキコズ	五・三二二〇	來(マキク)	三・一六四一、一九八五、四・二六四九	詣 マキツ	五・三八九一
歸伏 マキシタガフ	二・一三四九	朝(マキク)	三・一六四一、一九八五、四・二六四九	集 マキツ	三・一四三九
歸德 マキシタガフ	三・一六一五	朝(マキク)	三・一六四一、一九八五、四・二六四九	集 マキツ	三・一四三九
臣順 マキシタガフ	三・一六一五	朝(マキク)	三・一六四一、一九八五、四・二六四九	集 マキツ	三・一四三九
王臣 マキシタガフ	三・一七六九	參赴 マキツ	三・二九七一、四・二九五三、三〇八四	朝 マキツ	三・二二〇一
內附 マキシタガフ	四・二四五一	參赴 マキツ	三・二九七一、四・二九五三、三〇八四	朝 マキツ	三・二二〇一
乞降歸附 マキシタガフ	四・二七九六	參會(マキツドフ)	四・三三四四、二七二二、二七二三、二七四四	朝 マキツ	四・二六七四
親附 マキシタガフ	五・三二一五	往 マキツ	二・七五、二七二八	朝 マキツ	四・二六七四
進 マキスム	四・二三〇七			朝 マキツ	四・二六七四

朝 マキツ	三・一九八八	出 マキツ	四・二四九一	請 マキツ	三・一九五七
朝聘 マキツ	四・二六六九	入 マキツ	二・六四七、四・二八七九、三〇八八、五・三二四七	牒上 マキツ	四・二九〇一
朝集 マキツ	四・二四二一	至 マキツ	二・一〇八一	奏上 マキツ	四・二九四一
還入 マキツ	四・二六三〇	向 マキツ	三・一五六四	告 マキツ	一・三五八
參赴 マキツ	五・二九四九、三八〇六	納(メサレマキル)	三・一五八一、二一六四	白 マキツ	一・二八四
歸附 マキツ	四・二六八六	朝(マキツ)	四・二九五三、三〇八一	語 マキツ	一・五五三、二・八〇七、一〇五四
往朝 マキツ	五・三三三三	來歸(マキヨル)	五・三五三四	白 マキツ	二・九八九、一〇一六
至 マキツ	四・二五五八	云 マキツ	一・二八四	奏 マキツ	二・一〇三三
食 マキツ	四・二六八四	日(請)	一・三三三	奏 マキツ	二・一三五〇、三・一四八五、一五八一
馳上 マキツ	四・三〇五八	日(見)	二・八四二	啓之 マキツ	三・一四五六、四・二二八三
上 マキツ	五・三二八二	言 マキツ	二・一〇三三、三・一五五八、一六六六、四・二五四、二七二八、二七三三、五・三三八八	啓之 マキツ	三・一四五六、四・二二八三
見 マキツ	三・二一五五	白 マキツ	二・一〇三三、三・一五五八、一六六六、四・二五四、二七二八、二七三三、五・三三八八	奏 マキツ	三・一四五六、四・二二八三
參迎 マキツ	三・一七九五、一八〇三、一八九七	言 マキツ	二・一〇三三、三・一五五八、一六六六、四・二五四、二七二八、二七三三、五・三三八八	奏 マキツ	三・一四五六、四・二二八三
歸 マキツ	五・三五三四、三五七九	白 マキツ	二・一〇三三、三・一五五八、一六六六、四・二五四、二七二八、二七三三、五・三三八八	奏 マキツ	三・一四五六、四・二二八三
入 マキツ	五・三三五五	言 マキツ	二・一〇三三、三・一五五八、一六六六、四・二五四、二七二八、二七三三、五・三三八八	奏 マキツ	三・一四五六、四・二二八三
不朝 マキツ	五・三三三三	奏 マキツ	三・一四三九、一五三一、四・二七六七	報 マキツ	四・二七七九
來賓(マキツカヘマツル)	四・二六七四	來朝 マキツ	五・三二二〇	奏 マキツ	四・二九八八







共 <sup>ミアラカチヒトツニ</sup> 殿 <sup>ニ</sup>	二・九〇五	聖化 <sup>ミオホケ</sup>	五・三二五七	卒 <sup>ミウセ</sup>	五・三三二〇・三六九〇
散 <sup>ミアレヌ</sup> (アカレヌ)の訓	四・二八九一	王化 <sup>ミオホムケ</sup>	三・一六八一・一七一	薨 <sup>ミウセマシヌ</sup> (カクレマシヌ)	三・一五二九・四・二八六八
怒 <sup>ミイカリ</sup>	三・一九八九	未 <sup>ミオモヘ</sup> 染 <sup>シ</sup> 王化 <sup>ガハズ</sup>	三・一六八一	歌 <sup>ミウタ</sup>	二・一〇五八
忿怒 <sup>ミイカリ</sup>	四・三〇〇二	面 <sup>ミオモヘ</sup> (ミカホ)	三・一四六五・一四六六	御謠 <sup>ミウタ</sup>	二・一八五
威 <sup>ミイホヒ</sup>	二・一〇九七・一〇七〇・三・一六八一・四・二七二五	諒 <sup>ミオモヒ</sup> 闇 <sup>カ</sup> (ミモノオモヒ)	二・一六二	三首 <sup>ミウタ</sup>	五・三三四
勢 <sup>ミイホヒ</sup>	二・一三三八	興 <sup>ミオモヒ</sup> 感 <sup>カ</sup> (メツルコトサ)	四・三三九・三三四六	歌之末 <sup>ミウタノスエ</sup>	三・一七〇四
德 <sup>ミイホヒ</sup>	四・二七三二・二七七七・二七九〇・五・三五四三	色 <sup>ミオモヘ</sup>	三・二〇七六・四・二二六四	爲 <sup>ミウタ</sup> 二御謠 <sup>ニミウタ</sup>	三・一八五
至德 <sup>ミイホヒ</sup> 魏 <sup>ミイホヒ</sup>	四・二八〇六	發 <sup>ミオモヘ</sup> 顏 <sup>イダス</sup>	四・二五三四	歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
皇師 <sup>ミイホヒ</sup>	二・一〇九二・一〇九四・一〇九六・一一一六	皇祖 <sup>ミオヤ</sup> (スメミオヤ)	二・二六六七・二二六・一三二	爲 <sup>ミウタ</sup> 二御謠 <sup>ニミウタ</sup> 一 <sup>ウタ</sup>	二・一三三〇・一六一・一八五
軍中 <sup>ミイホヒ</sup>	二・一〇九二・一〇九四・一〇九六・一一一六	祖 <sup>ミオヤ</sup>	九・一三三五・四・二九六八・五・三七七・三三二	歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
皇軍 <sup>ミイホヒ</sup>	二・一〇九二・一〇九四・一〇九六・一一一六	祖 <sup>ミオヤ</sup> 宗 <sup>ミオヤ</sup>	一・二一〇・二・一〇七一・一〇七五・三三二	歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
官軍 <sup>ミイホヒ</sup>	一・二四〇九	祖母 <sup>ミオヤ</sup>	四・二四八六	歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
先鋒 <sup>ミイホヒ</sup>	三・一八七四	祖 <sup>ミオヤ</sup> 皇 <sup>ミオヤ</sup>	五・三二二・三四〇七	歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
神兵 <sup>ミイホヒ</sup>	三・一八七四	考 <sup>ミオヤ</sup>	五・三二五〇	歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
王帥 <sup>ミイホヒ</sup>	四・三三七〇	孝 <sup>ミオヤ</sup>	四・三三四〇	歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
孫 <sup>ミイホヒ</sup> (ウイイ)	三・二〇八三		四・三三四二	歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
御廐 <sup>ミイホヒ</sup> (間人連……)	五・三三二六			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
御浦 <sup>ミイホヒ</sup> 郡 <sup>ミイホヒ</sup> (相模國)	五・三六九六・三九〇二			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
鴻澤 <sup>ミイホヒ</sup>	三・一九八四			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
みえしぬの(童謡)	五・三四九二			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
不見 <sup>ミイホヒ</sup>	二・一三八一			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
非 <sup>ミイホヒ</sup> 見 <sup>ミイホヒ</sup>	四・二三五八			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
みえずかもあらむ(歌)	四・二五〇二			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
奉 <sup>ミイホヒ</sup> 觀 <sup>ミイホヒ</sup>	五・三三〇八			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
發 <sup>ミイホヒ</sup> (タテリ)	四・三三七九			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
見 <sup>ミイホヒ</sup>	四・二七三五			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
見 <sup>ミイホヒ</sup>	三・一五三六			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
看送 <sup>ミイホヒ</sup>	四・二七六七			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
みおすひがね(歌)	三・三二六			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二
みおびのしづはた(歌)	四・二五四六			歌 <sup>ミウタ</sup>	三・二一三二

馬 <sup>ミウマ</sup>	三・二二〇二	皇祖 <sup>ミオヤ</sup> 之 <sup>ノ</sup> 跡 <sup>アト</sup>	二・一三三五
飼部 <sup>ミウマカヒ</sup>	三・一八七四	皇祖 <sup>ミオヤ</sup> 天神 <sup>アマツカミ</sup>	二・一三三一
孫 <sup>ミイホヒ</sup> (ウイイ)	三・二〇八三	祖 <sup>ミオヤ</sup> 業 <sup>ノ</sup>	二・一三六七
御廐 <sup>ミイホヒ</sup> (間人連……)	五・三三二六	鏡 <sup>ミカガミ</sup>	四・二五七六・二六六六
御浦 <sup>ミイホヒ</sup> 郡 <sup>ミイホヒ</sup> (相模國)	五・三六九六・三九〇二	牆閣 <sup>ミカキ</sup>	三・一七三五
鴻澤 <sup>ミイホヒ</sup>	三・一九八四	宮垣 <sup>ミカキ</sup>	三・二一〇三・二一〇・二一一
みえしぬの(童謡)	五・三四九二	壁 <sup>ミカガミ</sup> 鏡 <sup>ノ</sup> (一訓)	四・二六五三
不見 <sup>ミイホヒ</sup>	二・一三八一	藻 <sup>ミカガミ</sup> 飴 <sup>ノ</sup>	三・二〇四
非 <sup>ミイホヒ</sup> 見 <sup>ミイホヒ</sup>	四・二三五八	壁 <sup>ミカガミ</sup> 鏡 <sup>ノ</sup>	四・二六五三
みえずかもあらむ(歌)	四・二五〇二	壁 <sup>ミカガミ</sup> 鏡 <sup>ノ</sup>	四・二六五三
奉 <sup>ミイホヒ</sup> 觀 <sup>ミイホヒ</sup>	五・三三〇八	宮牆下 <sup>ミカキノホトリ</sup>	四・三三四八
發 <sup>ミイホヒ</sup> (タテリ)	四・三三七九	宮牆之傍 <sup>ミカキノモト</sup>	二・一〇二六
見 <sup>ミイホヒ</sup>	四・二七三五	垣 <sup>ミカキノホトリ</sup> 邊 <sup>ノ</sup>	二・一〇五三
見 <sup>ミイホヒ</sup>	三・一五三六	甕栗 <sup>ミカクリ</sup> 宮 <sup>ノ</sup> (地名)	四・二四三七
看送 <sup>ミイホヒ</sup>	四・二七六七	甕栗 <sup>ミカクリ</sup> 宮 <sup>ノ</sup>	四・二四三七
みおすひがね(歌)	三・三二六	影 <sup>ミカガミ</sup>	二・一〇九七
みおびのしづはた(歌)	四・二五四六	水影 <sup>ミカガミ</sup> (ミヅカゲ)	三・一八一五
		靈 <sup>ミカガミ</sup> (ミタマ)	四・二八三九



御蔭	ミカゲ	五・三八三	天皇	ミカド	三・一四三七。一四九三。一五五。二〇八四
隨影	ミカゲノマタニ	二・一〇九七	天皇(スメラミコト)	ミカド	四・二四三。三〇六八
御笠(地名)	ミカサ	三・一八四四	皇宮	ミカド	四・二六二四。二七三三。二七四二。二八五九
三炊屋媛	ミカシキヤヒメ	二・一一九〇	先皇(サキノミカド)	ミカド	三・一九八九
みかしほ(歌)	ミカシホ	三・二二八	帝(スメラミコト)	ミカド	三・一四三九
首	ミカシラ	一・一七〇	帝國	ミカド	三・二〇八四。二〇八五。二〇八六
鬮	ミカシラノホネ	四・二四九〇	帝王	ミカド	三・二〇八八
鬮襲(人名)	ミカシラ	三・一五五六	王(キミ)	ミカド	三・一三〇九
象	ミカダ	一・四四一	王(キミ)	ミカド	三・一九七五。四・五七九
像	ミカダ	四・二七三。二七四六。二八三八。二八八二	天子(モロコシノキミ)	ミカド	四・二四九九。二六四九
御形(山田史...)	ミカダ	四・二八九九	門	ミカド	二・一三六六。四・二八七四。三〇五八。五・三二一七
容貌	ミカダチ	五・三九〇五	人主	ミカド	二・一三六六。四・二八七四。三〇五八。五・三二一七
姿	ミカダチ	二・二六〇	朝	ミカド	二・一三六六。四・二八七四。三〇五八。五・三二一七
左右(ミモトコ)	ミカダハラ	三・一四三三。四・二六八二	東朝(ヤマト)	ミカド	五・三三七七
鬮	ミカツラ	一・二二六。三三六。三四〇	帝朝	ミカド	五・三三七九
朝	ミカド	二・一三四六。三・一九八六。二〇一八。二〇三三	朝廷	ミカド	二・一四一五。一四一八。四・二六五八。二八二二。二八七四。二九〇〇。二九〇一。五・三
門下	ミカド	三・一七三四	朝庭	ミカド	四・二七三。二七四六。二八三八。二八八二
軍門	ミカド	二・一一二九。四・三〇三七	天朝	ミカド	三・一七三五。四・二四〇三。二六〇七。五・三
宮門	ミカド	四・二八七四。二九五八。五・三三〇。三六六四	朝服の色	ミカド	二五七。三三九
通門	ミカド	五・三三五	勅使	ミカド	三・一五六四。一七三五。一九七六。二〇一七
紫門	ミカド	五・三三八四	詔使(ミカドノツカヒ)	ミカド	四・二三七六。二七二〇。二八四三。五・三三六
關	ミカド	四・二七二四。五・三三二。三三三三。三六九二	充朝	ミカド	八・三八四四。三八六八
天關	ミカド	四・二八三九	朝庭(ミカド)	ミカド	四・二四五。五・三二二。三三六一
國家(クニ)	ミカド	三・一七三四。四・二六五一。二六五八。二六六〇。二七四九。二八四三。二九五三。五・三六四四	帝位	ミカド	四・二四三。二二四四
中國	ミカド	四・三三六。二六四	朝堂座上	ミカド	五・三八六四
帝國	ミカド	四・二七四八	帝位者鴻業也	ミカド	四・二四三
日本國	ミカド	五・三三七	勅使	ミカド	四・二六四九
大國(ヤマト)	ミカド	五・三三六〇	帝紀(スメラミコ)	ミカド	五・三六九九
謀叛	ミカド	四・三五六	朝政	ミカド	五・三七二五
謀逆	ミカド	二・一三八四	天朝鴻澤	ミカド	三・一九八四
謀反(ミカドチ)	ミカド	二・一三一。五・三三四。三六	聖帝之神靈	ミカド	三・一五六四
		一三。三八一五	門底下	ミカド	四・二八四三
			門下	ミカド	四・三〇五六

謀	ミカド	五・三一九四	朝	ミカド	四・二九五八
朝服	ミカド	五・三六六〇。三八六四。三八七九	朝廷之禮儀	ミカド	五・三四五七
朝服の色	ミカド	五・三七六八	朝機	ミカド	二・二六一
勅使	ミカド	四・二六二〇。二六二二	臨朝稱制	ミカド	五・三八二二
詔使(ミカドノツカヒ)	ミカド	五・三六四〇	臨朝秉政	ミカド	四・二四七七
充朝	ミカド	五・三〇五〇	朝參	ミカド	四・三〇八一。二四二二。五・三六三五。三七三四
朝庭(ミカド)	ミカド	四・二八一七	行天皇事	ミカド	四・二八六九
帝位	ミカド	四・二四三。二二四四	誑朝	ミカド	四・二七二〇
朝堂座上	ミカド	五・三八六四	拜朝	ミカド	三・二二二。五・三〇一。三六二八。三八五九
帝位者鴻業也	ミカド	四・二四三	賀正	ミカド	五・三一九六
勅使	ミカド	四・二六四九	賀正	ミカド	五・三三六九。三七〇
帝紀(スメラミコ)	ミカド	五・三六九九	賀正禮	ミカド	五・三三九六。三三八二
朝政	ミカド	五・三七二五	元日禮	ミカド	五・三三九四
天朝鴻澤	ミカド	三・一九八四	尊朝愛國	ミカド	五・三三六八
聖帝之神靈	ミカド	三・一五六四	頸	ミカド	四・二七六三
門底下	ミカド	四・二八四三	參河	ミカド	五・三三四七。三八九一
門下	ミカド	四・三〇五六	三河大伴直	ミカド	五・三三三



屍骨 ミカバネ 三・一七三〇  
 御骨 ミカバネ 四・二四九〇  
 諸骨(カバネ) 四・二四九〇  
 獲速日神 ミカハセヒノカミ 一・二一〇、二・七二五  
 頸 鎧(アカヘノカブト) 四・二七六三  
 荅 ミカヘリゴト 三・二四九  
 尊顏 ミカホ 二・一三九四  
 容 ミカホ 三・一七〇一  
 容貌美麗 ミカホウルハシ 三・二〇八三  
 容貌壯麗 ミカホハナダウルハシ 三・一八二五  
 容貌端正 ミカホキアラシ 四・二九二一  
 みがほしものは(歌) 四・二四七七  
 容貌魁偉 ミカホケレタマハシ 三・一五七一  
 容止塙岸 ミカホタカサカシ 五・三八一五  
 薪 ミカマキ 五・三六二八  
 髮 ミカミ 一・三三二  
 結二分髮 ミカミツアゲ 三・一八五二

御狩(河内馬飼首…) 四・二六二七  
 御狩(河内母樹馬飼首…) 四・二六三〇  
 棺槨(キ〇ヒツギ) 三・一七三〇  
 神酒(ミヅ) 二・一三六三  
 酒(オホミキ)を参照すべし 三・一五五八、五・三六四三  
 隨見・隨聞(キルママ) 五・三七二二  
 三段 ミキダ 一・二〇五、二・五九、三・三六  
 截 ミキダニウチケル 四・二九〇一  
 無出於右 ミキニイヅルコトナシ 四・二六一五  
 御城郡(讚岐) ミキノ 五・三八四九  
 右大臣(オホマヘツキミ) 五・三三七一  
 置酒(オホミキメス) 五・三六五九  
 三四寸 ミキヨキバカリ 五・三二二一  
 右前鋒 ミキノノカタノサキ 三・二七九  
 右眼 ミキノノメ 一・二五二  
 右旋 ミキノヨリメグル 一・九九

右巡 ミキノヨリメグル 一・一二七  
 水沐御魂 ミククリミタマ 二・一四一九  
 三種白髮部 ミクサノシラカベ 四・二五七九  
 三種寶物(寶物) ミクサノタカラモノ 二・八三二  
 髮(ミカミ) 三・一六七二、一八五二  
 首 ミクシ 五・三八一一  
 御苜(ミハコ) 三・一七九五  
 白髮(シロキカミマス) 四・二四三四  
 解髮 ミクシヲトク 三・一八五二、二一〇〇  
 鞋履(オホミクツ) 三・二一〇  
 皮鞋 ミクツ 五・三三三五  
 三國 ミクニ 四・二五七四  
 三國(大伴狛連…) 五・三三七二  
 三國樂(樂) ミクニノウタヒ 五・三三七四  
 三國王 ミクニノミ 四・三〇五六、三〇五八、三〇六五  
 三國公 ミクニノキミ 五・三七四八  
 三國公之先 ミクニノキミノオキ 四・二五八六

三國公・麻呂 ミクニノキミマロ 五・三三八四  
 三國坂中井 ミクニノノカナキ 四・二五七一  
 三國・麻呂公 ミクニノマロノキミ 五・三三七二  
 禪天皇位(クニサリタマフ) 五・三九四一  
 頸 ミクシ 一・三七四、三・一四六四、四・二九二  
 頭 ミクシ 五・三五九三  
 御倉(人名) ミクラ 四・二三七六  
 神床 ミククラ 三・一五五八  
 寶府 ミクラ 三・一五五八  
 府庫 ミクラ 三・二一一三  
 青蓋車 ミクラマ 四・二四四八、二四七六  
 位 ミクラキ 二・一一〇七、一四〇一、四・二二四四、三・三六  
 饌(タテマツリモノ) 四・三〇四六  
 御膳 ミケ 二・一〇一八  
 彌氣(中臣連…) 四・二四〇七  
 御木 ミケ 四・三〇五八  
 御子 ミケ 三・一六五五

三毛入野命 二・一〇六〇、一〇六一、一〇八  
 御毛入野命の御社に就きて(附錄) 二・一一二六  
 明衣 ミケシ 一・二二六  
 衣裳 ミケシ 四・三〇〇一  
 奉奠 ミケダテマツル 四・三〇〇七  
 奠 ミケツツモノ 五・三八一九、三八三〇  
 明器(ミモノ) 四・三三八七  
 御木川 ミケノカハ 三・一六五五  
 御木國 ミケノクニ 三・一六五五  
 みけのさをばし(歌) 三・一六五五  
 兒 ミコ 一・一三六、一五四、一九八、二・七六六、九九八  
 息 ミコ 一・一五三、四・二五七九  
 兒息 ミココ 二・一一九〇  
 子 ミコ 一・一五三、二・七八六  
 皇子 ミコノミ 二・九五〇、一〇四一、一〇八一、三・一六七四  
 太子 ミコノミ 三・二〇六  
 親王 ミコノミ 五・三六三〇、三七三八  
 主 ミコノミ 三・一九〇四  
 王子 ミコノミ 三・一六八七、五・三〇五三、三・二一九  
 大王 ミコノミ 三・一四六八、五・三二五〇  
 孫 ミコノミ 四・三二四三、二二四四、二四八四  
 胤 ミコノミ 一・三六一、五六四、五七五、三・七四七、一〇  
 男 ミコノミ 一・一〇三七、四・二五六九、五・三三二六  
 女(ヒメミコ) 二・七八六、九五二、九六四、一〇三九、一〇五八  
 懷妊開胎之日 ミコノミ 四・二二二七  
 心 ミココロ 一・四五五、二・一〇一八、一〇三〇、一〇四〇  
 意 ミココロ 一・三三九、三・一五三九、一八五五、四・二三五  
 四・二三六四  
 一・一〇七、四五五、二・九八五、一〇一一、一



怨 〇一八、二八五  
 情 一、四七九  
 懷 二、九八九、四、三六五  
 神襟朗邁 二、二一五〇  
 意確如也 四、二六六六  
 志尚 二、一〇六八  
 度 二、二一六〇  
 志 三、一四三三  
 約志 二、二一六一、四、二八四一  
 情盤 三、二一一〇  
 不廢胸 四、二二〇〇  
 冲衫 五、三三三〇  
 心裏 二、一〇九七  
 隨情 三、二〇三三  
 御心・長田國 三、一五一一  
 御心・廣田國 三、一九一一、一九一六  
 三、一九一一、一九一六  
 任意 二、七七六  
 節 五、三八〇九  
 遣慮 四、三三二一  
 愀然 四、二八一七  
 意豁如也 四、二五七一  
 乘輿 四、二五七一  
 法駕 四、二五七四  
 挿腰 三、一八六一  
 舉體 一、四五五  
 子 一、三三〇、四、二四三四  
 子等 二、九五三、一〇七〇、一〇九六  
 兒等 一、五一一  
 皇子 二、九五〇、一〇八、四、二九八三  
 皇女等 四、二九九〇  
 兒息 四、二三五六  
 諸子等 四、三〇六八  
 王 五、三三三八  
 親王等 五、三七八七  
 對言 三、二〇七六  
 答言 三、二一三四  
 答言 三、一七〇四  
 尊(至貴曰尊・自餘曰命) 一、四九  
 命 一、四九  
 美舉等(並訓) 一、四九  
 君(一訓ミコトシ) 一、二三〇  
 命(景命) 四、二五五六  
 命(命令の意) 三、一七三五、二八九、二二一  
 教 二、一三六八、三、一八四四、四、二七九、三〇五六  
 語 三〇一七、三〇五四、五、三〇一  
 言 三、一八五二  
 策 五、三六八  
 詔情 四、三三四  
 違勅 四、二八四三  
 勅書 四、二三五六  
 不聽命 四、二七〇八  
 受勅 二、八〇七  
 詞 四、二七〇五  
 辭 四、二九八四  
 音辭俊朗 五、三八一五  
 令撫琴 三、一八三三  
 撫琴 四、二二六一  
 宰 三、一八九七、一八九八、二〇〇八、四、二九八  
 司 八、五、三一九、三二七、三五四二  
 國司(クニミコトモチ) 四、三三五四、二四五五  
 國司(クニミコトモチ) 四、二四二一、二四  
 四〇〇、二九五六、五、三三八〇、三三八、三三

君(ミコト) 一、二二〇  
 身 四、二四三五  
 隨勅(ミコトノママニ) 一、五五五、二、九四七  
 隨命 一、五五五  
 王身(ミカトノミミ) 四、二五三三、二八七四  
 制旨 三、一八五七  
 教 四、二五九四  
 勅 一、三二一  
 一、三二二、二、七四一、一、一九九、三、三〇二  
 一、四、三三七〇、二、五九四、二、六二五、二、七  
 七、五、三三六七、三、五九七、三、六七七  
 詔 三、一八五三、四、二七二六、二、九五二  
 天勅(スメラミコト) 四、二五九四  
 宣勅 四、二七一一  
 一、九〇七、四、二四三四、二、七四〇、二、九六〇  
 五、三六〇一  
 詔勅 四、二七二二、二七二四  
 詔書 四、二七七  
 命 四、二七七九  
 宣勅 五、三三九二  
 勅(ノル) 一、一六七、一七二、三五〇、五二五、五四  
 六、二、八〇七、八五八、八七〇、八八七、九〇  
 〇、九一〇、五、三三〇一  
 詔 四、二四〇〇、二四〇五、二四〇七、二四二一  
 二四九八、二七〇二、二七三五、三〇五九、五、  
 三六五四、三七三四  
 宣勅 四、二五九四  
 命 四、二七〇八  
 詔勅 四、二七〇八  
 命 三、二〇九七  
 令 三、二〇九七  
 宣(ノル) 四、二五九四、五、三四六七  
 奉宣 五、三四六七  
 教 四、三〇四六  
 策 五、三六八  
 詔情 四、三三四  
 違勅 四、二八四三  
 勅書 四、二三五六  
 不聽命 四、二七〇八  
 受勅 二、八〇七  
 詞 四、二七〇五  
 辭 四、二九八四  
 音辭俊朗 五、三八一五  
 令撫琴 三、一八三三  
 撫琴 四、二二六一  
 宰 三、一八九七、一八九八、二〇〇八、四、二九八  
 司 八、五、三一九、三二七、三五四二  
 國司(クニミコトモチ) 四、三三五四、二四五五  
 國司(クニミコトモチ) 四、二四二一、二四  
 四〇〇、二九五六、五、三三八〇、三三八、三三



府 四九・三六六  
 守(カミ) 四・三六五  
 守(カミ) 四・三九三  
 宰 四・三八六  
 詔(ミコトガホセテ) 三・四三九  
 受命 三・二七五  
 奉命 四・二九〇  
 命以 四・二六三  
 所生 五・三六九  
 命以 五・三四九  
 兒名(ミコノナ) 二・一〇一六・一〇四一  
 春宮(ヒツギノミコ) 四・二六〇七  
 東宮(ヒツギノミコ) 四・二八三・二八六九  
 東宮大傳(大傳) 五・三九三七  
 春宮大夫 五・三九三七  
 裔(ハナチ) 四・二二五四  
 跌躄(ミアナスエ) 四・二七九〇

有子 三・一九〇四  
 抱子 二・九四九  
 懷抱皇子 三・一四六九  
 生兒 二・九一七  
 裹兒 二・九九八・一〇五八  
 持養兒 二・一〇一六  
 三尺 三・一六二六  
 舉觴 三・一九六一  
 遺蓋 三・一六六〇  
 方蓋 二・九九八・一〇三九  
 碯 一・六二七・六九二・一〇九二  
 岬 三・二二九  
 嶋曲 四・二六二〇  
 前 二・九四三  
 警蹕 五・三六六八  
 警蹕前驅 四・二五七四  
 前(後) 五・三五八三

湊碇屯倉 四・二六六〇  
 駟仙蹕 二・一〇七一  
 先驅者 二・八四二  
 覺賀鳥(カクカノトリ) 三・一七四八  
 陵 二・八〇一・一〇〇二・一〇六一・二四〇・三・一五六・一七三〇・四・二九一三・五・三二一五  
 山陵 二・八〇五・一三六三・五・三五一一  
 園陵 五・三三九四  
 山陵事 二・二六三  
 陵墓(ハカ) 三・一五三三  
 陵地 三・二一九〇  
 陵戸 五・三八八五  
 陵域 三・一五二九  
 檢定(アラタメミル) 四・二八〇四  
 京師(ミヤコ) 五・三一九八・三八一八・三八三二  
 京(ミヤコ) 五・三二〇〇・三五四〇・三六五五・三七七〇  
 京城 五・三八二五

大郡(オホホリ) 四・二七七七・三〇七三・五・三三九三  
 京城耆老 五・三三二五  
 京職(左右) 五・三三四八  
 京職大夫 五・三三六五  
 京中 三・二二二五  
 美 四・二九八〇  
 不見(ミエツ) 一・二九八・四三三  
 三尺劍 三・一六八一  
 卑地 五・三三九四  
 短 二・一〇三七・四・三三六五  
 下(イヤシキ) 五・三三六五  
 卑 三・一五一六  
 五・三三九四  
 五・三三九四  
 三・一九五八  
 三・一八八一  
 三・一八八一

微叱許智伐早 三・一九五六  
 末叱子・失消(人名) 四・二八一二  
 肅慎 四・二七二八・五・三三五五・三三五八  
 肅慎國 五・三三五五  
 三嶋(地名) 四・二六五三・五・三三三三  
 三嶋竹村屯倉 四・二六五四  
 三嶋縣主・飯粒 四・二六五四  
 三嶋郡 四・二六六八・二八〇三  
 三嶋村 四・二六五六  
 三嶋溝楸姫 一・六四六  
 三嶋溝楸耳命 一・六三六・六四三  
 三嶋溝楸耳神 二・二二一〇  
 三嶋本(總論) 一・二七  
 使見(ミセシム参照) 二・八〇九  
 示 三・一九七二  
 觀察 五・三三七七  
 璽符 四・二二四二  
 四・二二四四・二五七六

鏡劍璽符 四・二五七六  
 鏡劍(ミカガミ・ミハカシ) 四・二六六六  
 璽印 四・二九二一・三〇七一  
 璽綬 五・三三六八  
 檢録(カムガシルス) 四・二八二七  
 驗(驗醴泉ノミココロミル) 五・三三二一  
 看(ミセシム) 一・三〇〇  
 察(アキラム) 二・二二一九  
 伺 二・六九三  
 候 二・九五九  
 示(シメス) 二・二一九四・三・一六三〇・二二一八  
 四・二四九〇・二七二二・二七三四・二七六四・五・三三三九・三三七七・三三一八・三三五四・三三五二  
 觀 三・一六一四  
 現(アラハス) 四・二八四一  
 顯示 五・三三一八







靈 八三六・一八五一・一九〇〇・一九一一  
 二・一一一四・一二三九・四・二五〇〇・二七〇〇  
 五・二七六九・二七七九・三〇〇一

神靈 三・一七九九  
 四・二七九〇

靈聖(クシビニ) 五・三七七九  
 三・一七七九

招魂(ミタマフリシキ) 五・三五五〇  
 二・一三三九

神靈(ミタマ) 一・六〇八・六三三  
 四・二七〇二

識性聰敏(聰敏) 三・一八五二・四・二七四六  
 三・一五六四・一六七七

恩頼 三・一六八一  
 四・二五五六

翼戴 四・二七〇二  
 五・三六九〇

皇靈之威 三・一六八一  
 四・二五五六

神靈 三・一六八一  
 四・二五五六

臨(一病) 五・三六九〇

監 五・三八五一  
 五・三七七九

招魂之 五・三三三三  
 五・三七九〇

似(ミタマヘル) 二・九九一

招魂 五・三四七九  
 三・一八七八

三部 三・一八五七・一九四〇・一九四一  
 二・一三三五

軍 四・二八四三・五・三三八九  
 二・二四九九・四・二六四六

奉爲 四・二八九六・五・三四八一  
 四・二七九〇・三・三八二

爲 一・二〇九  
 二・一三五〇

奉爲 四・三〇一三  
 四・二四三七

爲 三・一八五七・一九四〇・一九四一  
 二・一三三五

爲 四・二八四三・五・三三八九  
 二・二四九九・四・二六四六

奉爲 四・二八九六・五・三四八一  
 四・二七九〇・三・三八二

見 一・二〇九  
 二・一三五〇

三人 四・三〇一三  
 四・二四三七

三口 四・二四三七

作亂(ミダリゴトチナス) 四・二四三七

爛漫之樂 四・二五六二  
 四・二六七四

蘭入罪 四・二六四七  
 四・二九五五

妄輒答 五・三三四五  
 五・三三四二

浪訴 四・二七三五  
 四・二七三八

浪要(ミダリニチギル) 四・二七三五  
 四・二七三八

妄輒答(ミダリガハシク) 四・二七三五  
 四・二七三八

三夫人 四・二七三五  
 四・二七三八

三妃 四・二七三五  
 四・二七三八

生(二男)(ヒトタビニ……) 五・三三四四  
 五・三三四〇

亂 四・二四八三  
 四・二四八三

解紛 四・二四八三  
 四・二四八三

不平 四・二四八三  
 四・二四八三

行(亂)於道 四・二四八三  
 四・二四八三

平亂 四・二四八三  
 四・二四八三

道 一・五〇一・一三九・二・一三七一・三・一五八一  
 一・九七一・四・二二二一・二・三六五・二・三七三  
 五・三二六七・三・二七二

道(朋友之道) 二・二七八

途 二・九九六・四・二八九一  
 二・一〇三三

御路 二・一〇三三  
 二・一〇三三

御路(道の本義) 二・一〇三三  
 二・一〇三三

路 二・一〇三三・一・一五二  
 二・一〇三三・一・一五二

道路(オホヂ) 二・八四二・二・四四六・三・一九七一  
 二・四〇六・二・五〇一・二・二一六・五・三五六二

津路 四・二六二〇  
 四・三〇二七

行路 四・三〇二七  
 四・三〇二七

徑 四・二二四八  
 四・二六五四

垓 四・二六五四  
 四・二六五四

里(二千餘里) 二・一四二六  
 二・一四二六

術(ハケ) 一・一三九〇・五・三六九二  
 一・一三九〇・五・三六九二

方(ノリ) 一・六〇八  
 一・六〇八

學業 五・三八七七  
 四・二七四六

菩提 二・一〇三三・一・一〇四四  
 二・一〇三三・一・一〇四四

海驢 三・一六八一  
 五・三四五七

逮 四・二七六八  
 四・三〇〇三

行路(ミチユキビト)參照 五・三三九一  
 四・二四八四

彌至己知奈末(人名) 二・一四〇〇・五・三四〇〇  
 四・二八四九・五・三五一八

路子工 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

三千解(稻種……) 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

道建利遁(一訓) 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

發路 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

發途 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

上路 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

發遣 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

三千(上毛野君……) 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

三千 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

三千兵士 四・二八四九・五・三五一八  
 五・三三七九

みちりとへば(歌) 三・二〇三  
 五・三四四二

中路 四・二六三一  
 四・二六三一

觸路 四・二六三一  
 四・二六三一

みらにあふや(歌) 四・二四二五  
 三・一六八〇

塞徑 三・一八九七  
 三・一八九七

及 三・一四六九  
 三・一四六九

道主王 二・一三七一  
 二・一三七一

道主命(丹波……) 一・三三九  
 一・三三九

道直・益人 五・三五三四  
 五・三五三四

路上 五・三三三五  
 五・三三三五

路 三・一九八四  
 三・一九八四

道臣 二・一一一九  
 二・一一一九

道臣命 二・一一一九・一・二一九  
 二・一一一九・一・二一九

道臣命乃起而歌 二・一六五  
 二・一六五

路傍國 五・三三四七  
 五・三三四七

道上陵(崇神天皇) 二・一四二八  
 二・一四二八



路公 五・三七四八  
 道君伊羅都賣 五・三四三三  
 前郡 (豐國) 三・一四四四  
 陸奥 三・一七〇一、五・三三九、三三九八、三三五〇、三六四五。  
 陸奥蝦夷 五・三三五〇、三三五五、三八四八  
 陸奥國  
 道師 (八色之姓の第五) 三・一七〇〇、四・三〇四五、五・三七七一、三八三五  
 みちのしり(歌) 三・二〇三二  
 道中 一・三六一、三七九、三三三二  
 津路要害之地 四・二七八三  
 道垂 四・三〇〇七  
 路真人・迹見 五・三七七一  
 路真人・跡見 五・三三三七  
 路上 (ミチノアヒダ) 五・三三三五  
 道小野 (地名) 四・二三四六

蜜蜂房四枚 五・三三三三  
 郷導 二・八八四  
 郷導者 二・二二六  
 導 二・二一九  
 導者 (シルベ) 三・二〇七二  
 導 (ミチビキツカヘマツル) 二・一〇八三、三・一七九九  
 海導者 二・一〇八三  
 導者 四・二九七九  
 路人 三・一六七七  
 導者 四・三〇七七  
 啓行 二・八五〇  
 路人 (ミチユ) 三・一六七七、二九三、二九四  
 行 (ミチキビト) 四・二九九三  
 路行 (ミチキビト) 五・三三二七  
 みちゆくものも(歌) 三・二三四  
 道人 (オコナフヒト) 四・二九八八  
 關道 二・一一五二

成業 四・二九三九  
 成業 四・三〇三一  
 啓行 二・二二八  
 失道 三・一七二四  
 光宅 二・一〇七七  
 三 一・二六二  
 三領 (緋袍) 五・三三一九  
 才 四・二四六一  
 滿 (近江臣・滿) 四・二九一〇  
 滿 (野中川原史・滿) 五・三三七七  
 滿 (ミタム) 一・一九五、四八六、二・九九一  
 盜 一〇〇九、一〇三九、五・三八三七  
 盛 二・一〇三三、一〇三五  
 有實 四・二五六一  
 充塞 (ミチミテリ) 四・二六二九  
 交 (ミテリ) 四・二六五五、二六五八

遍 四・二六八二  
 填 四・二八九三  
 充(宛) 五・三三二五  
 充實 四・二七四〇  
 見 一・二七七  
 塞 (フタガル) 四・二六六〇  
 兼 (兼レ懷) 四・二七三〇  
 水 一・二一八、一七四、二・二四五  
 流 二・一八三、三・一五三八、二・一〇六  
 瑞 五・三三二二  
 祥瑞 五・三三八七  
 三 五・三三四五  
 三足鳥 五・三三八三  
 大水 四・二八〇三  
 飲食 (クラヒモノ) 四・二六三三  
 碾磑 四・二九九一

水碓 五・三四六四  
 瑞籬宮 二・一三三五、三・一四三三  
 水影 (ミカゲ) 三・一八一五  
 徒 (ミツカフツミ) 五・三八九五  
 使 三・一六四四、一八七八、二〇九、五・三三三  
 使者 三・一六四四、一六七八  
 使人 四・二七四二  
 王人 (クニノヒト) 四・二七四三、二八三六  
 御使君之祖 三・二〇七八  
 飲 三・二〇七三  
 徒 五・三六五四、三六七〇  
 自 一・二二八、二・九五二、一〇三七、一〇七四  
 自 一・一七〇、一・二六六、三・一四六九、四・二四八  
 躬 九・二六二五、二七二六、二七四九  
 躬 三・一八五〇、四・二三三五  
 專 (タクメ) 五・三六六七

親 一・三五八、二・一〇八一、一・三五三、三・一八三  
 親臨 二・一八五七、四・二二四四、二二六、二四八九  
 親臨 二・五九八、二九五二、三〇二八、五・三四四五  
 親桑 (クハトル) 三・二一六〇  
 自決 四・二三四八  
 自殉 四・二七四九  
 自殉 五・三三四一  
 躬耕 四・二五八一  
 躬耕 三・一四六九、一七〇一、一八七四  
 親言 二・二二六一  
 自言 二・二九五二  
 面縛 (ミツカラ) 三・一七〇一  
 自縛 三・一四六九  
 自縛 四・二七四六  
 禮拜 四・二六三六  
 三月 四・二五七九、二六〇九、二六五一、二六六六  
 嗣 三〇五一、三〇五三



繼嗣(ヒツギ) 四・二五七一  
 綜(ヒツギ) 四・三〇七一  
 水城 五・三四一一  
 調 二・一四〇三、三・一八一、二・一三、四・二  
 八二、二九六、三〇三六  
 賦 三・二九五、四・三三九、二七五九、五・三  
 八六六  
 調賦(ミツキモノ) 四・二七七、二八〇、五・三  
 九四、三二八、三三九、三五四、三八二八  
 調役 五・三九六、三九二  
 貢 三・一八七、四・三三九、二六七四  
 五・三二〇九  
 賦役 四・三六九、二七〇、二五六〇  
 朝貢使者 四・二六二〇  
 二・一四四、五・三八九  
 課役(ミツギ) 五・三六六六  
 五・三七〇六  
 進調 四・二九〇六  
 不朝貢 三・一六〇六、一七八八  
 苞苴不入 四・三三六四  
 闕貢之事 三・二二三、二七八  
 朝貢(ミツギ) 二・一四三六、三・二二三  
 一八八一、一八九七、四・二九八〇、三〇三六  
 三〇七三、三〇八五、三〇九二  
 貢 三・一九七三  
 奉貢 三・一九八六、四・二六七四  
 修貢職 四・二六八八  
 貢調賦 四・二七七、二八〇三  
 貢獻調賦 五・三二一八、三二五七  
 五・三三九二  
 進調 四・二四五〇、二五六〇、二八二九、五・三二五四  
 四・二七三五  
 五・三八二六  
 調使 四・二五六一  
 調副物 五・三二一二  
 調使 三・二〇六六、四・二八九一、五・三三一九  
 調賦使者 四・二七八六  
 調船八十艘 四・二三八二  
 貢職船 四・二六一五  
 貢物 三・一九七五、一九七六  
 三・一九七五、一九七六  
 四・二四二〇、二七八六  
 調物 四・二八一七  
 五・三二二〇  
 御膳(ミケツモノ) 四・二四〇七  
 貢 五・三三九二  
 五・三三〇九  
 調の改正 五・三三五四  
 調賦の令 四・二五九二  
 三四世者 三・一六七七  
 水陸之徑 四・二五五二  
 みづくへごもり(歌) 四・二五五二

みづくりの(歌) 三・二〇二四  
 告 四・三〇五六  
 瑞子(山田直...) 四・二七八四、二八〇四  
 三子嶋 一・一三六  
 一・一七六  
 鷗 四・二五四九  
 三・一六四四  
 みづさへもり(歌) 四・二五四九  
 三・一六四四  
 水嶋 三・一六四四  
 水嶋崖(崖) 三・一六四四  
 水田(タミタココナタ)か見よ 五・三三三三  
 五・三三三三  
 水工(カハダクミ) 三・二〇二八  
 みづたまる(歌) 三・二〇二八  
 三・二九三、二九四  
 三・二七七  
 與水無歸 四・二七七  
 三・二〇五九  
 鼻鷹(カモ・カリ) 三・二〇五九  
 三綱(難波吉士...) 五・三五三七  
 御綱葉 三・二二三  
 三・二二三  
 瑞網鶏 五・三六二八  
 出火 五・三三五一  
 失火(ホヤケ) 五・三四三〇、三六八六、三七八五  
 五・三七九〇  
 災(ヒツケリ) 三・二〇六六  
 失火(ヒツキテ) 五・三三六四  
 三・二〇八四  
 不佞 四・二四六一  
 不才 二・二一五五  
 無水造餉 五・三四八五  
 第二倉 四・二七二八  
 四・二七二八  
 三才顯分以來 五・三三四五  
 三・三三四五  
 水沫凝而成 一・一一八  
 三津之浦 五・三三五〇  
 水江浦嶋子 四・二四一六  
 水神 一・一七四、一八〇  
 水神・罔象女 一・一七四  
 三韓 三・一八八一、一八八七、二〇一八  
 芝草 四・三三七六、二六七八  
 三韓館 四・三〇七四  
 五・三三三九  
 三津之碕 二・八三五  
 三佐平(佐平を見よ) 四・二七一  
 三 四・二五一九  
 三 五・三六五四  
 三寶(ホトケノミチ) 四・二九二九  
 一・一七二  
 順流 四・二二五五  
 三才(一訓ミツノミツ) 四・二二五五  
 三才顯分以來 四・二二五五  
 瑞宮 一・五八七  
 一・五八七  
 爲瑞宮之材 一・五八七  
 瑞八坂瓊 二・八八四  
 瑞八坂瓊之曲玉 一・三六四、三六六  
 設三床一請入 二・一〇四九  
 瑞井 三・二二三五



水泉	ミツハカリ	五・三四七六	見	ミテツ	四・二七五四
密蜂	(ミチバチ)	五・三三三三	充積	ミナツム	四・二四〇三
水齒郎媛	ミツハシイラツメ	三・一五八五	盈積	ミナツム	四・二四〇三
三乃矛	ミツハシホコ	四・二五六〇	手水	(オホミテミツ)	四・二二四四
罔象女	ミツハシメ	一・一七四一	精舍	(テラ)	四・二八六一
罔象	ミツハシメ	二・二二五八	握手	ミツアトル	一・一四三
水葉稚之出居神	ミツハシワカヤカニイデキルカミ	三・一八四三	幸之	(ミトアタハス)	二・九三二
瑞齒別天皇	(反正天皇)	三・二〇九九	美刀阿多波志都	ミトアタハシツ	二・九六六
瑞齒別皇子	ミツハシワケノヒコ	三・二〇九九	時	ミトキ	四・二八六八
瑞穗之地	ミツホノクニ	一・一一一	二處	ミトコロ	一・三六六
漑水	ミツマカス	四・二六四九	年	ミトシ	二・一〇六二
水派邑	ミツマカヌムラ	四・二五五七	未都師父	(人名)	二・一〇六八
みつみつし(歌)		二・二六五	神田	ミトシロ	二・一〇六八
みつみつし(歌)		二・二八五	神戶田地	ミトシロ	二・一〇六八
三綾之綱	ミツミツノツナ	五・三三七七	幼少時	ミトシロカクシテ	二・一〇六八
みづゆけば(歌)		三・二四六九			四・三五七一

三稔之間	ミトセノミダマ	三・二一一〇	並	(ナラビニ)	一・四九
經三年	ミトセニナリヌ	三・二〇九七	威	ミナ	三・一七一
經三載	ミトセニナリヌ	二・一〇一三	總	ミナ	七・二七二
於茲三年	ミトセニナリヌ	三・二二〇九	僉	ミナ	二・六七七
逮于三年	ミトセニナリヌ	三・一四三九	號	ミナ	一・一九五
雖已三歲	ミトセニナリヌ	一・一六一	名	ミナ	二・二〇六
滿三歲	ミトセニナリヌ	一・一七一	姓名	ミナ	五・三三五〇
比及三歲	ミトセニナリヌ	二・六七七	尊號	ミナ	三・一七四
至于三載	ミトセニナリヌ	三・二一一〇	諱	ミナ	四・二四四
積三年間	ミトセニナリヌ	二・一〇九〇	名字	ミナ	四・二四四
綠野川上	ミドリノカハカミ	三・一六一八	御名	ミナ	五・三三三
綠野屯倉	ミドリノミヤケ	四・二六六〇	欲知二姓名	ミナカ	一・三三三
爲夫婦	ミトノマクハヒス	一・九八	中	(ナカ)	一・三三三
遷合	ミトノマクハヒス	一・一〇七			五・三三三
御戶部(免田)	ミトモツカヘマツル	四・三三三四			五・三三三
從	ミトモツカヘマツル	五・三三三二			一・一七〇
從焉	ミトモツカヘマツル	五・三三三〇			一・三三三







美濃(ミヌカ)見よ 五・三三〇  
 三野(ミヌ)を見よ 五・三三〇  
 身命 五・三三〇  
 みのおほけくを(歌) 二・二二三  
 蓑・笠 一・四九三、二・二五〇  
 躬行(ミノワザ) 一・四九三  
 望 三・一一一、二〇九  
 みのなけくを(歌) 二・二二三  
 已後 四・三〇八  
 身光 四・二四九  
 不登 四・二八九  
 察(アキラカニセヨ) 四・三〇五  
 教 四・二七九、二九二、五・三八九、三八九  
 法(ノリ) 四・二八五、二九五  
 典(ノリ) 四・二九六  
 御駕 五・三五一  
 乘焉 五・三五一  
 登 三・二二〇  
 成熟 三・二二六  
 稱(チノル) 五・三五二  
 登之 四・三〇一、五  
 豐 五・三七〇、六  
 墓 二・一三九、四  
 劍 四・二五七、二八六、六  
 御刀媛 三・一六三、三  
 所帶 一・二〇五、三五八  
 所御 二・一九四  
 略 四・二五五、六  
 量 四・二六四、三  
 策 五・三九四、三  
 御宮(ミクシゲ) 三・一七五  
 柱 一・九九、一五六  
 第 二・二二五、三、一五六、九  
 神 四・二四三  
 神一 一・五〇、二五二、三六〇、五九六、三・一九〇  
 三男 三・一四八、二  
 三女神 一・三三八  
 三子 一・二五四、二九三、二九三  
 巡柱 一・二七、一七一  
 鼻 一・二五二  
 喪葬(ミチサメ) 三・一五三、三  
 哀葬之事 二・二六一  
 瘞禮(ミモノコト) 四・二八五  
 葬禮 四・三〇五、二  
 葬儀(ミチサメノ) 四・二四九、五・三八二、九  
 御原皇女 三・一〇五、五  
 御覽 三・二〇〇  
 膝 四・二七六、三  
 人(ヒト) 三・一四六、五、四・三三三

乳部(ニフ) 五・三二一、五  
 壬生(ニフ) 三・二二二、四・二九六、九  
 壬生部(ニフ) 五・三八〇、四、三九三  
 壬生事 五・三八〇、四  
 壬生・諸石 五・三九三、一  
 被(オホミフスマ) 三・二二三、四・二九六、九  
 皇舟 三・二二〇  
 王船 二・一〇八、三、一〇五  
 船 三・一六六、一八六、一八七、四  
 御船 三・一七九、一、二四一  
 王船鎮 三・一七九、二、三三四  
 浮海而 三・一八六、六  
 挾船 三・一七八、八  
 取王船 三・一八七、七  
 記 五・三六二、二  
 師(フミヨミヒト) 三・二〇四、一  
 動容(ミスガタ) 三・一九九、七  
 進止(ミフルマヒノリアリ) 三・一九九、七、四・二九二、一  
 容止不便 四・二二四、一  
 進止軌制 四・二九二、一  
 三重郡家 五・三五三、三  
 三百口(斧) 四・二七七、二  
 牙 三・一五八、一、一八九、九  
 三穗津姫 二・八九、一  
 御陰井上陵(安寧天皇) 二・二八三、三  
 三穗之碕 二・七三六、六  
 孫(皇孫・天孫) 一・三六一、二、六六七、七、三二一  
 身(ミ) 一・二四〇、〇  
 飼部 三・一八七、六  
 賜死 五・三八一、四  
 薨 三・一七五、四  
 卒 五・三六一、八  
 死 三・一五二、九、四・二七九、一、二八二、一  
 命過 四・二三七〇、〇  
 紀 四・三〇〇、二、四〇〇、二、四四七、二、五二一、六  
 御間城入彦五十瓊殖天皇 二・一三三、二、一三三、九  
 みまきいりひこはや(歌) 二・一三七、八  
 御間城天皇 三・一四三、九  
 御間城姫 二・一三三、〇  
 欲觀 四・二三三、三  
 枕 三・一四六、五  
 頭邊脚邊 一・二〇四、四  
 皇孫 五・三三九、三、三四一、八  
 彌麻沙(人名) 四・二七〇、二、七〇九、二、七二〇、〇  
 見 一・二六六、六  
 味摩之(人名) 四・三〇〇、三



汝(美麻志)	一・一〇六	御馬皇子	三・三二六・四・三二四
御席	一・四五五	御孫尊	三・一八九四
席(キシキ)	一・四五五・三・一七八・三〇二四	御馬山(伊豫)	五・三八七八
蓐	三・二一〇	前	三・一七二六
御坐	四・二四八四	見前	五・三三六一
座	四・二四八三・五・三四六〇	欲見	二・二四三二・三・一五五七
安 <sub>レ</sub> 席高 <sub>レ</sub> 枕	三・一九四〇	耳	三・二一九〇
席上	一・四五五	王身	三・一八五七
御馬瀨(地名)	四・三三三	四體	四・二四四九
三 <sub>レ</sub> 綾之綱(ミツミノツナ)見よ		體	四・二六四九
水派宮	四・二八八二	瀾瀾	四・二八三三
水派邑	四・二五五七	當身(ソノミ)	五・三七三八
觀松彦香殖稻天皇	二・一三八四・一・二八六	環	四・二九五六
祭祀	五・三三三	如 <sub>レ</sub> 環 <sub>レ</sub> 无 <sub>レ</sub> 端	四・二九五六
任那	二・二四二六・三・一四三九・四・三五四・二・三五六・二四一五・二五〇五・二五一・二五九	耳子郎君	四・二八一
	三・二六三〇・二六九〇・二七〇八・二七一	耳子王(坂田)	四・二八六〇
		耳垂(人名)	三・一六二五

躬自(ミツカラ)	二・二二四	標 <sub>レ</sub> 辨(ムネサツ)	三・一七二八
躬	四・二五八一	御村別之始祖	三・一五九二
髻(ミヅラ)參照		御室(佐 <sub>レ</sub> 連)	四・二八五九
耳聰(厩戶皇子ノ一名)	一・三二六・三〇・三七四・五〇六・五二五	御窟殿	五・三七八五
耳梨行宮	四・二八六九	御窟院	五・三八〇二
耳梨・道德	四・二九三五	旻(僧)	四・三〇七六
耳成山	五・三三七五	旻法師	五・三三三三・三三三三・三三〇一
耳皇子	四・二二八二	眼	一・二五二
耳原	四・二五八六	妃	一・五六四・二・八三三・九七九・七〇・一〇
耳原 <sub>ノ</sub> 陵(百舌耳原陵・反正帝)	三・二一九〇		六〇・一〇六八・一三三〇・一三三三・一三三四
耳原 <sub>ノ</sub> 布勢臣	四・二二六〇		七七・一五八五・二二三三・二二五五・二二六
彌武(人名)	五・三四三八		四・二三四四・二三三一・二三四八・二五七一
正妃	五・三三三一		二六五一・二六九二・二九〇六・五・三二二六
女	二・二二〇	皇妃	三・三二二〇
	二・六六七・九五四・九六七・九六八・九七〇・四・二	庶妃	四・二六七〇
	二九〇・三三〇〇・二六八五・五・三五〇〇	妃妾	五・三三三〇・三三九一
兒	二・九五四・九六七		



殯 <small>ミモガリス</small>	三・一八二〇	食 <small>ミモノ</small>	三・一七二八	室 <small>ミヤ</small>	四・二三〇五
許 <small>ミモト</small>	一・五六九	不甘味 <small>ミモノ</small>	三・一六四四	殿 <small>ミヤ</small>	四・二六〇九、二九二四
所處 <small>ミモト</small>	二・八〇九	水 <small>ミモノ</small>	四・二九五九	宮殿 <small>ミヤ</small>	五・三三三〇
宗源 <small>ミモト</small>	二・八九八	三百兩 <small>ミモノ</small>	五・三三八一	堂 <small>ミヤ</small>	四・二九六四
處 <small>ミモト</small>	二・一〇三九、一〇五八	喪儀 <small>ミモノ</small>	四・二六〇三	庭 <small>ミヤ</small>	四・二八六二、二八七四、五・三八〇五
御所 <small>ミモト</small>	三・一五五六	みもろがうへに <small>(歌)</small>	四・二六〇三	臥内 <small>(ガホトノ)</small>	四・二八一二
側 <small>(オホモト)</small>	三・二四九、四・三〇五八	三諸岳 <small>(岳)</small>	四・三三四九、三八三九、二八七六	遷居 <small>ミヤウツリシタマフ</small>	五・三九二五
天皇 <small>ミモト</small>	四・二七三	三諸山 <small>ミモノ</small>	一・六三〇、二・一三九四、一四〇八	命婦 <small>(ヒメトネ)を見よ</small>	三・二六八
所 <small>ミモト</small>	四・二八七六、二八八二	三諸岳 <small>(岳)</small>	三・一七三五	明位 <small>ミヤウキ</small>	五・三七六三
左右 <small>(ミカタハ)</small>	三・一四三三、四・二六八二	發喪 <small>ミモノ</small>	五・三三〇、三三二	宮垣崩 <small>ミヤガキヤブル</small>	三・二〇一六
食 <small>ミモノ</small>	三・一七二八	弔喪使 <small>ミモノ</small>	五・三三〇一	三種 <small>ミヤカラ</small>	四・二五七九
明器 <small>(ミケツモノ)</small>	四・三〇〇一	宮 <small>(宮と殿との別)</small>	一・一三六	三種白髮部 <small>ミヤカラノシラガベ</small>	四・二五七九
裳系 <small>ミモノ</small>	三・一八四八	宮 <small>宮</small>	一・三八七、四五五、八七四、二・九八二、九八	屯倉 <small>ミヤケ</small>	三・一五六、一七五九、二・一三三、四・二六一
諒闇 <small>(ミオモヒ)</small>	二・二六一、三・二二〇〇	帝宅 <small>ミヤ</small>	九・一〇〇九、一〇一三、一〇二四、一〇三二	八・二六五一、二六五六、二六六〇、二七八四、二八	
言談 <small>ミモノ</small>	四・三三〇〇	京都 <small>ミヤコ</small>	一〇四八、一〇六一、一四一一、四・三三三	二四二九七三、五・三一九六、三二一五、三三三三	
腰 <small>(ミコシ)</small>	三・一八六一	宮都 <small>ミヤコ</small>	二・一三〇七		
喪禮 <small>ミモノ</small>	四・二八二	京都 <small>ミヤコ</small>	三・一六三四、四・二三五二、二四七六、五・三		

官家 <small>ミヤケ</small>	四・二四二、二五九四、二六三三、二六三四、	京師 <small>(ミサト)</small>	四・二八二七、二八二九、五・三七三七
彌移居 <small>ミヤケ</small>	二六七四、二七一四、二七七五、二七	都城 <small>ミヤコ</small>	三・一六一九
屯倉首 <small>ミヤケ</small>	八九、二八四〇、二八四三、二九一三、三〇三三	帝宅 <small>ミヤ</small>	二・二二〇七
三宅臣 <small>ミヤケノオミ</small>	一・六	皇都 <small>ミヤコ</small>	二・二二〇七
三宅吉士 <small>ミヤケノキシ</small>	五・三七三三	京都 <small>ミヤコ</small>	三・一六三四、四・二三五二、二四七六、五・三
三宅吉士 <small>ミヤケノキシ</small>	五・三六四三	宮都 <small>ミヤコ</small>	四・一八、三七二七
彌移居國 <small>ミヤケノクニ</small>	四・二七三	京都 <small>ミヤコ</small>	四・一八
官家之國 <small>ミヤケノクニ</small>	四・二八四〇	京 <small>ミヤコ</small>	三・一六四一、二〇五一、四・二六四、二三八
屯倉之稅 <small>ミヤケノフネノセ</small>	四・二六六四	都下 <small>ミヤコ</small>	二・二五〇五、二六三〇、二八二二、三〇八八、
官船 <small>ミヤケノフネ</small>	三・二〇六五	皇居 <small>ミヤコ</small>	三〇六〇、五・三二七六、三三八二、三三〇五、
三宅連 <small>ミヤケノムラジ</small>	三・一五六四、五・三七五五	皇華 <small>ミヤコ</small>	三五六二、三四〇六、三八五八
三宅連 <small>ミヤケノムラジ</small>	五・三五三三、三六九〇	京郷 <small>(帝郷)一本</small>	三・一九八〇
三宅連之始祖 <small>ミヤケノムラジノハジメ</small>	三・一五六四	皇華 <small>(皇華使)</small>	三・二五八
家人部 <small>ミヤケノヒト</small>	四・二三七六、二三七七		四・二六三〇



遠近	四・三三九	品部(トモノミヤツコ)	三・一五四七	宮東丘	五・三六四四
遐邇(トホクチカク)	四・二六七四	司(郡司)	四・二六五四・五・三三三五	みやのほり(歌)	三・二四四
都鄙	五・三二四七	領	五・三二八二・三三〇三・三三二八・三三四九	太立宮柱	二・二二四
遷都	二・二八七七・四・二五九三	造媛	三五八六・三九二二	且閑(ミヤビカ・ミヤビヤカ)	二・二〇一八
經始帝宅	二・二二〇	宮地	五・三三九一	藻	四・二五九八
開都	二・二二〇	宮處王	五・三七七〇	閑雅	五・三八三六
體瘦	二・二三四三	宮戸彦	三・一六六九	風姿岐嶷	二・二六〇・三・二〇八四
宮簀媛	三・一七二六	宮主宅媛	三・二〇〇〇	宮人	三・二二八・五・三六八
宮道・阿彌陀	五・三三〇八	禁中	四・二四七六・二九二四	みやびとよむ(歌)	四・二二八七
宮地・連・麻呂(中臣...)	四・二九七四	禁省	四・三〇五八	溫雅	四・三三三
宮道別皇子	三・一五九二	宮	四・二八〇一	大山(信濃御坂)	三・一七二四
出身	五・三六一八	宮内	五・三四五七	みやまがくりて(歌)	四・二五〇二
營宮	四・二五三一	宮中	五・三七二一・三七六六	瘡	四・二八八六
宮	四・二五二八・二八二六・二八六六・二九〇五	宮内卿	五・三六九〇	病發	三・一八九四
造	一・五一二・二・二二三・一四二一・四・二五	宮内官	五・三七二二	疾病彌留	五・三四八一
造長	二四・二六四七・二七七五・五・三八二	宮首(ミヤノオビト)	一・五四六	病彌留	四・二八六一

沈病	四・三〇五八	爲宮	一・五八七	幸(イデマス)	三・一四六五・一五七一・一六一九
病	四・三二四一	營宮	一・六三〇	齒簿	五・三六六八
不豫	二・一三七四	起宮	二・二〇九〇	御行宿禰(大伴...)	五・三八七四・三九三五
體不豫	五・三六九二・三七七三・三八〇二	造宮之制	二・八七五	夢(ミイメ)	二・二四六・二四九・三・一四六六
寢疾不豫(ヤマヒシタマフ)	四・四三二一・五・三四七九	見	一・六五四・五・三一六	寢驚	四・二六八二
臥病	四・三〇五三・三〇五八・五・三二二・三五〇二	視	三・二二〇・四・二四〇〇	夢	二・一三四九・四・二六八二
體不安(アツシリタマフ)	五・三二八九	床(ミトコ)	三・二二〇・四・二四〇〇	夢訓	二・二四九
病疾	五・三三三三	玉床	三・二二〇〇	皇弓弭	二・一三六八
寢疾不豫	四・二八二二	車駕	三・一五七七・五・三六四九	無所見(ミユルモノナシ)	一・六五四
沈病	四・三〇五八	駕	五・三五二八・三五三二	世	三・二〇八八・二〇九四・二八三九・二八六八
朝(マキテ)の誤寫	三・一八七四	御行(大伴宿禰...)	五・三七七三	運	五・三三三三・三三五七
建宮	一・五三八	御行(大伴連...)	五・三六三四	時	五・三一九三
興宮	三・一五〇五	儀役(エダチ)	五・三七九三・三八八五・三八八六	標代民(ミナシロノタミ)	五・三一九三
興宮室	三・一六二二	幸(エダチ)	五・三九二一	御宇	三・一八〇二
構宮	一・三二五	行幸	三・一七九五	裝束(ヨソヒ)	五・三七〇八
		往(オハシマス)	四・二六五三	威儀	四・二六六五



三度(ミタビ)	四・二八七	獲視	五・三三三	三輪君	二・一三七
三統之綱(ミツミノツナ)を見よ		臨(臨レ病)	五・三六九〇	三輪君・東人	五・三三七
視	一・二九・二六六・二九五・一〇〇九・一一一	所見	五・三八五六	三輪君・大口	五・三三三
見	四・一一九・三・一四五六・一七〇一・四・三九七・二七九二・五・三七三七	見	四・二六二七	三輪君・子首	五・三五三
候(ミヨ)	一・三二・三六・二七・二七七・四九九・二・六九三・八〇九・一〇四七・三・一八一五・二〇三	顧眄之間	一・一七〇	三輪君・逆	四・二八六二・二八七四
察	四・二四〇〇・五・三三三・三三〇	隨見隨聞(ミキカムマニ)	五・三七二	三輪君・高市麻呂	五・三五五
覽	一・三二七・二九九八	見之者	四・二四八四	三輪君・根麻呂	五・三九五
候	二・九六二	彌勒	四・二八五三	三輪君・大友主	三・一四五五
檢察(ミヨ)	二・一〇四九・五・三三〇〇	神酒(神酒・御膳)	一・六三六	三輪君・養穗	五・三三四
觀	二・一〇〇九・一〇七・四・二七一・二八七	神酒	二・一三六三・四・三〇七七	三輪君・身狹	四・三二〇
望	四・五・三二七	瀨和(美酒)	二・一三六六	三輪君等之始祖	二・一三六六
監察	三・二〇五四	神(大神之掌酒)	二・一三六二	三輪君・小鷦鷯	四・三〇八一
	四・二九二四	神(難波吉師...)	四・二九三三	三輪栗隈君・東人	五・三二七七
		三輪朝臣・高市麻呂	五・三八八九	三輪・色夫君	五・三一九〇
		三輪磐井	四・三三一	みわのとのとを(歌)	二・一三六五
		三輪之神	一・六三〇・六三四	みわのとのとの(歌)	二・一三六五

三輪引田君・難波麻呂	五・三七四二	進食	三・一六四四・一六六〇・一七〇四・一七二一	身(土師連)(身)	五・三二七五
三輪・文屋君	五・三一二六	愛身乎(ミナシキカ)	一八四六・五・三五三八	身(小竹田史)ムクロ	五・三四一〇
三輪山	五・三三四一	萬死(シメ)	四・二六一八・二六五五	むさかくる(歌)	四・三六三四
神山樹	三・一七三五	三尾氏・磐城別	三・一五八五	賞(カツテ)	一・六七二・二・一九〇・三・一六五五
神山傍	三・一七三五	三尾城	五・三五七一	往(サキニ)	二・二〇四
御井(近江)	五・三四六〇	三尾君	三・一五三八・一五四〇・四・二五八六	曾(イニシサキ)	四・二五四八・二九五六
御井隈	四・二九三二	三尾君・堅楯	四・二五八六	往歲	四・二六五四
御井郡	四・二六一八	三尾君之始祖	三・一五三八	昔	四・二七〇一
咲(ワラヒタマフ)	三・二三四八	三尾角折君	四・二五八三	往日	四・二七〇八
三尾(近江國)	四・二五七一	姑	二・一〇六〇・一三八一	曩者	四・二七一九・二九六八・五・三三八七
賣身(賣三妾身)	四・二七九八	甥	二・二七二	昔在	五・三三九六・三三三三
被(箕)	二・二一五〇	賣身	三・一七四四	古昔(イニシヘ)	五・三三六九
設齋	五・三八六〇	文(身)	四・二七九八	往(イニシヘ)	五・三三六九
前・後(ミサキシリ)	五・三五八三	破(身)	三・一六六六	往(イニシヘ)	五・三三六九
視養(ツカヘタマフ)	五・三三二二	治(病)	四・二二三三	會	五・三三六九
飲食	一・六五四	愛(身)	五・三三三三		五・三三六九
食	三・一七二四・一七九一				五・三三六九



未ニ曾有一 五・三七五〇  
 往古來今 四・二七二五  
 悔レ往 戒レ今 四・二七〇五  
 向津野大濟 三・一七九五  
 向津國 三・一八〇九  
 ひかつをに(歌) 五・三二四一  
 向原家(ムクハラノイヘ) 四・二七五〇  
 質 三・一八八一・一九五六・四・三〇七五・五・三  
 一〇七・三三五六・三三六八・三三八一  
 所向 二・二一一八  
 對立 一・三六六・二・一三四九  
 向立 二・八四二  
 向賈男聞襲大歷五御魂速狹騰尊(狹騰尊) 三・一八九四  
 向小殿 五・三六八五  
 向燒 三・一六八七・一六九二  
 正妃(ミムカヒメ) 二・二二一〇・二二四・四・二

對 六六九・二六八五  
 對 一・三五八・三六六・三七一・四・二六一・二  
 九五三・五・三三一一  
 向(ムク) 一・三三〇・二・一〇三三・四・三三九・五  
 九四  
 嚮 一・二九三  
 迎 一・二六六・三五七・三六四・二・一〇三三・三  
 一八〇二・四・二七六四  
 聘 四・三九九八  
 納 五・三三四二  
 逆戰 四・二七七七  
 奉 迎(ムカヘマツル) 二・一〇八一・四・三三七二  
 迎 兵 四・二五七二  
 向燒(ムカヒビ) 三・一六八七  
 逆拒 五・三三七二  
 蒙迎 四・二四八三

股 一・三三〇  
 麥 一・三〇〇・三〇五  
 平伏 二・二一四六  
 耕麥之田(ムギマクタ) 四・二五二五  
 麥種一千斛 四・二七四四  
 六寸許 五・三四六三  
 耕麥之田 四・二五二五  
 向 二・二一五五・四〇八・三・一六三三・五・三  
 二五六・三六八・三四一八  
 平(タヒラケ) 一・六二七・六五四・二・七四七・一〇  
 九〇・一一一・二一五五・一三二九・一四〇〇  
 一六七八・三・一六三三・一六七七・四・二八七  
 四・二八九九・三〇八四・五・三六二二  
 果報 四・二七四六  
 報 五・三三八〇  
 報殺(タムクイコロス) 四・二三三九  
 報 三・一八九七

六畜 五・三一四七・三七四九  
 榎足(次田舍人…) 五・三七〇二  
 向原家(ムカハラノイヘ) 四・二七五〇  
 爾 三・一七六九  
 報 二・一〇一・三・一八九七・四・二三九・二  
 七七七・五・三三六〇

酬 四・二四九四・二五〇〇  
 身中 一・二六二  
 身 二・二二〇三  
 體 三・二二八八  
 四支 四・二四九〇  
 頭身 四・二九〇四  
 身頭 四・二九〇四  
 面身 四・三〇〇三  
 身面 五・三三五一  
 身體長大 三・一六八七  
 令平 二・六六七・七三二

平定 二・七三一  
 身毛津君 三・一六七八  
 身毛君・廣 五・三五一三  
 身毛君・丈夫 四・三三三二  
 平 二・八〇七  
 過 五・三三三六  
 平定 四・二五五五  
 平了 二・七五三  
 平竟 二・八二五  
 智 四・二三七九  
 武庫 三・二〇六・二〇七八  
 婚姻之昵(ムコシヒトノ) 五・三三三七  
 婚姻之昵 五・三三三七  
 武庫海 五・三六四九  
 武庫行宮 五・三二六四  
 務古水門 三・一九〇七  
 武庫水門 三・二〇六五

齊(羽田朝臣…) 五・三八四六  
 身狹(社) 五・三五八八  
 六尺 三・一六二六  
 六(丈六) 四・二七三三・二九五九・二九六二・二九六四・二  
 九九一・二九九二  
 身狹(三輪君…) 四・二三二〇  
 身刺(難波吉士…) 四・三〇五四  
 身刺(蘇我臣日向字…) 五・三三七二・三三七三  
 武藏 三・一七一  
 武藏國 一・五〇八・五・三七四二・三八二四・三八六〇  
 武藏國直丁 四・二三八四  
 武藏國人 三・一九七六  
 武藏國造 一・五〇八・四・二六五八  
 武藏人・強頸 三・二二一七  
 實 三・一六八一・五・三三九〇  
 身狹君・勝牛 四・三〇六七  
 身狹村主・青 四・二三三七・三三六四・三三八三



身狹桃花鳥坂 三八六。三三九七  
 身狹桃鳥坂上 陵(宣化天皇) 四・二六八〇  
 牟狹社 五・三五八六  
 勿レ貪(ムサボラズ) 三・一九四〇  
 貪 婪(ムサボリオホキテ) 三・一六八〇  
 貪 三・一六八〇  
 餐 四・三〇六〇  
 武士(人名) 五・三三二一  
 無乃 一・六〇八。四・二六〇九  
 牟雌枳牟羅(地名) 四・二六三二  
 虫名(石川朝臣…) 五・三七七一  
 牟士那(獸名) 三・一五五六  
 貉(貉) (ウツナ) 四・三〇四五  
 虫麻呂(穗積朝臣…) 五・三八〇六

牟自毛禮(人名) 五・三九一一  
 無性衆生義 五・三三三五  
 席障子 五・三三六〇  
 蒸 四・二八一七  
 紐 二・八七四  
 むすびたれ(歌) 四・二五〇六  
 むすびたれ(歌) 四・二六〇三  
 結紐 五・三七三九  
 結 二・八七四  
 約 四・二七〇四。二七二四  
 纏 四・二五五二  
 女(ミムスメ参照) 一・五三五。二・九一七。九二九  
 八九。一〇一一。一〇一八。一〇六七。二九八  
 三〇七。一九一一。四・三三〇。二六二。二六五  
 七。二八五三。三〇七二。五・三二六。三三四二  
 二・六八六。七八六。八〇七。九二〇。九四七  
 二・九二〇。一〇三四

嬪(ヒメ) 四・二九一九  
 女等 二・九六二  
 女罪 四・二六五七  
 喉咽 三・一四六六。一七三八  
 悲纒 四・二五五二  
 抱 四・二七九九  
 抱(物部) 依羅連… フツクルを見よ  
 擁護(イダキマモル) 四・二七四六  
 抱(抱レ子) 二・九四九  
 六口 四・三三七六。二七四三  
 貴人 二・一三四九。一三五〇  
 鞭 三・一八七四  
 鞭 四・二三七九  
 親神祖 五・三二八九  
 憤 四・二八〇三  
 發憤(ムツカムムツクア) 四・二八六二。五・三二一五。三三六五

正月(中臣連…) 五・三三二八  
 正月 二・一一二四。四・二四五  
 正旦 四・二七二二  
 元日 四・二九四七  
 元會儀 五・三三八四。三八五八  
 元會 四・二七〇一  
 好 五・三三三七  
 昵 四・二四八四  
 篤 四・二九五二  
 睦 五・三三六三  
 親 四・二七〇四  
 親(和) 親) 二・一〇三四  
 纏綿篤愛 一・四四五  
 恩親 四・二四八四  
 怡怡(ヨロコビヤハラケ) 四・二七九〇  
 親 四・三三三六  
 斷金 一・四五五  
 恩親之意 二・七〇〇

親昵之情 二・九一九  
 婚姻之昵(ムコシヒトノムツビ) 五・三三三七  
 親 四・二三〇〇  
 昵(シタシクムツマシ) 四・二三〇〇  
 交親 三・一九八五  
 六世孫(ムツギノミコ) 一・五六四  
 昂星(スハル) 五・三七五四  
 牟底(地名) 五・三四〇〇  
 六年 矣(ナリニタリ) 二・二〇七  
 曠 四・二三四三。二四八四  
 空 四・二九二一  
 胸形大神 三・二〇七八  
 胸方神 四・二三六七  
 胸方君 一・三五二  
 胸方君 五・三五五一  
 胸形君・德善 五・三六〇六  
 空國(ムナシクニ) 二・七三六。九四七。三・一八〇九  
 胸上(タカムナサカ) 二・七〇〇

胸 二・八〇九  
 開處 五・三六八一  
 空(タダ) 三・一四六五  
 冲退 三・一四九三  
 空 四・三〇一一  
 空手(ムナデ) 二・一〇三〇  
 空爾 四・二六〇九  
 亡者(シニビト・マカレルヒト) 二・七一八  
 胸副國 二・九一九  
 胸乳 二・八四二  
 露其胸乳 二・八四七  
 空爾(タダニ) 四・二七九七  
 身野(伊賀國) 五・三八四九  
 胸(曾) 一・二七五。二七六。五八三。五六六。二・六九  
 三・八〇九。一〇五六。一・二六六。三・一六七四  
 四・二七〇八  
 致 一・六〇八



標擗 (ミムネウチタマフ)	三・二一〇〇	灼然 (イヤチコナリ)	三・二〇五五	段 (キダ) (賜物千段)	四・二五〇二
棟梁	四・二九二九	宜哉 (ヨロシキカナ)	四・二四八四	邑并田	一・四七五
要用	二・一四〇七	牧 (サマキ)	五・三四三七	村合屯倉	三・二二二
爲宗	三・一六八〇	諾 (セ)	四・二五二五	混 (マロカシトノフ)	五・三三三
棟梁之臣 (恐ラクハ棟梁ノ誤)	三・一七三四	陸佰口	五・三八五一	諸縣君 (モロカタ)	三・一六四一
棟梁之臣 (ムネマヘツギミ)	四・二七〇八	六人 (ムタリ)	四・二八三六	諸縣君 (ウシモロキ)	三・二〇三三
填智	一・五八三	六齋	五・三八七五	諸縣君 (ウシ)	三・二〇三三
胸毛	三・一七三四	邑 (務羅)	二・二一九	諸縣君 (牛)	三・二〇三三
棟梁之臣	三・一七三四	邑 (サト)	二・一〇六八・一〇七四・一〇八〇・四・三四一	諸縣君 (牛)	三・二〇三三
通胸	三・一六七四	郡家	五・二八二九・五・三四六三	諸縣君 (牛)	三・二〇三三
身野 (伊賀國) 身野を見よ	一・三七七	巷里	三・一九二二	諸縣君 (牛)	三・二〇三三
六男 (爲日神之子)	一・五一一	郡家	三・二四四三	諸縣君 (牛)	三・二〇三三
茨城公	五・三七四八	疋 (マキ) (絹幾疋)	三・一九七二・二・二三・四・	諸縣君 (牛)	三・二〇三三
宜 (ヨロシク)	一・一〇四・一三・一五四・四九三	匹 (額十九匹)	二・七七二・五・三三〇・三三七八・三四二四	諸縣君 (牛)	三・二〇三三
宜也	二・七八・一〇四七・一〇四八・一〇五一・一七九〇	端 (キダ) (絹施布幾端)	三・六九二・三七七七	諸縣君 (牛)	三・二〇三三
	五・三三八七		五・三二四・三五二一・三六九二	諸縣君 (牛)	三・二〇三三
			五・三二〇・三二七八	諸縣君 (牛)	三・二〇三三

紫	五・三二六五・三七六八	紫冠	五・三二六五	紫菌・挺雪而生	五・三三三九
巷里	三・二一六	聚落	四・二六二六	村邑	四・二七二四
連	一・二四八・三四一・四〇〇・五〇八・二九五	村史・名倉	五・三六六三	村屋	五・三五八三
村田	四・九七〇・二八二・四・三三三・二四二	郡公 (ムラキミ)	三・一四四四	村屋神	五・三五八八
村史	三・一四四四	牟婁 (地名) (ムロ)	四・二五九三・二六九〇	山 (韓語)	三・一九八〇・一九八六・四・二五一・二五
村屋	五・三五八三	牟婁郡	四・二八四・二八二		
村屋神	五・三五八八		五・三八九五		
牟婁 (地名) (ムロ)	四・二五九三・二六九〇				
山 (韓語)	三・一九八〇・一九八六・四・二五一・二五				
牟婁郡	四・二八四・二八二				
	五・三八九五				



婦	四・三五六、二七九八、五・三三四二、三四一〇	妙位(人名)	五・三三三〇	仁寬	三・二〇八三
婦女	四・二七九八	陰神	一・九九、一〇一、一〇五、一七、一三四、一三九、一四三	仁惠	四・二五二五
妻	五・三三八八	雌雉	二・九六〇	惠	四・二四一
賜妻	二・一〇八五	雌雉田(キツタ)	四・二六四九	哀矜	四・二三七六
明(人名)	四・二六二四、二七四七	憐愛	二・六六七	慈愍	四・二四三五
明應本(總論)	一・二七	憐心	二・一〇一八	寵	四・二九一二
女軍(メノイクサ)	二・二四四、二七六	愛之	四・二七一	父母	五・三三五四
盟神探湯・此云ニ區訶陀智	四・三三五	感所遇	四・二二七	愛寵之情	四・三〇五九
明帝	三・一九六一	求寵	五・三三四	慈仁	四・二五七三
味奴(人名)	四・二七〇二	愛	一・六六〇、六六三、四・二四四七	仁愛之德	五・三三四四
明王	四・二七七三	恩	二・一〇〇、四・三三三、三三三、二四八	鍾愛	四・三二一
妙光	四・二九一一	德	四・二六〇七、二七五、二七九〇、二七九一、二九二九、三〇五八、三〇六八、五・三六七五、三六七六	恩如母	二・一〇〇
廟塔	五・三三五八	仁	三・一七六九	愛子	四・二七九〇
妙德(尼)	四・二九一一	德	三・一七六九	愛兒	三・一七四八
牝馬	五・三三四七	慈	四・二九五三	賞	四・三〇二七

寵臣	四・二八七四	愛育	二・一三三五	仁	四・二六二五
寵待(ニキホヘタマフコト)	四・二五七五	寵緩	三・一四六三	恤	四・二七九八
寵妃	五・三三四	承恩	三・一六八〇	遇	五・三三三四
憐重	五・三三五〇	施仁	四・二六〇七	廻望(望ム)	二・一三三三
求感	二・一〇三三	忍愛	三・一七七八	廻旋	一・一七〇、二九三
寵賞	五・三五九七	輔仁(サツクシビサタスク)	五・三四四五	運	五・三三九八
賞・罰(賞タマ)	四・二九五六	酬恩	四・二四九六	旋	三・二八五、四・二七九七
恩勅	五・三三六一	愛(サツクシム・コノム・ヨミス)	一・六六〇	繞(カクム)	四・二七九六
愛而養之	一・六六〇	寵(アガム・ニキハフ)	三・一四三三、一五三九、二〇八四、二二八四、二四三四、二五七二、二六八二、二八一五、三〇六八、一五五八、一六三〇、二二二二、四・二六四四、二二九八、二四〇三、二五七五、二六八三	緣	五・三三五一
仁風(ウツクシビノノリ)	四・二六六〇	愛寵	四・二二二七	域	五・三三九三
恩命	五・三三〇五	寵愛	四・二六八二	域外	三・二七九、五・三三三八
恩勅	四・二六七〇、五・三三六七	慈愛	五・三六四二	邊境	四・三〇一九
恩詔	四・二七二五	慈	五・三六七七	相遇	三・一六六九
仁聖	五・三三八三	慈	五・三六七七	相	一・一〇五
仁化(ウツクシミナシヘ)	四・二八〇六			周流削平(メグリツツ)	二・八八四







感情 メテマフミココロ	四・二七四	女子 メノコ	四・二八四六
賞賜 メテマモノダマフ	五・三九二八	女人 メノメ	四・三〇八四
娶(メトル)	二・八〇七	目子媛 メノコヤツコ	四・二五八三・二六四三
めとりが(歌)	三・二六〇	婢(メノコヤツコ・メヤツコ)	四・二五八三・二六四三
雌鳥皇女 メトリヒメミコ	三・二〇〇〇・二〇〇三・二一六〇・二六六八	乳母 メノトヲラハ	五・三一八六・三三四三・三四五・三三三七・三七〇五
馬腦 メナク	五・二七八二	女孺 メノトヲラハ	四・二四九〇
めにしみえねば(歌)	三・一九四六	眼中生(稗)	四・三〇五八
女軍 メノイクサ	二・二一四四・二一七六	雌元之處 メノハジメトイフトコロ	一・一〇〇〇
婦宅 メノイヘ	四・二九〇〇	陰元 メノハジメトイフトコロ	一・一〇一五
目大連(物部...)	四・二三三九・二三九〇	目連 メノムラジ	一・一二七
目臣(阿倍...)	四・二八四六	婢(メノコヤツコ)を見よ	四・二四〇九・二四一〇
婦人 メノコトヲコメノコ	一・一〇四・四・三〇四一	女孺 メノトヲラハ	五・三五三〇
女(男・女)	一・五〇四	合眼 メヒノイラツメ	二・二一九六
婦 メノコ	三・一四六六・四・二八四一	姪娘 メヒノイラツメ	五・三三四二
女 メノコ	三・一六六六・四・二五八一・三二五〇	馬武(人名)	四・二七三三

七

婢(メノコヤツコ)を見よ	四・二五八三・二六四三	裳 メノ	一・三三二・三三五・三三〇六
めろよしに(歌)	二・八一九	裙 メノ	四・三三九五
陰陽 メノ	一・四一〇・一〇七	妻妾 メノメ	五・三三四二
夫婦(チトメト)	一・一〇七・四・二七九八・三八二	洗眼 メノメ	一・二五二
男女(サトコサミナ)	二・八五八	陰陽之理 メノメ	一・一七一

瘡(行疫氣)	三・二〇六七	木劫今敦 モクケフコトノ	二七六八
瘡(瘡)	四・二七五二	木劫今敦 モクケフコトノ	四・二七四六・二七五三
瘡(瘡)	四・二八六〇	木劫施德・文次 モクケフセトコ	四・二七六八
瘡(瘡)	三・一五三三	木劫味淳 モクケフイシユン	四・二七〇四・二七一
瘡(瘡)	一・二六六	木劫麻那 モクケフマナ	四・二七二
瘡(瘡)	四・三〇九二・五・三三三九	朴勤脩(人名)	五・三六三四
瘡(瘡)	二・七〇七・八一・二・四・三八二・二九四二	菅蔚(シダグモシ)	三・二〇五九
瘡(瘡)	三〇四八・三〇九二	木素貴子(人名)	五・三四〇〇・三四七二
營 モガリツル	五・三二四〇	木滿致(大倭...)	三・二六四
營 モガリツル	四・二九四二	朴武麻(人名)	五・三六三三
營 モガリツル	四・二二五九	木羅斤資(人名)	三・一九八〇
營 モガリツル	四・二二七四	木尹貴(人名)	四・二七二
營 モガリツル	五・三八〇五	獲略 モクヨク	四・二三七九
營 モガリツル	五・三七〇六	透蛇 モクヨク	二・一〇一六
營 モガリツル	五・三九二六	若 モクヨク	二・九五七
營 モガリツル	四・二七〇四・二七二二・二七四六・二七五三	若 モクヨク	一・三三三・三五八・三七一・三〇三・二七六六
營 モガリツル		若 モクヨク	八二五・八八七・九八九・四・二七〇八・二七四二

如

如 モシ	二七七二・二八一七・八三九・五・三三九三
如 モシ	一・三三三・六二七・二・七四六・九九八・一〇
如 モシ	三九・一一五二・四・二六七四・二七一一
若使(タトヒ)	一・五八三
假使(タトヒ)	二・九二二
豈 モシ	二・一〇一三
縱 モシ	四・二五九六・二六二五・五・三三三四・三三四七
儻如(ニハカニ)	四・二六七四・二六八二
儻如(ニハカニモシ)	四・二六七四・二七〇二
爲當(ハタ)	四・二七七七
縱使 モシ	四・二七八二
茂 モシ	四・二四九六
若(モシクハ)	五・三三二一・三三二八
如(モシクハ)	五・三三二一
裙代(江淳臣...)	四・三八〇六
百舌鳥	三・二九〇
百舌鳥野	三・二七四・二九六



百舌野 陵(仁德天皇) 三・二九六  
 百舌鳥・長兄(人名) 五・三二三・三三二六  
 百舌鳥土師 連・土徳 五・三二三  
 百舌鳥耳原 三・二九〇  
 百舌鳥耳原 陵(履中天皇) 三・二三四  
 黙 四・三七六  
 黙坐 四・三〇二  
 賫 三・一四三七  
 黙 一・二七九・三・二三四・四・三七四・三〇  
 五三・五・三五三  
 黙已 四・二六五八  
 嘿然 四・二八二  
 嘿然(ケルコト) 四・二三四  
 持 四・二九〇一・五・三二七  
 所持 一・三六七・三七〇・四三七・二・一三六六  
 賫 四・二六一・二六二〇  
 所 賫(モテルモノ) 四・二六一・二六二〇  
 將來 四・二七六九  
 將來 二・一四二一  
 將來(ヒキキタリテ) 三・二八五  
 用 四・二七七  
 捫(抱)一本 二・一〇五六  
 賫物 三・一五六四  
 持去 一・三〇五  
 荷丁(ニナヒヨボロ) 五・三八九一  
 不須(ベカラズ) 五・三三九四  
 用 二・二一九  
 用(活用の説) 一・五七六・四・二六七七  
 一・二三四・五七五・五八七・二・一〇三七・一  
 二九・五・三六五・三六〇  
 須 四・二六七四・二七五・二七五六・五・三三二  
 一・三二九四  
 須用 四・二七七  
 持 一・四一三・一〇一八・二・九〇〇・九〇五  
 取(報取ササゲモツ) 九二二・一〇〇七  
 將 一・四八四  
 賫 一・五七八  
 賫持 三・一五六四・二六四  
 有(タモツ) 四・二八五二  
 置(取置) 五・三三三五  
 用 一・二七二・四・二七六九  
 將(モチテ) 一・五七八・二・八二五・三・一四四四・一  
 四四九・一五五七・一七七九・一七八〇・一八九四  
 四・二三五・二三八三・五・三二一〇  
 以(モチテ) 一・一六六・一六九・一八七・二〇三・二七  
 二・四五五・四六九・四七三・四九三・五一五・五  
 二五・五五三・五六七・五七〇・五七五・五七八  
 五八七・六五四・二・七〇七・七三二・八〇九・一  
 〇三三・一〇七七・三・二〇九七・四・二六三  
 二六四九・二七三二・二九五六・二九五七・二九七

式 八・五・三〇三・三二一三・三三五八  
 四・二四三四・二六四九・二六五一・二七〇四  
 二七二〇  
 持 四・二五四七・五・三三五八  
 玩好 三・一九八五  
 翫 一・六六〇  
 將去(モチサリヌ) 三・一七八〇・四・二三三五  
 將來物 三・一四四九  
 將來 三・一四四四・一四四九・一五五七・一八九四  
 將來 五・三二二〇  
 將去 三・一七七九  
 所 賫(モタルトコロノモノ) 四・二六一・二六二〇  
 下 四・二六一・二六二〇  
 一・二七二・二・九八二・九八五・一〇〇九・四  
 二八九六・二九三三・三〇五八・五・三三三五  
 三三八六  
 底 四・二八四一  
 處 四・二八四三  
 所 二・八六九・一〇五八・一〇三三・三・一六四六  
 四・二六一四・二六二五・二八七六・五・三〇九七  
 三二三五・三三三五  
 傍 二・一〇二六  
 邊 二・一〇五三  
 元 三・二〇八六  
 本 二・一〇一三  
 根(ネ) 二・一〇一三  
 宗源 二・八九八  
 根源 三・一五一六  
 莖 四・二三四八・五・三六七〇・三六八四  
 藪 三・一六七〇  
 宿 四・二五二二  
 舊日 四・二七〇八・二七二五・二八一二  
 從來 四・三〇六一  
 反視(アトカヘル・カヘリミル) 四・二七七三  
 伐本 四・二四六九  
 本 三・一五五八  
 所 三・一四三三・一四三五  
 左右(カタハラ) 四・二四四七・二五二六  
 左右舍人 五・三二七七  
 もとごと(に)歌 三・一四七四・一四八五・一五三八  
 左右(カレコレ) 一五八一・一八四四・二〇三三  
 桑梓(モトノクニ) 四・二五〇二  
 本郷(モトノクニニ参照) 二・一〇一三  
 本朝 五・三八六八  
 本宮 二・一〇二四  
 職 四・二七七四  
 爲本 四・二八八一  
 本也 四・二六七四  
 故 二・九七七・九八〇・一〇一三・一〇〇七・一〇三〇  
 三・一四七七・一五六四・四・二五七五・二五九七  
 本 二七〇五・二七二六・五・三二四二



舊 <small>モト</small>	四・二七〇四。二七〇五。五・三三三	本紀 <small>モト</small>	四・三〇二	求索 <small>モトメコフ</small>	五・三三二
元 <small>モト</small>	五・三五八二	もとへは(歌)	三・二〇九二	勿レ覓 <small>モトメテハズ</small>	三・一五五八
本主 <small>モトノシ</small>	五・三三四二	もとへをば(歌)	四・二六〇三	覓 <small>モトメテフ</small>	二・一〇一三
本 <small>モト</small>	二・一〇一三	沒利島 <small>モトリシマ</small>	三・一七九五	祈願 <small>モトメテガフコト</small>	四・二七四七
故郷 <small>モトノクニ</small>	三・一四七七。一五六四。四・二七〇五	縁 <small>モトホリ</small>	四・二九四六。五・三三六五	最 <small>モトモ</small>	四・二六〇七。二七四六。五・三三〇
本土 <small>モトノクニ</small>	四・二五九七	相羊 <small>モトホリアツア</small>	四・三三三三	素 <small>モトヨリ</small>	一・三三〇。二・一九八。四・三〇六八。五・
本屬 <small>モトツクニ</small>	四・二七〇五	求 <small>モトム</small>	一・二二三。二八四。六五四。二・一〇七。三	本 <small>モトヨリ</small>	二二五七
本貫 <small>モトクニ</small>	四・二五七五	求 <small>モトム</small>	一・四四三。一四七四。四・二七四六。五・三	元 <small>モトヨリ</small>	一・三五七。六二五
桑梓 <small>モトツクニ</small>	四・二五七五	求 <small>モトム</small>	二九。三三四	元 <small>モトヨリ</small>	一・三五八。三七七。四・三七一。二八八
本意 <small>モトノココロ</small>	五・三五八二	求 <small>モトム</small>	一・五一九。五三八	元乘 <small>モトヨリ</small>	五・三八四四
元意 <small>モトノココロ</small>	四・二六四四。二六八五。二八一六。二九〇五	求 <small>モトム</small>	四・二二九九	由前 <small>モトヨリ</small>	四・二三四七
如故 <small>モトノゴトシ</small>	五・三〇九六	求 <small>モトム</small>	四・二七五四	由來 <small>モトヨリ</small>	四・二八七九
如舊 <small>モトノゴトシ</small>	四・二七〇八。二七二五。二八一二	求 <small>モトム</small>	四・二二七一	宿 <small>モトヨリ</small>	四・二四九六
故地 <small>モトノトコロ</small>	四・二七四四	求 <small>モトム</small>	四・二二九〇	傲 <small>モトリ、イスカシマニシテ</small>	四・二六三三
本名 <small>モトノナ</small>	一・五三〇	探 <small>モトム</small>	三・二一九〇	恨 <small>モトレ</small>	二・一九九五
宮 <small>モトノミヤ</small>	二・九九五	鳩 <small>モトメ</small>	五・三三六五。三三六八	床側 <small>モトコ</small>	五・三三二二
本邑 <small>モトノムラ</small>	四・二七二六	覓 <small>モトメ</small>	五・三三二九		

文 <small>モトクシ</small>	三・一六六六	齋戒 <small>モトイミシツツシム</small>	二・二六七七。九五七。五・三七二〇	博物之臣 <small>オモシロ</small>	四・二六二八
基 <small>モトキ</small>	四・三〇六六	懷抱 <small>モトモヒ</small>	二・二〇四。一三四八。四・三三四九	物實 <small>モノシロ</small>	二・一三八一
中心 <small>モトノカ</small>	二・一〇七七	言談 <small>モノガタリ</small>	三・二一五七	貢獻 <small>モノタテマツル</small>	四・二三四八
中央 <small>モトノカ</small>	五・三七一九	所談 <small>モノガタリコト</small>	四・三三〇〇	朝獻 <small>モノタテマツル</small>	四・二八〇三
塊區 <small>モトノカ</small>	二・二〇二七	清談 <small>モノガタリス</small>	一・六一七	奠 <small>モノタテマツル</small>	四・三〇〇一
剎柱 <small>モトノカ</small>	四・二九二四	言話 <small>モノガタリス</small>	四・二二九九	賜 <small>モノタマフ</small>	五・三三三
好在 <small>モトノカ</small>	五・三三五〇	因物 <small>モノガタリ</small>	四・二七七九	給祿 <small>モノタマフ</small>	五・三二五
會喪者 <small>モトノカ</small>	二・八一三	不食飯 <small>モノクハズ</small>	四・二九九八	給 <small>モノタマフ</small>	五・三六七五
者 <small>モト</small>	一・四一。六二五。二・六八六。七四七。七五三	食 <small>モノク</small>	五・三三〇四	賞賜 <small>モノタマフ</small>	五・三八二四
物 <small>モノ</small>	八八四。九五三。一〇二六。三・一四七四。四・	乞者 <small>モノコフヒト</small>	四・二七六三。二七七三	者 <small>モノ</small>	一・三五八。三七二
	二七六三。二七六四。二九五三	物根 <small>モノダネ</small>	四・三〇四八	學問 <small>モノナラヒ</small>	四・二九〇七
	一・四七。五三。五七。一三九。二九三。二九八	ものさはに(歌)	四・二六二七	學問 <small>モノナラフ</small>	四・二九一一
	三五〇。三五二。四六六。二・八三二。一〇三七		一・三五〇	學問者 <small>モノナラフヒト</small>	四・三〇三五
	三・一四四四。四・三三二九。五・三三三二		四・二五九九	學生 <small>モノナラフヒト</small>	五・三八六八
具 <small>モノ</small>	一・四六九				
班物者 <small>モノアハツヒト</small>	二・一三五七				
勿言 <small>モノイハズ</small>	二・一三八一				



學問僧	四・三七六。三〇八。三〇九。五・三二六	物部大臣	五・三二二	物部連・熊	五・三八七
負債者	九・三九八。三八二六	物部・大前宿禰	三・二二〇。二二八五	物部連・祖・伊香色雄	二・一三五七
兵器(ツバモノノケ)	五・三八二四	物部大連	四・二八八七	物部連・遠祖・十千根	三・一四九三
武士	三・一五二六	物部大連・尾輿	四・二六五八。二六九〇。二七四九。二七五〇	物部連・麻呂	五・三六五九
物部・鹿火大連	二・一九九	物部・鳥	四・二七六八	物部連・目	四・三三五
物部・兵士	四・三三三	物部神	四・二七六八	物部・目大連	四・三三九〇
物部・瞻咋連	四・三三三	物部・君祖・夏花	三・一六二六	物部・目連	四・二四〇九
物部・伊菖佛大連	三・一八二〇	物部・藥	三・一六二〇	物部・八坂	四・二八八四
物部伊勢連・父根	三・三二一九	物部・施德・麻智牟	五・三九三二	物部・八十手	二・一三五七。一三五九
物部・木蓮子大連	四・二六二〇	物部・十千根大連	四・二七二〇	物部・弓削・守屋大連	四・二八五八
物部・氏遠祖	四・二六四六	物部・長眞膽連	三・一五三四。一五五三	物部・依網連	四・二九七九
物部・菟代宿禰	二・一九八。一三三九	物部・贊子連	三・三三二	物部・尾輿大連	四・二六八五
物部・朴井連・椎子	四・二四〇九	物部・莫哥武連	四・二八四六	物部・雄君連	五・三六四九
物部首	五・三三九二	物部・莫奇委沙奇	四・二七六九	多欲	三・一八五七
物部首之始祖	五・三七二九	物部連	三・一五五三。五・三七五一	令貪嗜(ツナマシム)	五・三五五六
物部首・日向	五・三五五二	物部連・國忍	五・三七二〇	寡欲	五・三八三五

尸者	二・七〇七	專(モハラニ)	四・二五三一	穀	四・二八〇三
有所言	三・一六七四	全	四・二六九九。二七四九。五・三三三〇。三三四	乘(シノケ)	三・二七九。四・二六六五
答言(ミコタヘス)	三・三二三四	一(モハラニ)	七・三三〇。三三〇〇	汶休帶山(人名)	四・二七六一
請謁	三・三二四九	純深	三・三二九。三三三六。三三九五	文貴(人名)	四・二五九七。二六〇七。二六一一
ものまをす(歌)	三・三二四九	元惡	四・二八三九	文賈古子(人名)	四・二九〇六
奏請	四・三〇六一	鏡(ヤリ)	二・二二六一	文斤王	四・二四三〇
謁者(モノマナシビト)	四・三〇六一	水主皇女(ミメシノ)	二・二〇一八。一〇四九	文次(人名)	四・二七六八
御史大夫(オホキモノマ)	五・三六六七	水取造	五・三三三三	汶斯子奴(人名)	四・二七六九
納言	五・三六九〇。三八一九	主水部	五・三七二九	汶洲王	四・二四一四
不得喫飲	五・三三二六	主部遠祖	二・二二三	汶得至(人名)	四・二六〇七
不レ言	四・二二四四	毛麻利叱智(人名)	三・一九五六	股	一・三三〇
不レ言	四・二二四四	所乘(シノガル)	四・二二六五	桃	一・二七二
生レ物	一・二〇一	爲レ所乘(シノガレナマシ)	四・二二六五	百枝(穗積臣...)	五・三五四一
乞食	四・二六二六	毛瀾	三・二〇五一	百枝(大狗連...)	五・三七〇二
陵物之意	一・三三七	稼(穀稼)	四・二六七四	百枝(大狗連...)	五・三九三二
給レ祿	五・三三〇四			百枝臣(下河邊...)	五・三三八七



百枝杜樹	二・一〇一八
百枝賢木(五百枝)	三・一七九五
數百	三・二〇八九。二〇九。四・三七七。二九〇〇
百八十神	四・二七四九
百八十部(リヤソトモノチアマ)	四・三〇二〇
百八十種紐	二・八七六
百八十種勝部	四・二四〇四
内裏(オホウチ)	四・二八七九
桃李	四・三〇一三。三〇四四
一百	五・三七三二
百不足	二・七四七
ももたらす(歌)	三・二一四四
百足(穂積臣...)	五・三五四一。三五五三
百足(山背直...)	五・三六五九
百人(モモヒト)	三・一五三三
一百人	四・二九〇〇
ももちたる(歌)	三・二〇一五
百寮	三・一六五五
百衝(人名)	三・二七九
ももづたふ(歌)	四・二四九一
百傳度逢縣	三・一八三六
百年	三・一四六三
百歲	五・三七七四
百八十部(ヤソトモ)	四・三〇二〇。五・三七七〇
百機	一・二九三
百機(ツクエシロモノ)	二・九三二
饌百機	二・一〇三二
ももなひと(歌)	二・二七〇
百八十縫	二・八七五
桃樹	一・二七二
百億(ツカサヅカサ参照)	二・一三三五
百官(ツカサヅカサ参照)	四・二四八三。二四八七。五・三三七一
百寮	四・二五八一
桃子	四・二七三三。三〇四八。五・三六七九
一百八十一神	一・六〇二
百菩薩	五・三八〇二
桃原	四・二三五九
桃原墓(馬子)	四・三〇四四
百八十紐	二・八七四
百依(河邊臣...)	五・三三三三
百依(膳部臣...)	五・三三二八
用桃避鬼	一・二七二
喪屋	二・七〇七。七二八。八二二
喪山	二・七二八
不便	四・二四九一。五・三七三八
不便	三・一五八一。四・二二四一。五・三六八一
不便	四・二八二二。五・三六七九
豫	三・二〇六七
燒	三・二〇六七
瓊瓊	一・五〇六

射二火箭(一訓)	四・二七六九
燃土	五・三四三七
燃水	五・三四三七
催(ツツシ)は誤訓	四・二八四一
關	四・三〇二二。二四三五。二八九一。三〇二二
杜	五・三三三九
守石(馬飼首...)	四・二九三二
守君	四・二七九二
守君	三・一六七八
守君・大石	五・三三〇〇。三三六七。三四一六
守君・菊田	五・三八二二
没利嶋(モトリシマ)	三・一七九五
守護人	五・三八四九
守屋大連(物部弓削...)	四・二八二六。二八五八。二八九九。二八九八
守屋連(物部弓削...)	四・二八六七
杜屋連(大伴...)	五・三六七九
守山公	五・三七四八
盛(イル)	二・九七七。一〇〇七。四・二四〇七
行(酒行)	二・一六五
漏(オツ)	二・一三九〇。三・二一一〇
溢	三・一四六六
脱	四・二八〇四。五・三三三三
泄	四・二八二二。二八八八
守護	四・三八〇九
母(大母)	二・一四一一
兩脚(フタツノアシ)	四・二九五八
諸會臣	五・三七五五
諸縣君	三・一六四一。二〇二二
諸縣君・泉媛	三・一六四一
諸縣君・泉媛	三・一六四一
群神(カミタチ)	二・一三五七
危(アヤフシ)	四・二九五三
同船	五・三三〇七
大唐(唐)	四・二九七〇。二九七四。三〇七三。三〇八
諸石(笠臣...)	五・三三三二
諸石(笠臣...)	五・三三三二
諸石(笠臣...)	五・三三三二
諸石(壬生...)	五・三三三二
大唐國	五・三三三四
大國	四・二九七六
西土(ニシノクニ)	五・三三三六
唐帝	四・二九五五。二九八四
西皇帝(西皇帝)	四・二九八四
唐天子	五・三三五〇
天子	四・三〇七七
西海使	五・三三一二
唐朝	五・三三一二
諸石(菟田...)	五・三三二六
諸石(笠臣...)	五・三三三二
諸石(笠臣...)	五・三三三二
諸石(壬生...)	五・三三三二



諸助(但馬) 三・一四六〇。一五五九  
 諸田(下譯語) 五・三九二六  
 諸手船 二・七三七  
 兩手(フタツノテ) 四・二九五八  
 一時 二・一六八。三・二〇六五。二四二二。四・二  
 六二七。五・三三〇。三二五五  
 同時 四・二三七一  
 俱時 四・二八二三  
 共 五・三六九八  
 諸(モロモロ) 五・三七二四  
 諸部 二・一三三三  
 諸部備行 二・一〇四一  
 諸部神等 二・九一八  
 衆(イクサ) 二・一九五。四・二七八三。五・三三七四  
 衆人 二・九五三。四・三四〇〇。五・三三三〇  
 群庶 四・二七九〇  
 衆 一・五五五。八五二。四・二三五六。二九四七

衆庶 二九五六。二九五七。五・三三九二  
 衆 一・四五八。四七九。四八八。二・六七七。六八  
 六。一〇七〇。四・二九六二。二九六九  
 諸 四・二六二  
 諸縣 五・三三三三  
 諸臣 四・三三三四  
 諸好 備(好ヨキカホ) 四・三三五四  
 諸神 二・二〇四。四・二八三九。五・三三二八  
 諸神(モロガミタチ) 一・二九一。四五八  
 衆神 一・四九三。五・五  
 衆言 二・六七七  
 衆 一・五五五  
 庶務 四・二七六二

諸法 四・二七四六  
 諸隼人 二・一〇二六  
 衆 四・二六二六  
 衆僧 五・三二〇五  
 諸子 一・三三二  
 弔喪 二・七二八。八二二  
 弔死 三・二九五

歟(カ〇カモ) 一・八九。一五〇。二・六七七。七〇〇  
 乎(カ參照) 八三三。八三五。四・二五七九。五・三二二九  
 一・一〇四。一九九。三三〇。四二四。五三  
 四。五五六。六一七。二・九四九。九五三。九八  
 〇。一〇〇七。一〇三九。一〇四七。一〇七七  
 一・一五二。一三三五。三・一四六四。一四七四  
 一八七四。一九二。一九四一。二二八。二二  
 一。四。二四八四。二七二。五・三六二

哉 三二六八  
 一・一〇一。一〇五。一三九。一四三。二・九五  
 〇。五・三二八  
 耶(カ) 一・一〇五。二七。一三八。六三〇。二・八二  
 三。八二五。八六九。九五二。一〇三五。一〇八  
 三。一三四六。三・一七八〇。二〇七六。四・二  
 三九。二三五。二七二。三〇一七。三〇六  
 七。五・三二五九。三二五三  
 也(ツヤ) 二・一〇七九。一三四八。三・一七九  
 二。六六六。六九三。七〇〇。八〇九。九四三  
 一〇〇七。一〇三〇。四・二七四二  
 箭 二・九七七。四・二四一〇。二七五六。二八八四  
 二・七七八。八二。八一三。一〇一六  
 舍(イハ) 四・二二〇五。三〇六九  
 八 二・七〇七。九三八。一〇一六。一〇三三  
 吐嗟(アヤ) 五・三三五八  
 陽香(高麗王) 四・二八〇一

陽貴文(人名) 四・二九〇六  
 陽候(ウミノカミを見よ) 四・三〇一六  
 煬帝 一・七  
 漸(ヤヤク)を見よ  
 養老四年上奏日本紀 一・七  
 瓔珞(クビタマ)を見よ 四・二六〇七  
 八方(ヤモ) 二・三〇七。一〇四七  
 八日 五・三六五六  
 屋垣王(屋恒王) 三・一五六四  
 八纒 五・三四三三  
 宅子(伊賀采女) 五・三三三二  
 舍屋 四・二九三三。五・三六七三。三六八一  
 宅屋 五・三三九六  
 屋舍 五・三三五一  
 官舍 五・三三九九  
 屋形麻呂(壇手) 四・二三八四  
 八日以後 二・一〇四七

やかはえなす(歌) 三・二五三  
 宅媛 四・二六四六  
 家部 五・三四〇二  
 宅部皇子 四・二八九九  
 八日八夜・啼悲歌 二・七〇七。七五  
 一・一七三。一八〇  
 見焦 一・一〇三  
 被灼 一・一八五  
 屬 二・七八八。四・二四一四。二四七六  
 眷屬 三・一六二五。四・二八五〇。二八九八。五・三  
 一六一。三七二。三八七七  
 族 三・一五四七。六四一。一六七八。二一九四  
 二三五三。二四八四。二九〇〇。二九〇一。五・  
 三二七。三二四一。三五四四  
 姓 四・二六七〇  
 族姓 四・二七九〇  
 親族 三・一六七二



骨族 ヤカラ 四・二五六一  
 同族 ヤカラ 五・三三三八  
 黨族 ヤカラ 五・三六六五  
 黨類(トモガラ) ヤカラ 三・二一九四  
 類(トモガラ) ヤカラ 五・三五二〇  
 徒衆 ヤカラ 三・一六四四  
 種 ヤカラ 四・二八三四  
 宗 ヤカラ 五・三三五〇  
 妻子 ヤカラ 四・二七三二  
 子弟(ウカラ)を見よ  
 諸族等 ヤカラ 四・三〇六七  
 族姓 ヤカラ 五・三七四三  
 儻者 ヤカラ 四・二九一五  
 見(焚)ヤカユ ヤカラ 三・二〇六六  
 被燒(ヤカユ) ヤカラ 四・二八六〇  
 所燒國記 ヤカラ 五・三一六二  
 燒折 ヤカラ 五・三六四九

燔死 ヤキコロス 四・二三〇七  
 燒死 ヤキコロス 四・三三二一  
 八段 ヤキダ 四・二九〇一  
 燒津 ヤキツ 三・一六八七  
 燒燼 ヤキツク 四・二七五〇  
 焚而殺 ヤキコロシツ 三・一九五九  
 不(血)丹(ハチチヌラサズ) ヤキバチチヌラサズ 三・一六三〇  
 掖玖(地名) ヤキバチチヌラサズ 三・一六三〇  
 燒(タク) ヤキ 四・三〇一三、三〇一九、三〇七五、三七一八  
 焦 ヤキ 一・四七五  
 焚 ヤキ 二・九二九、九五二  
 燔 ヤキ 四・二八五九、五・三三四〇  
 燒焚 ヤキ 四・二七二四  
 燒燼 ヤキ 五・三三九五  
 灼干那(人名) ヤキカンナ 四・二七四三

八物 ヤカサ 三・一四五五  
 八色雷公 ヤカサノイカヅチ 一・二七〇、二七五  
 八色之姓 ヤカサノカバネ 五・三七四三  
 水土不調 ヤカサマ 三・三三四  
 不平(ヤスカラズ) ヤカサマ 一・四五五  
 不和 ヤカサマ 五・三七九〇  
 藥師寺 ヤカシジ 五・三六九二、三八二七、三九四一  
 藥師佛像 ヤカシジツツ 五・三八四八  
 八口朝臣・音櫃 ヤカチノアサミ 五・三八一三  
 八口采女・鮪女 ヤカチノウネメ 四・三〇六〇  
 八口岳 ヤカチノタケ 五・三五六二  
 矢國(羽田公) ヤカクニ 五・三五六〇、三五七一  
 八國(羽田公) ヤカクニ 五・三七三四  
 八國(羽田真人) ヤカクニ 五・三七八六  
 易博士 ヤカクノハカセ 四・二七六八  
 掖久人 ヤカクノヒト 四・三〇一三  
 やぐもたつ(歌) ヤカク 一・五四二

やぐもたつ(歌) ヤカク 二・二四一五  
 兵庫(ツバモノグラ) ヤカク 五・三三二〇、三三八四、三三二五、三五五三  
 庫(ツバモノグラ) ヤカク 五・三三二一  
 亡 ヤカク 二・九五二  
 家人部 ヤカク 四・三三七六  
 鑊滅 ヤカク 二・七六六  
 陽胡史祖・玉陳 ヤカク 四・二九三九  
 八坂(物部) ヤカク 四・二八八四  
 八尺 ヤカク 五・三三三九  
 八坂瓊 ヤカク 二・八八四、三・一七九五、一八〇二  
 八坂瓊之五百箇御統 ヤカク 一・三三六、三四〇、四〇六  
 八坂瓊曲玉 ヤカク 一・三六四、三六七、四八〇、二・八三二  
 八尺瓊勾玉 ヤカク 三・一五五六  
 如八尺瓊之勾 ヤカク 三・一八〇二  
 八坂入彦皇子 ヤカク 三・一五八一

八坂入彦命 ヤカク 二・三三三  
 八坂入媛 ヤカク 三・一五八一  
 八坂入媛命 ヤカク 三・一七四八  
 八坂振天某邊(人名) ヤカク 二・三三三  
 瘦(ヤセカム) ヤカク 三・一五六  
 瘦(弱) ヤカク 三・一五六  
 鏃(ヤセカム) ヤカク 二・一三三三、三・一五六  
 養(ヒタス) ヤカク 二・一〇七一、二〇七、四・三三四八、二・五七九、二八四六、二八六〇  
 所養 ヤカク 四・三三六四  
 育 ヤカク 二・一三三五、四・二九八〇  
 饗育 ヤカク 四・二七九〇  
 亨育 ヤカク 四・三〇四六  
 子(子)民 ヤカク 四・二五〇〇  
 鞠 ヤカク 五・三八一一  
 牧 ヤカク 五・三三二八  
 牧(牧三萬民) ヤカク 五・三三三三

玄孫 ヤカク 四・三三九〇  
 八醜酒 ヤカク 一・五二五  
 八洲 ヤカク 二・一〇六二  
 やしまぐに(歌) ヤカク 四・二五九八  
 八嶋篠(神) ヤカク 一・五四八  
 八嶋手命 ヤカク 一・五五二  
 八嶋野(神) ヤカク 一・五五二  
 屋島城 ヤカク 五・三四二四  
 八嶋連(土師) ヤカク 四・二八四四  
 社 ヤカク 二・二四六、五・三三七七  
 社木 ヤカク 五・三三七七  
 矢代宿禰(羽田) ヤカク 三・二〇〇九、二二〇〇  
 奄三有八洲 ヤカク 二・一〇六二  
 安(地名) ヤカク 三・一八四四  
 瘦 ヤカク 五・三三四七  
 磯碓(ヤセタリ) ヤカク 五・三三九三  
 使(易) ヤカク 五・三三七三



不安 ヤスカラズ 三・二七三六  
 安藝國・可愛之川上 ヤスキノクニ エノノカハカミ 一・五五三  
 平安之世 ヤスキヤシナフ 四・二七九六  
 安養 ヤスクス 四・四三三  
 安 ヤスクス 二・二四〇二  
 安 ヤスクス 四・四三三  
 寧(ヤスムズは誤) ヤスクス 四・二九八〇  
 安 ヤスクトモカナラズアヤフキコトヲハカル 四・二七九六  
 安 必慮危 ヤスクトモカナラズアヤフキコトヲハカル 四・二七九六  
 やすくはたふれ(歌) ヤスクフセレ 四・三二七四  
 安臥 ヤスクフセレ 四・三〇〇七  
 安 ヤスクサモアヤフサモ ナラムコトヤブレムコト 三・一八五三  
 危成 敗 ヤスクサモアヤフサモ ナラムコトヤブレムコト 三・一八五三  
 易 ヤスシ 一・四一・三・二四九・五・三三三  
 安 ヤスシ 三・二七八・一八四四・四・四二二・二七七  
 九・二七九六・三〇〇七  
 平安 ヤスシ 四・二七九六  
 安田 ヤスダ 一・四七五  
 安河 ヤスノカハ 一・三七一・二・八七五  
 安河濱 ヤスノカハノホトリ 五・三五六七  
 安河邊 ヤスノカハ 一・三九五  
 益須郡(近江) ヤスノコホリ 五・三九一八・三九二一  
 安麻侶(蘇我臣) ヤスママロ 五・三五〇二・三五〇三  
 安麻呂(蘇我臣) ヤスママロ 五・三五〇二  
 安麻呂(山邊君) ヤスママロ 五・三五三七  
 安麻呂(大伴連) ヤスママロ 五・三五五三・三七三七  
 やすみしし(歌) ヤスママロ 三・二七五  
 やすみしし(歌) ヤスママロ 四・三三三六  
 やすみしし(歌) ヤスママロ 四・二六〇三  
 やすみしし(歌) ヤスママロ 四・二九六六  
 安 ヤスマス 三・二七〇〇・四・二七七七  
 遊息(スミタマフ) ヤスマス 二・九一八  
 息 ヤスマス 一・二二九・四・二七四・三・三三三・五・三三三  
 休 ヤスマス 一・四九三  
 慰 ヤスマス 二・二七八・三・二七九・四・二三四  
 慰勞(ネギラヘシム) ヤスマス 三・一九七一  
 安(安其業) ヤスマス 四・二五二九  
 寧 ヤスマス 五・三五四四  
 やすむしろかも(歌) ヤスマス 三・二六六  
 慰問 ヤスマス 四・二六四  
 安 ヤスマス 五・三二〇八  
 安樂 ヤスマス 二・九八九・五・三八三  
 安和 ヤスマス 四・四三二・二九八〇  
 安 ヤスマス 五・二七九〇  
 安寧 ヤスマス 二・一四〇〇  
 康哉之歌 ヤスマス 三・二〇九  
 隨心 ヤスマス 四・二七三六  
 安 ヤスマス 二・九八九  
 安樂 ヤスマス 四・二六〇七  
 不能易死耳(エヤスラカニのエ字脱) ヤスマス 四・三九一  
 安寧 ヤスマス 四・二七七  
 磯地(アシキタ) ヤスマス 一・四七五

八十 ヤソ 二・八七五・三・一八八一  
 八十艘船(ヤソフネ) ヤソフネ 三・一八八一  
 八十枚(ヤソチ○ヤソテ) ヤソチ 二・二四六・一・五三  
 八十限(矩磨渥) ヤソチ 二・七四七  
 八十梟帥 ヤソチ 二・二四四・二四九・一六一  
 八十五玉籤 ヤソチ 一・四六一  
 八十連屬 ヤソチ 二・一〇一五・一〇五三  
 八十聯綿 ヤソチ 四・二四〇〇  
 八十枚(ヤソキ○ヤソチ) ヤソチ 二・二四六・二五二  
 八十手 ヤソチ 二・二五七  
 八十河 ヤソチ 一・二六一  
 八十木種 ヤソチ 一・五一  
 八十子 ヤソチ 三・一五九七  
 やそはのきは(歌) ヤソチ 三・二四四  
 八十平瓮 ヤソチ 二・二五三・二五五  
 八十艘船(ヤソカハラ) ヤソチ 三・一八一  
 八十船之調 ヤソチ 三・一八一  
 八十柱津日神 ヤソチ 一・二四三  
 八十魂神 ヤソチ 三・一五二五  
 八十諸神(ヤソヨロ) ヤソチ 二・六七七・九五七  
 八十諸部 ヤソチ 二・一三五三  
 八十萬神 ヤソチ 二・八七七  
 八十萬神達 ヤソチ 一・三九五・四三八・二・八四二・九五七  
 八十萬諸神 ヤソチ 二・一三五七  
 八田(土蜘蛛名) ヤソチ 三・一六三・一六三四  
 八咫鏡 ヤソチ 一・四〇八・四八〇・二・八三三・四・三三七  
 頭八咫鳥 ヤソチ 二・二二六・一七三・一三三  
 遣八咫鳥(召之) ヤソチ 二・一七三  
 八咫鳥亦入賞例 ヤソチ 二・二二三  
 八咫鳥苗裔 ヤソチ 二・二二三  
 八咫鳥命 ヤソチ 二・一八四  
 八谷 ヤソチ 一・五二八  
 八咫鏡(ヤタカガミ)参照 ヤソチ 二・八三三  
 箭田珠勝大兄皇子 ヤソチ 四・二六八五・二七四六  
 矢田皇女 ヤソチ 三・一〇〇〇・二五七  
 八田皇女 ヤソチ 三・二〇一・二二三  
 八廻擊刀 ヤソチ 二・二四八  
 八廻弄槍 ヤソチ 二・二四八  
 矢田部造 ヤソチ 二・二四一・三・三  
 矢田部造(賜連姓) ヤソチ 五・三三九  
 矢田部造遠祖 ヤソチ 二・二四一  
 八人(泉津醜女八人) ヤソチ 一・二三四  
 八千矛神 ヤソチ 一・六〇二  
 八達之衢 ヤソチ 二・八四三  
 八枚 ヤソチ 二・二七三・三六八  
 八匹(馬) ヤソチ 四・三九〇  
 八口(大刀) ヤソチ 四・三九〇  
 八歲 ヤソチ 四・二七三六  
 八握劍 ヤソチ 一・三五七  
 八掬脛 ヤソチ 五・三〇一



八握鬚髯 一・二五六  
 八束髯速佐須良尊 一・二五六  
 八束水臣津野命 一・二五六  
 八束水神 一・二五六  
 八握髮尊 一・二五六  
 八束髮速佐須良尊 一・二五六  
 吾(アレオア) 一・二五六、三・三三三、三五八  
 妾(ヤッコアレオア) 一・二五六、九〇・九二  
 我(ヤッコアレオア) 一・五三三、二・七三三  
 三・一六七、一・九七六、一・九八四、二〇一八  
 二〇八四、二一〇一、二二二一、四・二四二  
 二四三三、二七〇一  
 妾(ヤッコアレオア) 二・七八六、九〇・九二  
 臣(ヤッコアレオア) 九・九五〇、九五五、九九四、九九八、一〇三九  
 一〇四〇、一〇六六、一〇一八、一〇五八、三  
 一四六九、一五八一、一六九六、二二二、二  
 一四九、二一〇〇、四・二六一、二六四、二  
 二六九、二二九、二四〇〇、二七九八  
 予(アアレオヤッコ) 二・二一一  
 臣(ヤッコ) 二・二一九、一四三九、二二一、二四  
 三・四・二六三、三三〇二、三三三〇、二五七  
 九・二六五、二八七四、三〇〇三、三〇五四  
 三〇六八、五・三〇九五、三〇九七、三一九  
 三三三三、三四八一  
 己(オノレ) 二・二四一八  
 僕(ヤッコアレ) 三・一四五五、二〇一八、二〇八四  
 四・二二九、二二三三、二二七三、三〇六六  
 五・二二九  
 奴(ヤッコアレ) 四・二二五六  
 臣等(ヤッコラ) 三・一九七五、四・二二五三、二七  
 六二、二八三九、二八九一、五・三三四  
 耶都擬(ヤツキ) 四・二九九〇  
 虜(ヤツカレ参照) 二・一〇八、一四〇、一七  
 三・一五五八、四・二九二、三三〇五、三三〇  
 七・三二九、三三五六、三三〇〇、二四二一、  
 二四三二、二五七六、二六二〇、二六八二、二六  
 九〇、二七五〇、二七六三、二七九〇、二八四三  
 二八六六、五・三一六九、三五〇三  
 人臣 四・三三〇五  
 妾(アレオヤツカレ) 二・九二九、九五三、九九  
 四・三三三三、四・二六四  
 奴僕 二・一〇二五  
 奴婢(チノヤッコメノヤッコラヤッコメ  
 ヤッコツカヒト) 二・一〇五八、五・三三八  
 六・三一九〇、三四一、三三五七、三八五一  
 二八七六

爾(ヤッコ) 二・一一二九  
 我(ヤッコ) 三・一六一五  
 奴(ヤッコ) 四・三九五、二四三三、二四三三、二八九九  
 五・三二四、三三二八、三三九六  
 四・二四六、五・三三七  
 僕(ヤッコ) 四・二八四九  
 妻子 五・三八七六  
 賤(ヤッコ) 四・二七七三  
 奴手 四・二七一三  
 我之屬類 三・一六一五  
 爲二奴僕一 二・一〇二五  
 沒(ヤッコ) 五・三八七六  
 不(ヤッコ) 四・二二九二  
 臣(ヤッコ) 四・三三〇五  
 臣舍(一本作臣宅) 四・三三〇五  
 臣之舍 四・三三〇五  
 奴・三成(人名) 五・三二二六  
 臣(ヤッコ) 三・二〇八四、二一〇六、四・二七五〇、二九五  
 二・五・三六二、三三七三  
 臣(ヤッコ) 四・二七九一  
 臣子 四・三〇五六  
 賤臣(イヤシキヤッコ) 四・三〇五六  
 臣等(ヤツカレ) 四・二八二、二八三九、三〇五六  
 妾等 四・二九〇、二五三二、二五七一、二六八四  
 奴等 四・二八四九  
 僕等 四・二八五〇  
 臣子之道 四・二七九一  
 臣(ヤッコ) 四・二四二一、二五三二、二九五六、五・三三三  
 五・三二二八  
 僕(ヤッコ) 四・二四六九  
 臣(ヤッコ) 四・二五三三  
 知(ヤッコ) 四・二四三三  
 臣(ヤッコ) 四・二四三三  
 臣則地之 四・二四三三  
 八代縣・豐村 三・一六四六  
 八箇少女 一・五二二  
 八俱鳴 五・三四九六  
 八綱田(上毛野君遠祖) 三・一四六六  
 屋恒王 五・三六五五  
 八(大八島の龍神) 五・三四九五  
 八(スブルツカサ) 四・二九〇一  
 八(稻田姫の父神) 一・五四八、五五三、五六四  
 八(目鳴鏑) 二・九四三  
 八(目鳴鏑) 二・九四五  
 八(集連(賜宿禰姓)) 五・三七五五  
 八(俗之儼) 五・三一三三  
 八(釣名人名) 五・三八四八  
 八(釣白彦皇子) 四・二四六、二四〇二  
 八(釣宮) 四・二四八七  
 八(權樓) 二・一〇三七  
 八(土師連) 五・三三〇一  
 八(年) 二・八〇七  
 八(年之間) 二・八〇九  
 八(宿(ヤドル)) 四・二七三三、五・三九二一







山險 五・三三九四  
 山崎(造宮) 五・三三〇五  
 山前(近江) 五・三五七一・三五九一  
 山幸彦 二・一〇三〇  
 山羊(カマシシ)の誤 五・三七七三  
 山科野 五・三四四四  
 山背 一・三四八・二・一三八四・三八七・三・一五  
 三八・一九三三・二四一・二五一・五・三六三〇  
 山背河 三・二二四三  
 やましろがはを(歌) 三・二二四三  
 やましろに(歌) 三・二二四一  
 やましろの(歌) 三・二二四九  
 山背直 一・三四八・五・三五三〇・三六五九・三七二九  
 山背直(賜連姓) 五・三七七九  
 山背直・小林 五・三五三〇  
 山代直祖 一・三四六

山背直・百足 五・三六五九  
 山背大兄王 四・三〇四六・三〇五三・三〇五四  
 山背臣(賜朝臣姓) 六・三〇六八・三二六・三二八・三三〇  
 山背臣・日並立 四・二九三九  
 山背國 四・二八〇三・二九七二  
 山背國・内村 四・二四〇七  
 山背國・俯見村 四・二四〇七  
 山背・栗隈縣 三・二二二一  
 山背・狗・鳥賊麻呂 五・三七〇二  
 山背・高槓館(館) 四・三八〇九  
 山背・根子 三・一九一一  
 山背皇子 四・二六九三  
 山背姫王 五・三七八七  
 山背連(賜忌寸姓) 五・三七六七  
 山背連・比良夫 五・三〇九七

山背畫師 四・二九五八  
 山背部・小田 五・三五三〇・三五三九  
 やましろめの(歌) 三・二一五三  
 やましろめの(歌) 三・二一五五  
 八岐 一・五二八  
 山高谷深 三・一七二四  
 やまたかみ(歌) 四・二二七四  
 山壑 四・二五七二  
 山田赤見皇女 四・二六四六  
 山田直・瑞子 四・二七八四  
 山田家 五・三三七二  
 山田大娘皇女 四・二五九九  
 山田皇后 四・二六八四  
 山田大臣 五・三三七五  
 山田郡(讚岐) 五・三四二四  
 山田郡(尾張) 五・三六五六  
 山田寺 五・三三七三・三三七五・三三〇二

山田皇女(春日...) 四・二五一九  
 山田史・御形 五・三九〇五  
 山田邑 三・一九〇〇  
 八岐大蛇 一・五三二・五三三  
 やまたをつくり(歌) 四・二二七四  
 山道公(賜真人姓) 五・三七四八  
 山雷 二・一一五三  
 山祇 一・一〇二一・二六三  
 東山道(ヒムカシノ) 五・三五三九・三七六八  
 夜麻登(日本) 一・一一一  
 日本(耶麻騰) 一・一〇七  
 日本 二・一三三五・三・一八七四・一九七二・四・二  
 三四四・三三五六・二五九二・二六〇七・二六〇  
 九・二七八七  
 倭 二・一三四一・一三五〇・三・一七五四・二四  
 一・一〇〇三・三・二二二・二四六九・五・三五五七  
 大倭 三・一五六・二〇六四・四・二三三四・二六四五

大國 五・三三三〇・三七六七・三八二一  
 東朝(ミカド) 五・三三七七  
 東 四・二三五九・二四二二・二四三五・二八〇七  
 二八〇九・二九一六・五・三三五〇  
 東・西諸史 四・二八一七  
 大倭・河内・攝津 五・三三三〇  
 倭子連 四・三三七六  
 やまとしうるはし(歌) 三・一六三四  
 日本武皇子 一・五三〇  
 日本武尊 三・一五七一・一五七六・一六六九  
 一六七四・一七三〇  
 日本武尊・西征 三・一六六九  
 日本武尊・東征 三・一六八七  
 日本足彥國押人天皇 二・二三八・二九一・二九三  
 倭迹速神淺茅原目妙姬 二・一三五〇

倭迹々姫命 二・一三〇九・一三九四  
 倭迹々日百襲姫命 二・一三四八  
 倭迹々稚屋姫命 二・一三〇〇  
 やまとなす(歌) 二・一三六三  
 成山 二・八三  
 倭根子天皇 五・三三二七  
 日本根子天皇 五・三三七三  
 やまとの(歌) 四・二三三五  
 やまとの(歌) 五・三一一三  
 山門縣 三・一八四四・一八四六  
 日本縣邑 四・二五九二  
 倭直 二・一〇八三・三・一四五五・一四七四・一五一  
 六・二〇八六・二一八五・五・三七〇二・三七二九  
 倭直(賜連姓) 五・三七二九  
 倭直・吾子籠 三・二一八五・二六六四  
 倭直・龍麻呂 五・三三七〇  
 倭直祖 三・四五五・一四七四・二〇八六



大倭直祖	三・一五六	倭直祖	三・二〇八六	倭直部始祖	二・一〇八三	倭漢直	三・三〇五二・四・三三九九・二九一六	倭漢直(賜連姓)	五・三二一五	倭漢直・荒田	五・三三六二	東漢直・駒	四・二九一六	東漢直・掬	四・三三九	倭漢直祖・阿知使主	三・二〇五二	倭漢直・比羅夫	五・三二七九	倭漢直・福因	四・二九八六	東漢氏直・糠兒	四・二八〇七	倭漢坂上直	四・三〇一九	東漢坂上直・子麻呂	四・二八〇九	東漢掬直	四・二四二二・二四三三	倭漢書直・縣	五・三〇九七		
倭漢文直・麻呂	五・三三九一	倭漢連(賜忌寸姓)	五・三七六八	東漢長首・阿利麻	五・三三三〇	日本將	四・二七九九	日本軍將等	五・三四〇〇	大倭築豪(人名)	五・三八一一	倭家	五・三五四四	倭采女・日媛	四・三三三三	倭馬飼首	五・三二二六	倭馬飼造(賜連姓)	五・三七三九	倭馬飼部造・連	五・三六八二	大倭大神(オホヤマトノ大神)	三・一五二六	倭大國魂神(總論)	一・一一	倭大國魂神	二・一三三八・一三五〇	倭笠縫邑	二・一三四一	倭春日	四・二六六四	倭鍛部・天津眞浦	二・二六六三
倭君之祖	四・二五六一	倭琴彈原	三・一七三〇	倭蔣代屯倉	三・二二一五	日本國	三・一四三九・一四四四・一四五五・一八九七	倭國	二・一三八一・三・一七三〇・四・二九七二	耶磨登の國號(總論)	一・一一	倭國香媛	二・一三〇〇	倭國高安城	五・三四二四	やまとのくにに(歌)	三・一七二五	日本國有ニ聖人	四・三〇二八	倭國・吾礪廣津邑	四・三三三七・三三五九	倭國・今來郡	四・二七三五	日本國之地理	三・三三二〇	倭國域内	二・一三四八	倭國・狹城盾列	二・一三四八	倭國・狹城盾列	二・一三四八		

倭國・磯城邑	三・一七七八	日本國天皇	二・一一四九	倭國・豐秋狹太姬	二・二一八八	大倭國・勾金橋	四・二六四五	日本王入	四・二七四三	日本國之三諸山	一・六三〇	日本國之官家	四・二四二二	倭國造	二・一〇八四・一三二二	大倭國造	四・二二三四	倭國造・手彦	四・二七九七	倭國之物實	二・一三六一	やまとのくにに(歌)	四・二三三五	指倭國一而飛之	三・一七三〇	日本救高麗一軍將	五・三三九〇	日本天皇	四・二七三九・二七七五・五・三三七七	東天皇	四・二九八四
倭地	二・二七六	倭遠皇祖代	五・三五九一	倭日向武日向彦八網田	三・一四六九	日本船師	五・三三九八・三四〇〇	日本府	四・二七〇二	日本府 行軍元帥	四・二二六五	日本府 吉備臣	四・二六九九	日本府 卿	四・二七二五	日本府 執事	四・三七一三	日本府 爲天	四・二七八	倭屯田(總論)	一・一一	倭屯田	三・二〇八六・二〇八八	日本路	四・二七六一	東山(ヤマノミチ)の誤	五・三三七二	倭花鳥田丘上	二・二七六	倭陵(綏靖)	二・二七六
日本使人	四・二七四三	倭京	五・三〇三五・三四二二・三五一一・三五四一	倭京(釋)	五・三五二二	倭都	五・三三〇八・三三一四	倭京將軍	五・三五六七	大倭連(賜忌寸姓)	五・三七六七	大倭木滿致	三・二〇六四	倭畫師・音檮	五・三六六四	やまとは(歌)	三・一六三四	倭者彼彼茅原	四・二四六九・二四七一	倭彦王	四・二五七二	倭彦命	二・一三三〇・三・一五二九	倭媛	四・二五八六	倭姬王	五・三四二九	倭姬命	三・一四八二・一四九七・一五〇五	倭命	一五二二・一六八七



倭俗宿禰妹・置目 四・二四九〇  
 日本書紀(總論) 一・一一  
 日本書紀 一・三七。二・六六七。一〇六五。二五九  
 一三三九。三・一四三三。一五六九。一七七七  
 一八三五。一九九七。二〇八三。二九九。四・  
 二四一。二二〇〇。二四三三。二五三三。二  
 五六九。二六四三。二六八二。二八一五。二八六  
 六。二九二。三〇五二。五・三〇九五。三六  
 七。三三三。三三八五。三四九。三六〇  
 三八〇九  
 日本世記(一本作レ紀) 五・三三六〇。三三七七  
 やまとへに(歌) 四・二四七七  
 やまとへむきて(歌) 四・二七九  
 山鶏 五・三四七九。三九三四  
 日本童男 三・一五七一。一六七四  
 やまとをすぎ(歌) 三・二一四四  
 入レ山 二・一〇三〇

山神 一・一九八。二〇一。二五九。三・一七二四  
 やまのへの(歌) 四・三九〇  
 山邊(皇女) 五・三八一四  
 山邊君・安麻呂 五・三五三七  
 山邊小嶋子 四・二九九〇  
 山邊郡額田邑 四・二五二八  
 山邊皇女 五・三四三二  
 山邊道上陵(崇神天皇) 二・二四二八。一四三四  
 山邊道上陵(成務天皇) 三・一七六六  
 山陰日背面 三・一七七〇  
 山君・稚守山 三・二六八  
 山幸 二・九七三。一〇三〇  
 山椒 五・三三三三  
 虞人(カリビト) 四・二三三三。二三三五  
 山官 四・二四九六  
 山東 諸國 三・一七一二

山陽日影面 三・一七七〇  
 山宮 四・三〇〇〇  
 山御井傍(近江) 五・三四六〇  
 山村(添上郡) 四・二六八六  
 山村(相樂郡) 四・二八〇三  
 山井水門 二・一〇一  
 疾 二・一〇三。一〇一八。四・二三四三。三四二  
 疾病(ガモリ) 五・三六八一。三七三四  
 四・二八六〇  
 患病(ヤマヒス) 四・二四三三  
 所患(ヤマヒス) 五・三四一七  
 疾 彌 甚 四・二四二一  
 發病 四・三〇六九  
 遺疾彌留(彌留) 四・二四二一  
 寢疾不豫 五・三四七九  
 逢病 三・八九二二  
 發病 三・二一三二

患病 四・二四三三。二八五七  
 值病 四・二三七二  
 臥病 四・二九三六。三〇一三。三〇四六  
 遇病 五・三七六。三三二  
 遺疾 四・二四二一  
 疾篤 四・二七三八  
 得疾 五・三三四五  
 所患 五・三三四五  
 稱疾 四・二五九四  
 病者 五・三六八一  
 篤癰(アツシレビト) 五・三八二二  
 疾病 五・三九二二  
 痼疾(オモキヤマヒスルビト) 五・三九五八  
 病(ヤマヒス) 四・二九五八  
 稱病(ヤマヒマナス) 五・三三三三。三五四四  
 除病 四・二二四三  
 治病 四・二四三三。五・三五二一三

療病方・禁厭法之事 一・六〇八。六〇〇  
 療病方 一・六一五  
 山部 四・二四三七  
 山部阿弭古之祖 三・一六四四  
 山部王 五・三五三四。三五三七。三五五九  
 山部連 四・二四四〇。二五二五。五・三七五五  
 山部連氏 四・二四九六  
 山部連先祖 四・二四四〇。二四六〇  
 山部連・小楯 四・二五二五  
 山村(倭國添上郡) 四・二六八六  
 山村已知部 四・二六八六  
 山村高麗人 四・二八〇三  
 山下 三・一七七七  
 山守(穗積朝臣) 五・三八三七  
 山守地 三・二〇八六。二〇八八  
 山守部 三・二〇一三。四・二四九六

没山 二・一〇二五  
 生山 一・一四五  
 山岳 一・三一九  
 閻 一・三五四。四三八。四・二三九  
 難休 三・三二八  
 矢三十具(具ソナハ) 四・二七四二  
 止 三・一五七七。四・二八七六  
 閻夜 四・二三三九  
 病死 四・二七五〇  
 休 二・一〇三九。五・三二四七。三二一八  
 息(ヤスム) 二・一〇五四。一三五七。五・三五三三  
 緩 三・一四六三  
 廢 三・一八七四。二二三一。四・二七七三。五・三  
 一七三。三二一八。三二五〇  
 除 三・二一〇。二二八四。四・二六八九。五・三  
 六三〇。三六四五。三六七六。三八二七  
 斷 四・二八五四。二八六〇。五・三三四一。三四五七



除斷	五・三四六	所 <sub>レ</sub> 疾者非 <sub>二</sub> 餘事 <sub>一</sub>	四・二六九〇	孤 <sub>ヲ</sub> 孀 <sub>メ</sub>	三・二九五
闕	四・二八二	問 <sub>レ</sub> 疾	三・二九五	良 <sub>ヲ</sub>	二・九八五
罷	四・三三八、五・三二二、三一九六、三二一八、三五六、三六二、三三九六	止屋淵	二・一四一五	稍 <sub>レ</sub> (ヤヤク)	三・一七三二、四・二九八〇、三三八四
止	三・一五七七、四・三九五、二八七六、三〇二七、三〇四五、五・三三〇、三七一一	廢 <sub>・</sub> 置	五・三三三	微 <sub>レ</sub> (ヤヤニ)	四・二八六二
已 <sub>レ</sub> 死	四・二六五、二七九六、五・三三二九、三五三	廢 <sub>・</sub> 忘	五・三三〇	漸 <sub>レ</sub> (ヤヤニ)	二・一一〇五、四・二六三九、五・三三二
患 <sub>レ</sub> 疾	二・一一〇一	八女津媛	三・一六六〇	浸	四・二六三八
病	四・二六四、二八六〇	八女縣	三・一六六〇	緩 <sub>レ</sub> 之	五・三五四四
患 <sub>レ</sub> 病(ヤマヒス)	四・二六九〇	八女國	三・一六六〇	稍 <sub>レ</sub> 起 <sub>レ</sub> (起)	三・一七三二
無 <sub>レ</sub> 廢 <sub>レ</sub> 絶	四・二七五〇	八方 <sub>レ</sub> (ヤオモ)	四・二六〇七、二七七七	漸 <sub>レ</sub> 進	二・一一〇五
無 <sub>レ</sub> 已 <sub>レ</sub>	五・三六八一	八維	四・二三七六	薄 <sub>レ</sub> 冷 <sub>レ</sub> (一訓)	四・二九八四
勿 <sub>レ</sub> 息	二・一二六一	八表	四・二六五四	良	ヤヒサシクシテ
不 <sub>レ</sub> 獲 <sub>レ</sub> 已 <sub>レ</sub>	三・一七九九、五・三四七	寡 <sub>レ</sub> 婦	三・二二一三、五・三八五八、三九三七	久	二・九八五、一〇〇九、四・二四四七、二八七六
無 <sub>レ</sub> 息時	五・三三二九、三五三	寡 <sub>レ</sub> 婦	三・二二一三、五・三八五八、三九三七	八夜	二・一〇五八
	一・四七七	寡 <sub>レ</sub> 婦	三・二二一三、五・三八五八、三九三七	三月上巳	二・七〇七

見 <sub>レ</sub> 逐	四・二七二四	箭藏 <sub>ニ</sub> 頭 <sub>ヲ</sub> 髻 <sub>一</sub>	三・一六八一	行路	二・一一五二
逐	一・四七三	儲 <sub>レ</sub> 箭	五・三五一	同 <sub>レ</sub> 床	二・九〇五
逐 <sub>レ</sub> 調	一・四九三	湯 <sub>ニ</sub> 齊	二・一九九、九九	雪	一・三三〇、三・二四九、五・三三九
逐 <sub>レ</sub> 遂	一・一五五	湯 <sub>ニ</sub> 湯	四・二二五五	雪 <sub>レ</sub> 雨 <sub>レ</sub> (ユキフル)	一・三三六、三五七、二・九四三、二一九四、五・三七〇
遂 <sub>レ</sub> (遂)	四・二四六三	湯 <sub>ニ</sub> 浴	五・三五三三、三五三三	流 <sub>レ</sub> 行	三・二四九
遣 <sub>レ</sub> 亮	四・二四六三	沐浴 <sub>レ</sub> (ユカハアミ)を見 <sub>レ</sub> よ	四・三〇七五、三〇八五	岫 <sub>ニ</sub> 穴 <sub>ニ</sub> (ユキカフイハヤ)	二・一四〇二
使 <sub>レ</sub> 弊	四・二三五六	熊 <sub>レ</sub> 津 <sub>レ</sub> 都 <sub>レ</sub> 督 <sub>レ</sub> 府	五・三四二三	往 <sub>レ</sub> 來 <sub>レ</sub> (カヨフ)	三・一九一一
弊 <sub>レ</sub> 垢	四・二九〇〇	熊 <sub>レ</sub> 山 <sub>レ</sub> 縣 <sub>レ</sub> 令	五・三四二三	去 <sub>レ</sub> 來	三・一九一
弊 <sub>レ</sub> 衣服	二・一一五〇	雄 <sub>レ</sub> 略 <sub>レ</sub> 天 <sub>レ</sub> 皇 <sub>レ</sub> (イウリヤク)を見 <sub>レ</sub> よ	二・一〇四〇	悠 <sub>レ</sub> 紀 <sub>レ</sub> ・主 <sub>レ</sub> 基	四・二六七四
弊 <sub>レ</sub> 盡	三・二一一〇	湯 <sub>ニ</sub> 母	二・九〇五、一〇四九	齋 <sub>レ</sub> 忌 <sub>レ</sub> ・次 <sub>レ</sub> の事	五・三六五七
漏 <sub>レ</sub> 壞	三・二一一〇	床 <sub>ニ</sub> (トコ)	二・一五三	行	五・三六五七
やれむしむがき(歌)	四・二五三八	使 <sub>レ</sub> 行	二・一五三	赴 <sub>レ</sub> 集	一・五三八、二・一〇〇七
八丘	一・五二八	沐浴 <sub>レ</sub> (ユアミ)	二・一三四八、四・二五五	壹 <sub>レ</sub> 伎 <sub>レ</sub> 縣 <sub>レ</sub> 主	四・二六二五
		淨 <sub>レ</sub> 沐	二・一四〇八	靱 <sub>レ</sub> 部 <sub>レ</sub> (ユゲヒヤ)	四・二五〇五







振起弓繡 ユハズリイダテ 一・三三〇  
 續 ユハヒツナ 五・三四三四  
 縛 ユハヒツナ 三・一八七九  
 微纏 ユハヒツナ 四・三三九五  
 縛 ユハフ 三・二七〇  
 玄 ユハリ 五・三九二三  
 縛服罪 ユハレテ、シタガフ 三・一七〇一  
 封 ユヒカダム 三・一八七四、一八七九、五・三八四四  
 繫著 ユヒツク 二・一〇〇七  
 作 ユハ 一・五二五  
 結束 ユヒツカメ 一・四九三  
 結 ユフ 二・八七四  
 木綿 ユフ 二・八九二、一三三二  
 木綿手組 ユフダスキ 四・三二五五  
 作木綿者 ユフダスキ 二・八九二  
 夕 ユフ 二・一七三、一三三八  
 西時 ユフ 四・二七六九

夕 ユフベマテニオツル 二・一三三八  
 小便 ユバリ 一・一八二  
 放屣 ユバリマル〇ユマル 一・二二八  
 湯麻呂 ユマロ 五・三三二八  
 弓 ユミ 五・三七三七  
 弓 ユミ 一・三五二、九七七、二・一〇〇七、一〇三〇  
 弓 ユミ 一・二九、一七三、四・二七五六、二八八四  
 弓 ユミ 五・三二五七  
 弩 ユミ 四・二七九、五・三五六八  
 弓五十張 ユミイソクハ 四・二七五六  
 射 ユミル 五・三四五七  
 射 ユミルコト 三・二二二、四・二四〇九  
 射者 ユミルヒト 三・一六六九  
 弓弦 ユミヅリ 四・二四二五  
 彈弓弦 ユミヅルウチス 四・二四二五

射殿 ユミバド 四・二四五  
 弓張 ユミハリ 五・三八〇六  
 彎弓 ユミヒキマカナフ 二・一一九、一七三  
 弓箭 ユミヤ 一・三五二、九七七、四・三八八四  
 弓矢 ユミヤ 二・一〇〇七、一〇三〇、五・三五七  
 投弓 ユミチラル 五・三二六二  
 努力 ユメ 二・一一五、四・二四二二  
 夢 ユメ 二・一一一、一一四、二一六、二四六  
 相夢 ユメアハセ 一四八、一四九、一三五〇、一四〇八、三、一四三、二五九、四・二六九三  
 夢中教 ユメノウチノナシハ 二・一四〇八  
 夢祥 ユメノサガ 二・一一四  
 夢皇女 ユメノヒメミコイメノ 三・一四三三  
 夢訓 ユメノナシヘイト 四・二六九三  
 夢辭 ユメノシヘイト 二・一一四九  
 夢 ユメミツク 二・一一一、一五〇、三・二二五九

慎矣慎矣 ユメミル 二・一一六、二四六、一四〇八  
 努力 ユメ 五・三三三  
 努力 ユメ 五・三五七  
 得夢 ユメヲエツ 二・一四〇八  
 以夢占之 ユメヲモテウラフ 二・一四〇八  
 湯山主 ユヤマヌシ 一・五五二  
 三名狹漏彦八島野 ミナサモルヒコヤシマノ 三・二〇六八  
 ゆらのとの ユラノトノ 三・二〇六八  
 百合野塞 ユリノハチ 四・二七六三  
 百合華 ユリノハナ 五・三三九、三二四〇  
 弱 ユルシ 一・二四三  
 原散 ユルシアガツ 五・三八九五  
 許婚 ユルシアハス 四・二六二二  
 陽 ユルシタマフマホス 四・二八四六  
 不 ユルシツカハサズ 四・二五六〇  
 放 ユルシツカハス 四・二八三三  
 放還 ユルシツカヒ 四・二三九五  
 赦使 ユルシヤム 五・三九二二  
 原除 ユルシヤム 五・三九二二

原遣 ユルシヤル 五・三九一五  
 許 ユルス 一・三二三、二・八六九、一四一五、四・二六九  
 容 ユルス 〇・二七九、五・三〇九七、三二六四、三三五一  
 赦 ユルス 一・四四五  
 許諾 ユルス 二・九九五、四・二八三九、三〇三七、五・三七二四、三八三八、三九一五、三九二五  
 聽 ユルス 二・一〇三〇、四・二七七三  
 聽許 ユルス 三・一四五六、一四六九、一五八一、一六二五、一六七四、一八五七、一九五七、二〇五五、二一三三、四・二三四三、二二四四、二四八四、二八四一、二八七四、三〇三五、三〇四二、五・三八六、三六一八、三六四五  
 釋 ユルス 四・二八四九  
 免 ユルス 三・二二二  
 原 ユルス 三・二一一、五・三七〇六、三七二四、三八五  
 原 ユルス 一・三八九一、三九二五  
 原 ユルス 四・二八三三、二八三九、五・三六六五

放捨 ユルズ 四・二六八三  
 放捨 ユルズ 五・三二二九、三三九六  
 放著 ユルズ 五・三三六一  
 原放 ユルズ 五・三九二九  
 免原 ユルズ 五・三七九五  
 可 ユルズ 四・二二五三、二二七一、二五七九、二六五一、二六六〇、五・三八五一  
 縱 ユルズ 四・二五九三、三〇二八  
 復 ユルズ 五・三四一七、三七〇六、三八九六  
 服 ユルズ 五・三九〇二  
 復免 ユルズ 五・三八九六  
 復免 ユルズ 五・三八五八  
 縛復 ユルズ 四・二五三八  
 ゆるせとやみこ ユルセトヤミコ 四・二七〇五  
 弛 ユルカ 四・二七〇五  
 寬 ユルカニハラゲ 四・二六八四  
 湯坐 ユルカニニコム 二・一〇四一  
 湯人 ユルカニニコム 四・二三三九



所以(コノユエ)	一・五〇七九・三五七・三六六 五二二・五七八・二・一〇一六・一〇一八・一〇九六 三・一四六九・一七九九・二一〇〇・四・二七〇五 二・一〇一〇・一〇三三・四・二六二四 三・一四八五・一九二一・五・三二三七 四・二二七六	葉(後葉)	三・一五三三・一八七九・二〇六五・四・三〇六 七・三〇八四	四日	四・二七六六
由	二・一〇一〇・一〇三三・四・二六二四 三・一四八五・一九二一・五・三二三七 四・二二七六	運	二・一〇七一	不可乎	二・一三〇七・一三三五・五・三六八 四・二二三九
以	二・一〇一〇・一〇三三・四・二六二四	夜	一・二九八・二・七〇七・七八六・九二二・九二 九・九五〇・九五三・九六四・五・三五三三	不可乎	二・一〇一四・三・一五三三・四・ 二四九九・二七七五・五・三三四〇
故(コノユエニ)	一・二五六・二七七・六二七・二・ 八〇九・一〇〇七・二・一〇一六・四・二五二五・二七 三・一・五・三二二三・三二八・三二八八・三九一五	天曉	三・二一三一	不吉	二・一三五七
湯入廬城部連・武彦	四・二三三九	鷹歌岐彌(人名)	四・二七三四	非良	三・一五二九
湯坐連(額田部...)	五・三二七五	用歌多(物部連奈牽...)	四・二七三三	不淑	五・三四五一
探湯(クカタチ)を見よ		用明天皇紀	四・二七三三	不善	一・五〇二
		用明天皇元年丙午	四・二八六六	可(ヨケム)	四・三四〇〇
		用明天皇二年丁未	四・二八六九	上味	三・二〇五一
		用明天皇崩御	四・二八七九	嘉禾(アヤシキイネ)參照	五・三六七九・三九〇四
		餘姚縣	五・三三五〇	良將	二・一七二
		四日五日間(間・アヒダ)	五・三二二八	細馬	五・三三二二・三三四六・三六八〇・三七八七
				吉兆	二・一四九
				能才	三・二〇八四
				大哉	二・一一一六

懿哉	四・二四四七・二五七五・二八七	好	四・二七七二	能	一・五九六・六二五・四・二六七四・二七七五
善乎	一・一三七・二・一七三	善教	四・二七九六	善	二・一一二九
善哉	四・二五〇〇	徽猷	四・二八〇六	克	四・二四八四・二七二五・五・三八六
善矣	五・三三七七	良典	三・一六三〇	尅	四・二九五三
美地	二・一〇七七	良謀	四・二七一四	尅	二・一一一四
善意	一・三三〇・三五七	良圖	二・一〇五三	能射人	四・二七七五
好意	一・五〇〇	善術(ヨキミナ・ヨキツザ)	二・一〇五三	尅念	四・二九五三
善	四・三〇六八	吉日	四・三三四二	横河	五・三二五
可也	三・一六三〇	好書	五・三三七七	尅	五・二二六九
休祥	五・三三八三・三三八七	貴客(タフトキマラビト)	二・一〇〇九	よくすに(歌)	三・二〇四七
良獸	三・一九〇六	嘉瑞	五・三二八七	よくすをつくり(歌)	三・二〇四七
余宜受(人名)	五・三三三二	上陵	五・三三九三	克責	四・二七〇五
良田	一・四七五・四・二六四九・二六五三	華胄	二・二二一〇	善成	一・六一七
明佐	四・二六二九	祥夢	二・二二一六	不平	四・二六四
良地	四・二三七六	狂道	三・一六八七	不可	二・二四二二・二九三三
美聲(ヨロコビノユエ)	四・二六六〇	過	四・二四三五・二六二六	非之	四・三〇三三
嘉聲	四・二六八四	妍咲(ヨキエミ)	四・三三三三		



否 ヨクモアラズ 五・三五四四  
 非 ヨクモアラズ 四・三〇六七  
 夜・晴 欲 雨 ヨクモリテアマラムトス 五・三五三三  
 善射者 ヨクユミルヒト 三・一六六九  
 宜 ヨクム 一・五六七。六七七  
 將佳 ヨクム 二・七二五  
 當可 ヨクム 二・一〇四〇  
 可 (ヨカラム) 四・二四〇〇  
 好乎 ヨクム 四・二四〇〇  
 陌 (ヨコシノミチ) 三・一七七〇  
 横 ヨコサマニ 三・一七〇一。一九〇七。五・三三三三  
 所讒 ヨコサマル 五・三三八〇  
 横 ヨコシ 三・一七七〇  
 陷 (ヨコサノミチ) 三・一七七〇  
 讒 (ヨコサノミチ) 三・一七七〇  
 横 ヨコシマコト 四・三九二。三三〇〇  
 横 ヨコシマコト 三・二二一六  
 横 ヨコシマニ 三・一六二四  
 横 ヨコシマニ 三・一八五六  
 讒言 (ヨコスマナス) 三・二〇一八  
 讒 (ヨコシ) 三・二〇一八。五・三三五一  
 讒言 (ヨコシ、マナス) 三・二〇一八  
 横 ヨコサマ 四・二三八七  
 賀正 ヨコト 五・三四六六  
 壽詞 (ホギゴト) 五・三八五五。三八八六  
 奉賀 ヨコト 五・三八八七  
 奉賀 ヨコト 五・三八八七  
 奉賀 ヨコト 四・二七一四  
 訛 ヨコナマル 二・一〇九二。一〇九七。一〇〇。四・二七一  
 横逸 ヨコノコエイサ 四・二六五三  
 横淳 (武藏) 四・二六五八  
 横野堤 ヨコサノツツミ 三・二二二四  
 横山 (人名) 四・二八七六  
 利害 ヨサアシサ 二・一七五  
 善惡 (ヨシアシ) 四・二九五五  
 善最功能 ヨサイサチサイダハリシワザ 五・三八六〇  
 命 ヨサシ 四・二四八四。二四八七  
 封 (トコロ) 四・二六五三  
 任 ヨサシ 四・二七九〇。三〇五三。三〇五四。五・三三二一  
 封建 ヨサシ 四・二八二二  
 任 ヨサシ 四・二九五三  
 任所 ヨサシ 四・二三五五  
 任 ヨサシ 二・七〇七七。四・二九五三。五・三七七五  
 拜 ヨサシ 四・二四〇〇。二六二〇。二六二四。二七四〇。三〇四一  
 封 ヨサシ 四・三〇八四。五・三九二〇  
 所任 ヨサセル 五・三六四五  
 封民 ヨサセルタミ 四・二九五六  
 所封民 ヨサセルタミ 五・三三一五  
 任官 (タマフツカサ) 五・三九一一

吉葛 (一云與曾豆羅) 一・一八〇  
 余謝郡 (丹波) 四・二四五四。二五二五  
 餘社郡 ツツカハ 四・二四一六  
 依網吾彦 男垂見 三・一八五七。一八六〇  
 依網池 ヨシメノイケ 二・二四二二。二九七三  
 よさみのいけに (歌) 三・二〇二八  
 依網屯倉 ヨシメノミヤケ 五・三三〇一  
 依網屯倉阿弭古 ヨシメノミヤケノアヒコ 三・二七二二  
 依網連 抱(抱フツクル) 四・二九七九  
 依網連 稚子 五・三三二六  
 佳 ヨシ 一・五八三  
 吉 ヨシ 二・一三五七  
 襲吉 ヨシ 四・二八二九  
 美 ヨシ 二・一〇一八。五・三三六八  
 美麗 ヨシ 三・一五三八  
 麗美 ヨシ 三・一五八一  
 由 ヨシ 二・一三四六。四・二六四七。二八一二  
 所由 ヨシ 四・三〇六八。五・三六七六  
 緣 (コトノモト) 四・三〇三九。三五四三  
 可 ヨシ 四・二四八七。二五七五。二六二五。二六三一。二六五一  
 不可 ヨシ 四・二七一六  
 吉棄物 ヨシキラヒモノ 一・四六九。四七二。四八八  
 餘自進 (人名) 五・三三六五  
 餘自信 (人名) 五・三四〇〇。三四五六  
 吉野 ヨシノ 二・二四〇〇。五・三六九。三三四八。三四八一  
 吉野首 (賜連姓) 三・四八三。三五四四。三五四九。三九一五。三九二九  
 吉野首等始祖 ヨシノノオヒト 五・三七三三  
 吉野大兄王 ヨシノノオヒト 二・一一四〇  
 吉野河上 ヨシノノカハノホトリ 五・三三九一  
 吉野國撰部始祖 ヨシノノクニノシラベ 三・三〇五一  
 吉野寺 ヨシノノテラ 二・一一四〇  
 吉野之地 ヨシノノチ 四・二七五四  
 吉野皇子 ヨシノノミコ 二・一一四一  
 吉野山 ヨシノノヤマ 一・五三二二。二・九七七。一〇五三  
 無由 ヨシナシ 四・二九四二  
 緣也 ヨシナリ 三・一九八五。二〇一七。四・二三四四  
 和好 ヨシニ 三・一九八六  
 結和好 ヨシニヒササム 三・一九八五  
 脩和好 ヨシニヒササム 三・一九八六  
 能麻呂 (忍海造) 五・三六六八  
 能麻呂 (荒田尾直...) 五・三七〇二  
 結好 ヨシニヒササム 四・二六一二  
 餘昌 (百濟王子) 四・二七六三。二七六四。二七七三。二七七五。二七八一  
 よしよりこね (歌) 二・八一九



寄(ツク)	一・三六七。三九〇。二・一〇四四	裝束	四・三〇〇三。三七〇八。三七三六	儀(ヨソヒ)を見よ	五・三三八四
歸	一・四三一。三・一五〇五	裝飾	四・二四〇〇	仗(隊)	五・三三八四
委	四・二五七四	威儀(ヨソホヒ)	五・三六八一。三七三八	仗	五・三三八四
資	四・二七〇八	衣服	四・二九八三	威儀(ヨソヒ)	五・三六八一。三七三八
爲因	四・二七五〇	衣冠	五・三三六〇	四遍	五・三九〇三
夜	四・二五九八	具(一具)	五・三七八二。三七九〇。三八三六	四人	三・一六五五。四・二三七〇
寄	四・二七九〇	裝束	四・二二〇七	漢	一・四七三
余禪廣(人名)	五・三八七四	裝束(ヨソフ)	四・二八二一	四大夫	三・一八二〇
世襲足姬	二・二二八八	備	一・五〇〇	攀牽(トリカカル)	三・二〇七三
四十匹	四・二五九三	嚴	三・一九七一	四隻(白鳥...)	一・二六二
吉葛(ヨサヅラ)	一・一八〇	莊飾(カザラス)	四・二八八九。五・三一〇五	四分一	三・一七七九
肆拾町(ヨソマチ)	四・二六五三	裝飾	四・二八〇九	四支	五・三八八八
四十枚(鐵鋌四十枚)	三・一九七二	整飾	四・三〇七七	四時	四・二六九〇
儀(ヨソホヒ)	二・七七八。四・二四九〇。二五七九	四十隻	四・二七六七	四	四・二九五二
裝	五・三三八四。三三八一。三八五八	懶	四・二六三〇	四	四・二九三二
東裝	三・一九九八。四・二四〇〇				四・二九三二

四五刻	四・二二四四	代號	四・二五六〇	世人(ヒト)	一・三三二。四八八。二・七〇七。七七八
四處屯倉	四・二六五八	夜	三・一七六九。四・二七六二	世人(ヨノナカニ)	八〇九。八二二。一〇三六。一〇八一
殿	三・二一六〇	使呼	五・三三四七	世人短折之縁也	二・一〇八一
室	三・二二〇〇	四妻	四・二六五一	呼	二・八五八。三・二一〇〇。四・三三三九。五・三二二三
内寢	五・三三二六	四子	二・一〇五八	喚	四・二七二七。二七二四
臥内	五・三三六〇	四嬪	二・九四九	稱	四・三〇五六。五・三二〇一
夜半	三・二〇八五。四・二八七六	夜	五・三三二九	更深人闌	五・三一五〇
半夜	四・二八八九。三〇二二	齒	四・二七六二	更深夜闌	三・一六七二
吉隱(地名)	五・三九二九	呼號	三・二〇八四	昨夕	三・一五五八
每夜	三・二一五七	呼	四・三三二〇	夕	五・三八七八
世(ヨヨ)	一・四九三。二・一三三五。四・二四八四	流星(ナガレボシ)	四・三三〇〇	余豐障(百濟王子)	五・三三六八
絶世	二・一〇〇七	聘	四・三〇八二。三〇八三	役丁(ヨボロクボ参照)	四・二一八三
余怒(人名)	四・二八四三。二八四九	號(サケブ)	三・一七三五。四・二八七四	丁	四・二五五七。二八〇四。五・三二〇八。三二一三
米	五・三五二三	夕(ヨヨ)	四・二六二二	臈	三・二二五。三三三三。三六二八。三六八五。三八九一
米麻呂(新田部連)	五・三三四〇	指	三・二二二一	四卷	三・二二八九
よのことごとくも(歌)	二・一〇四五		五・三三四七		五・三九〇四
よのとほびと(歌)	三・二二七五				







爲<sup>ヨロコビヲナス</sup>歡 四・二六六〇  
 稱<sup>ヨロコビヲナス</sup>萬歲 四・二四九九  
 悅<sup>ヨロコブ</sup> 一・一〇四、四・二四八四、五・三七九、三六八五  
 快<sup>ヨロコブ</sup> 一・一〇七  
 喜<sup>ヨロコブ</sup> 一・一七一、二・七八八、三・一五〇  
 歡<sup>ヨロコブ</sup> 三・一四四四  
 歡喜<sup>ヨロコブ</sup>(ウレシム) 四・二七六七、二七六九、二九八八  
 歡悅<sup>ヨロコブ</sup> 四・二八六〇  
 驩<sup>ヨロコブ</sup> 三・二〇八四  
 嘉<sup>ヨロコブ</sup> 四・二三三五、五・三七三四  
 嘉慶<sup>ヨロコブ</sup> 四・二七三九  
 賀<sup>ヨロコブ</sup>(ホグ) 四・二三七九、五・三二〇一、三二〇八、三六一九  
 忻<sup>ヨロコブ</sup> 四・二四八四  
 忻忻<sup>ヨロコブ</sup> 四・二四八七、二七〇四  
 忻喜<sup>ヨロコブ</sup> 四・二七一六  
 忻悅<sup>ヨロコブ</sup> 四・二七五〇

欣<sup>ヨロコブ</sup> 四・二六六〇  
 欣然<sup>ヨロコブ</sup> 三・二〇八四、五・三三三五  
 稱萬歲<sup>ヨロコブ</sup>(ヨロコビテ) 五・三一〇五  
 喜言<sup>ヨロコブ</sup> 一・一七一  
 賀<sup>ヨロコブ</sup>(ヨロコブ) 五・三二〇一、三二〇八  
 驩心<sup>ヨロコブ</sup> 三・二〇八四  
 悅哉<sup>ヨロコブ</sup> 四・二四四七  
 宜<sup>ヨロコブ</sup>(備君・宜) 五・三三〇八  
 宜哉<sup>ヨロコブ</sup>(ウベナルカナ) 四・二四八四  
 よろしきしなむ(歌) 三・二〇五六  
 よろしきやま(歌) 四・二三四六  
 宜<sup>ヨロコブ</sup> 一・一三一、三六一、二・八〇七、二・一〇七  
 よろしめを(歌) 四・二七五七  
 萬<sup>ヨロコブ</sup>(捕鳥部・萬) 四・二九〇〇、二九〇一  
 數萬<sup>ヨロコブ</sup> 四・二八〇一  
 萬里<sup>ヨロコブ</sup>(秦大藏造・萬里) 五・三三三五

數萬衆<sup>ヨロコブ</sup> 三・一九三三  
 一萬頃<sup>ヨロコブ</sup> 四・二八九九  
 呼萬歲<sup>ヨロコブ</sup> 四・二三三九  
 稱萬歲<sup>ヨロコブ</sup>(チマナス) 四・二四九九  
 萬歲之後<sup>ヨロコブ</sup> 四・二六五一  
 萬姓<sup>ヨロコブ</sup> 四・二二五五  
 萬事<sup>ヨロコブ</sup> 四・二九五六  
 萬衡<sup>ヨロコブ</sup> 三・一四九三  
 萬機<sup>ヨロコブ</sup> 三・一九四〇、四・二四九九、二六八四  
 萬氣懷靈<sup>ヨロコブ</sup> 三・一七六九  
 含靈<sup>ヨロコブ</sup> 四・二九七九  
 生萬物<sup>ヨロコブ</sup> 一・二〇一  
 萬貫〇一萬斤<sup>ヨロコブ</sup> 四・二六七四、五・三七七七  
 萬幡豐秋津姬命<sup>ヨロコブ</sup> 二・八二三  
 萬幡姬<sup>ヨロコブ</sup> 二・九五四、九六七  
 萬幡姬兒玉依姬命<sup>ヨロコブ</sup> 二・九六八

萬重<sup>ヨロコブ</sup> 三・一七一四  
 萬世<sup>ヨロコブ</sup> 三・一九八四  
 萬歲<sup>ヨロコブ</sup>(千秋…) 三・一九八〇、五・三三三九  
 よろづよに(歌) 四・二九九六  
 萬歲<sup>ヨロコブ</sup> 四・二五六〇、二七六二  
 甲<sup>ヨロコブ</sup> 三・一七五五、四・二六〇〇、二四一〇、二七三三  
 三・二七七五、二八〇一、二八四三、五・三三六  
 一・三二八四、三五一〇、三九一八  
 鎧<sup>ヨロコブ</sup>(カブト) 四・二七六三、五・三三三三  
 柙<sup>ヨロコブ</sup> 五・三三三六  
 具<sup>ヨロコブ</sup>(弓矢二具) 五・三三三三  
 甲冑<sup>ヨロコブ</sup> 五・三五一〇  
 甲一領<sup>ヨロコブ</sup> 五・三九一八  
 卷甲戰<sup>ヨロコブ</sup> 三・一七二五  
 よろばひゆくかも(歌) 三・二二五一  
 徙倚<sup>ヨロコブ</sup> 二・九八二  
 弱肩<sup>ヨロコブ</sup> 二・八九二、八九七

弱<sup>ヨロコブ</sup> 二・一〇九七  
 弱水<sup>ヨロコブ</sup>(正訓ウナバラ) 三・一五六四  
 累葉<sup>ヨロコブ</sup> 四・二三六九

ラ

禮<sup>ライ</sup>(大禮小禮)冠位十二階の一 四・二九四一  
 禮冠<sup>ライ</sup> 四・二七二二  
 萊州<sup>ライ</sup> 五・三三〇八  
 禮塞敦<sup>ライ</sup> 四・二七五三  
 良虞<sup>ライ</sup>(リヤウグ)百濟王… 五・三八〇六、三八七四  
 駱駝<sup>ラクダ</sup> 五・三六八一  
 駱駝一疋<sup>ラクダ</sup> 四・二九三三、三〇一六  
 羅城<sup>ラクシキウ</sup>(ソトグルヲ)を見よ

リ

臘鳥<sup>ラクニク</sup>(アトリ)を見よ  
 見(ラル) 一・四九三、二・一〇一六  
 隆<sup>リウ</sup>(百濟王子) 五・三三六八  
 流行<sup>リウ</sup>(エキオコナル) 二・一四〇二  
 流言<sup>リウ</sup>(ツテゴト)を見よ  
 劉仁願<sup>リウジンガン</sup> 五・三四〇六、三四三三、三四七二  
 劉德高<sup>リウトクカウ</sup> 五・三三二〇  
 龍馬<sup>リウマ</sup>(タツノマ) 五・三三八七  
 李守眞<sup>リシウジン</sup> 五・三四七二  
 履中天皇紀<sup>リテン</sup> 三・二一九九  
 履中天皇元年庚子<sup>リテン</sup> 三・二二一四  
 履中天皇二年辛丑<sup>リテン</sup> 三・二二一九  
 履中天皇三年壬寅<sup>リテン</sup> 三・二二一〇  
 履中天皇四年癸卯<sup>リテン</sup> 三・二二二二  
 履中天皇五年甲辰<sup>リテン</sup> 三・二二二四



履中天皇六年乙巳 三・三三二  
 履中天皇崩御 三・三三四  
 律師 四・二八三六。二九〇六  
 立身(初位) 五・三三五。三三七  
 律令法式 五・三六九  
 裡伴(アカハダガトモ)を見よ  
 諒闇(ミモノオモヒ)を見よ  
 靈雲(僧) 四・三〇七六。五・三八九  
 良虞(百濟王) 五・三八〇六。三八七四  
 令斤(僧) 四・二九〇六  
 令開(僧) 四・二九〇六  
 靈鷲山(ワシノヤマ) 五・三二六九  
 聆照(僧) 四・二九〇六  
 掠葉禮(掠・ケイ・人名) 四・二七三五  
 令威(僧) 四・二九〇六  
 陵貴文(人名) 四・二九〇六  
 陵戸 四・二四九七

取(取ニ俱亡) 五・三一五  
 所(エ) 四・三六四。三七一。五・三三四  
 見(ユ)見(レ亡) 四・二七〇二。二七二五。三〇八四  
 被 四・三三三。五・三三〇。三三三。三三六。三三六  
 留守司(トドマリマモルツカサ)を見よ  
 留守官(トドマリマモルツカサ)を見よ  
 驟(ウサギウマ)を見よ

禮(キヤ)又は(ラキ)を見よ  
 靈臺之囿 五・三二七  
 禮冠(ラキノカガフリ) 四・二七二  
 卯安那(卯・パウ・人名) 四・三三九

六齋(月) 六・齋)を見よ  
 角福牟(人名) 五・三四七  
 路子工(人名) 四・三〇三  
 漏冠(トキノキザミ)を見よ  
 鑑盤博士 四・二九〇六  
 論議者 五・三三九

曲(河曲) 五・三六三五  
 王有悽陀(人名) 四・二七六八  
 吾(我・予・朕)アガの條を参照せよ  
 我 一・二〇三。二・七四。七四六。八〇九。九八〇。  
 四・二八四九。五・三八八。三三八七  
 予 一・五七五。四・二四六一  
 吾 二・一一四  
 朕 二・二二九。三・一九八四  
 稚綾姫皇女(ワカヤヒメ)

稚淺津姫命 四・二五八七。二六九二  
 稚犬養連 三・一四八二  
 稚犬養連・網田 五・三三七。三七五五  
 稚犬養連・網田 五・三三七。三三九  
 わがいのちも(歌) 四・二三八七  
 わがいませば(歌) 四・二三五  
 わがほほきみの(歌) 四・二三三八  
 わがほほきみの(歌) 四・二六〇三  
 わがほほきみの(歌) 四・二九九六  
 わがほほきみの(歌) 三・二七五  
 幼 三・二〇七六。四・二八六〇  
 幼時(ワカクマシントキ) 四・二六八二  
 少名 五・三八〇九  
 幼年(イトケナキトシ) 四・二四八九  
 稚城瓊入彦命 三・一四八二  
 我王(オナキミ) 二・一〇四九

幼主 三・一九〇四。一九四〇  
 我王 二・一〇四七  
 我王之宮 二・一〇四八  
 少幼者 四・三〇二七  
 稚(國稚地稚之時) 一・五七  
 わかくありさと(歌) 五・三三〇  
 屯蒙 二・二〇七  
 弱草 四・二五二四  
 わかくさの(歌) 五・三三〇  
 幼年(トシワカクシテ) 二・一三三九。三・一五七  
 幼 四・三三〇。二五七。二六八四  
 幼年 四・二五五  
 稚國王(下照姫一名) 二・六八六  
 幼 四・二九二  
 幼 五・三五〇

少而 五・三八三五  
 我子 二・七八六  
 我兒 二・八二三  
 小兒(アラハ) 二・一四一八。一四一九。四・二七三三  
 兒 三・二四八五。四・二七三三。三〇一九  
 嬰兒 四・三三三八  
 幼子 四・二四三四  
 稚子(人名)(ワクコ)を見よ  
 愚情 四・二七三六  
 稚子媛 四・二五八三  
 若狹 三・一四五六。五・三六三〇  
 若櫻宮 三・一九五四  
 稚櫻宮 三・一九九一。二二二四。二二二一  
 若櫻部朝臣・五百瀬 五・三九三四  
 稚櫻部臣 三・三三二。五・三七五一  
 稚櫻部臣・五十瀬 五・三五二〇  
 稚櫻部臣・五百瀬 五・三五三九



ワカザク 稚櫻部造	三・二二二	ワカサシ 若狭國	三・一四五	ワカサシ 稚狹王	五・三五三、三六七〇	ワカサシ 少	二・一〇六二、四・三〇五九	ワカサシ 稚	四・三〇五九	ワカサシ 治(治鐵)	五・三四六四	ワカサシ 沸	四・二三五五	ワカサシ わがせこが(歌)	四・二六六五	ワカサシ わがせをみれば(歌)	三・二四九	ワカサシ 稚武王	三・一七三六	ワカサシ 幼武尊	四・三三三	ワカサシ 稚武彥命	二・一三〇〇	ワカサシ 稚武彥王	三・一七三六	ワカサシ わがたせば(歌)	四・二三三五	ワカサシ わがたためゆめ(歌)	四・二三七	ワカサシ 爲我	二・一〇三九	ワカサシ 稚足彥天皇(成務)	二・一〇三九
ワカサシ 稚足彥尊	三・一五九、一五八二、一七六三	ワカサシ 稚足姫皇女	三・一七三四	ワカサシ 分乘	四・三三七	ワカサシ わがつまをゆめ(歌)	五・三〇八	ワカサシ 誘(チコツリ)	四・三三七	ワカサシ わがてとらすもや(歌)	四・二六二五、二七〇八、二七二四	ワカサシ わがてをとらめ(歌)	五・三三四	ワカサシ わがてをば(歌)	五・三三四	ワカサシ 吾伴	四・二六二五	ワカサシ わがなくつま(歌)	四・二七四	ワカサシ わがにげのぼりし(歌)	四・三三九	ワカサシ 稚贄屯倉(駿河)	四・二六六〇	ワカサシ 稚野毛二派皇子	三・一〇〇一	ワカサシ 稚野毛二岐皇子	四・二二八五	ワカサシ わがのほれば(歌)	三・二四四	ワカサシ 吾子等(アゴタチ)	四・二四六三		
ワカサシ 稚媛	四・三三七、三三五四	ワカサシ 稚日女尊	一・四三七、三・一九一	ワカサシ わがまつや(歌)	二・一三三	ワカサシ 稚臣(大分君...)	五・三五七、三五六八	ワカサシ 稚見(大分君...)	五・三六七五	ワカサシ 日本國	三・一八一	ワカサシ 我國家	四・二七四九	ワカサシ 我日本國	五・三八七	ワカサシ わがみがほしくには(歌)	三・二四四	ワカサシ わがみきならず(歌)	二・一三六三	ワカサシ わがみきならず(歌)	三・一九六一	ワカサシ 稚三毛野命	二・一〇六三	ワカサシ わがみせば(歌)	四・二六〇三	ワカサシ 少宮(日少宮)	一・三三七	ワカサシ 稚室葛根	四・二四六五	ワカサシ わがめづるこら(歌)	四・二六五	ワカサシ わがもこにこむ(歌)	三・二〇八九

ワカサシ 稚綾姫皇女	四・二五八七、二六九二	ワカサシ 稚日本根子皇子	三・一五七一、一五八二	ワカサシ 稚日本根子彥大日天皇	二・二〇九、一三七一、一三九	ワカサシ 少(老人還...)	五・三三四七	ワカサシ わがゆくみちに(歌)	三・二〇三四	ワカサシ 若湯入連(賜宿禰姓)	五・三五七五	ワカサシ 輪韓河	二・一三八七	ワカサシ 剖	一・四一	ワカサシ 分	一・四二、三・一八五三、四・二二五五	ワカサシ 判	一・五三、六〇七二、四・二七九	ワカサシ 離(ハナル)	一・五一五	ワカサシ 別	二・一〇一六、四・二三七九	ワカサシ 別去	二・一〇五八	ワカサシ 辭訣	四・二三四四、二四二	ワカサシ 岐	四・二五〇二		
ワカサシ 昇退	四・二七七七	ワカサシ 不割(不レ分)	一・四一	ワカサシ 別邑	四・二四一五	ワカサシ 分巡	一・一三七	ワカサシ わがぬねし(歌)	二・一〇四一	ワカサシ 殊	一・四三八	ワカサシ 側	一・四八六	ワカサシ 腋	二・一〇五六、四・二九〇一	ワカサシ 傍	四・二四六一	ワカサシ 沸騰	二・九五七	ワカサシ 稚雷	一・二七五	ワカサシ 稚郎子(菟道...)	三・一〇〇〇、二〇四四、二〇六四、二〇八四	ワカサシ 稚郎皇女(小野...)	四・二五八三	ワカサシ 稚郎姫皇女(菟道...)	三・一〇〇一	ワカサシ 掖上(ワキノカミ)以下同ジ	二・二二八七	ワカサシ 掖上池	四・二〇〇六
ワカサシ 掖上・博多山	二・二九五	ワカサシ 掖上・博多山(孝安天皇)	二・二九三	ワカサシ 掖上・室山	三・三三二	ワカサシ 掖侍(掖侍)	四・二八八六、五・三三九	ワカサシ 掖侍菩薩	四・二八八六	ワカサシ 節(ワキダメ)	四・二五三	ワカサシ 辨	三・一〇一八、二〇三〇	ワカサシ 殊	一・四三八	ワカサシ 別	三・一六八〇、一九三三	ワカサシ 節	三・一八五七、四・二五三	ワカサシ 際	四・二九〇一	ワカサシ 迎勞(ネキテの誤訓)	四・二六二二	ワカサシ 掖	四・二九〇一	ワカサシ 掖	五・三三三五	ワカサシ わぎへのあたり(歌)	三・二四四		



わぎへのかたゆ(歌) 三・一六三四  
 辨 四・二七四六  
 相辨 四・二九五七  
 和解(アマナハシム) 四・二六二五  
 和 四・二六二五  
 吾妹 四・二三〇〇  
 わぎもこと(歌) 三・二一六六  
 分明 三・一九七六、四・二五三一  
 母ニ分明 五・三三五〇  
 辨 四・三〇四四  
 分明 三・一五二四、四・二七八二、三〇六〇  
 辨 五・三八一五  
 分明 四・三〇五六  
 沸 一・二二二、二・九五七  
 別 二・七六七、八五〇、四・二四九〇  
 分 二・七六七、八五〇、九三八、一〇七四  
 披 二・九五九、三・一七〇一、一七二四  
 稚子(來目) 四・二四五三

稚子(依網連) 五・三三三六  
 稚子(上毛野君) 五・三三九五、三三九六  
 若子(中臣部) 五・三四七六  
 孀子 四・二六八〇  
 稚子直(伊基國造) 四・二六四七  
 稚子媛(ワカコヒメ)を見よ 一・一七八  
 稚産靈 三・一五六六、一五九二、一五九七  
 別 五・三一九六、三六五一  
 別(謂諸國之別) 三・一五九七、一五九九  
 別王之苗裔也 三・一五九七、一六〇一  
 難 五・三五五七  
 別 五・三一九四  
 分割 一・一六二、二・一七三、四・二五〇〇、  
 二六八二、二七二一  
 行 二・二一〇七  
 造 二・二一六〇  
 藝 二・二一六〇

業 二・一三四六、一四〇二、四・二七三三、  
 二七五〇、二八二七、五・三三三三  
 事 三・一八五三、二二二二、四・二六三〇、二七四九  
 俗(風俗・ナラハシ) 四・二四五〇、五・三〇二  
 略(武略) 四・三〇四四  
 童謠 五・三一二四、三三七〇、三四二〇、三四六三、  
 三四七四、三四九二  
 謠 五・三三三三  
 謠歌(謠歌三首) 五・三三三四  
 童謠曰 五・三四六三、三四七四  
 行 三・二〇六四、四・二六八二、五・三三二五  
 會(大會) 五・三三六六  
 爲樂 二・七三一、七三六、三・二一八九  
 爲事 三・一五四三、四・二七四九  
 災異(昆蟲之) 一・六〇八  
 難 二・九五九、一〇九七、三・二四〇四、四・二四

妖 三・二四四四、二四八三、二五一五、二七一四  
 妖 二・二二〇七  
 妖氛 二・二二九、三・二一九五  
 災害 二・一三四六  
 災害 二・一三七一、五・三八九七  
 禍 三・一七三六、四・二六九九、二七七七  
 亂 四・二四六〇  
 多難 四・二四八九  
 變難(ノチノワザハヒ) 四・二七九六  
 災 五・三一五〇  
 艱難 五・三五四四  
 災異(アメノワザハヒ)を見よ  
 妖祥(ツチノワザハヒ)を見よ  
 禍至 追悔 四・二七〇五  
 妖 五・三三七  
 災 五・三三七

稱(ハヒヲアツ) 四・二六二七  
 避(ハヒヲサク) 四・二四五四、二五二五、五・三八二一  
 避(ハヒヲサク) 四・二四六〇  
 免(ハヒヲサカル) 二・一〇九七、三・二二〇四  
 告(ハヒヲマサス) 五・三三六三  
 難 二・一〇二五  
 俳人(ワザナギビト) 二・一〇二五  
 倡優 四・二五六二、五・三七八五  
 俳優 五・三三五四  
 伎人(ワザト) 五・三六三〇  
 和(地名) 五・三五四八、三五五〇  
 俳優 一・四一三  
 俳優之民(民) 二・九九四  
 俳優者 二・一〇五四  
 安業 四・二五二九  
 和慈古(櫻井臣) 四・三〇五六  
 鷺住王 三・二二三三  
 靈鷲山 五・三三六九

王辰爾 四・二七五九、二八一七、二八八四  
 和上(和尚) 五・三七九〇  
 わしりでの(歌) 四・二三四六  
 わすらゆまじた(歌) 五・三三三五  
 遺 三・一六六〇  
 可遺迹(アトチノコスベシ) 四・二六四九  
 勿忘 三・一四六九  
 海 一・一四五  
 綿(海) 二・七〇七、五・三三一九、三三二〇、三五一一、  
 三六八八  
 和陀(新羅島名) 四・二八二九  
 王道良(人名) 四・二七六八  
 綿袍三領 五・三三一九  
 私(公私) 五・三七九五  
 家 五・三三二八  
 私 一・五三四、五七五



燕居	ワタクシニマシマス	三・一四六三	海畔	ワタノホタ	五・三一九五
私家	ワタクシノイヘ	五・三三五四	海表	ワタノホカ	二・一三四九・一四〇〇・一四〇二・四・二四五〇・二六三四・二八四三・二九八〇
私第	ワタクシノイヘ	五・三四五一	海邊	ワタノホトリ	二・一四〇七
私民部	ワタクシノカキベ	四・二四〇七	活	ワタラヒ	五・三三四一
和多志神	ワタシノカミ	一・五九八	度逢縣	ワタラヒノアガタ	三・一八三六
奉渡	ワタシマツル	一・五九六	渡遇宮	ワタラヒノミヤ	三・一五一一
度子	ワタシモリ	三・二〇八九	存	ワタラフ	五・三三五二
渡子	ワタシモリ	五・三三四九	存活	ワタラフ	五・三三五二
建(タツ)	ワタス	一・三三〇	自存	ワタラフ	五・三八三二
渡	ワタス	一・五九六	わたらむと(歌)		五・三八九七・三九三七
化	ワタス	三・一九〇四・四・二四九一・二六〇九	路津	ワタリ	五・三一一三
海中(ワタノナカ)	ワタノナカ	二・一〇三九・一〇四八・一〇五五	津涉(ツワタリ)	ワタリ	四・二六二〇
造綿者	ワタクシ	八・一〇五・三・一七九一・五・三六七三	津濟(ツワタリ)	ワタリ	五・三三四九
海神	ワタクシノカミ	二・九八二・九八九・九九五・一〇〇九・一〇一一・一〇一八・一〇二二・一〇二四・一〇三一	度島	ワタシマ	五・三三五六
			渡島蝦夷(渡島)	ワタシマノエモリ	五・三三三八・三三五四
			わたりに(歌)		三・二〇九二

徑一寸	ワタリヒトサ	五・三二一九	通惱	ワツラハス	四・二七二五
わたりにゆきて(歌)		三・一九三四	煩	ワツラヒナリ	三・一五五三
渡	ワタル	一・二二八・五七〇・六一七・三・一六五二・一六九六・四・二七三六	煩神	ワツラヒノカミ	一・二二六
涉	ワタル	一・三三三・二・一〇一一・一〇四一	煩(フツクブ)	ワツラフ	三・一七二八・四・二六一七
延	ワタル	一・五二八	哭之(ネツカフ)の誤訓	ワツラフ	五・三六九〇
徑	ワタル	三・一七二四	和銅七月上奏日本紀	ワツラフ	一・六
淨涉	ワタル	三・一八五二	和徳史	ワツラフ	五・三三二七・三三二九
緇	ワタル	三・一八五七	絹	ワタル	二・一〇三〇
過(スガ)	ワタル	四・三三一九	絹(辭藝和奈破蘆)	ワタル	二・一一三三
經(經天)	ワタル	五・三三五五	經死(ワナキテシヌ)	ワタル	四・三三三九・二四五四
度	ワタル	五・三五六八・三六九三	絞(絞人殉)	ワタル	五・三三四一
王陳(陽胡史祖)	ワタル	四・二九三九	自經死	ワタル	五・三三九一・三三七五
煩之	ワタル	五・三三二八	自經俱死(ワタキテ)	ワタル	五・三三三〇
煩之	ワタル	三・一六八一	經(自經)	ワタル	三・一四六九・四・三三三九・二四五四・五・三三〇
惱(ナヤマス)	ワタル	四・二六二七	經死(絹の釋義を参照すべし)	ワタル	一・三〇・三一九一・三三四一・三三七五
			兢惕然	ワタル	三・一七六九
			搖	ワタル	四・二八六二
			震	ワタル	三・一九〇六
			搖(ガツ)	ワタル	四・二八六二
			搖(フルフ)	ワタル	四・二八六二
			震(フルフ)	ワタル	四・二八六二
			動	ワタル	五・三三五七
			王仁(人名)	ワタル	三・二〇四一・一〇四四
			鰐	ワタル	一・六三六・六四八・二・一〇一三・一〇一六
			和珥坂の少女の歌	ワタル	一〇三三・一〇三三・一〇三三・一〇三三・一〇三三
			和珥積・吉事	ワタル	二・一三七八
			熊成峯(クマナリノタケ)の誤訓	ワタル	五・三三四八
			乘於大鰐	ワタル	一・五九六
			和珥池	ワタル	二・一〇一五
			和珥臣	ワタル	三・二二三三・四・三〇〇六
			和珥臣河内女・黃媛	ワタル	二・二九一一・四・二五一九・五・三五一三
			和珥臣遠祖	ワタル	四・二五八七
			和珥臣祖・武振熊	ワタル	二・一三三三・一三三七・三・一四九三
				ワタル	三・一九三三



和珥臣祖・難波根子・武振熊

和珥臣祖・日觸使主

和珥臣・河内

和珥臣・君手

和珥臣・日爪

和珥臣・日觸

和珥臣・深目

和珥臣・深目之女・童女君

和珥臣等始祖

和珥坂

和珥津

鰐魚策 曰

和珥部臣・君手

王平(船史)

王保孫(人名)

小兒(ワカゴ)

生(學生)

生(學)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

生(學生)

我(オノレ)

われをとほすな(歌)

われをひきれて(歌)

井

猪(アカ)

猪(赤猪)

引搦(キイアハス)は音便

爲歌可君

爲歌岐彌(名有非岐)

猪甘津(地名)

猪槽(キアホ)

井上君(キノウヘノキミ)

位記

ぬぐひつく(歌)

居醒(イサ)

坐(イ)

席(イ)

坐(イ)

位色の制

隨助

側助(キイタスク)は音便

所御之船

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

猪使(連)

奉(マツル)

繼來(キキ)

引入(キキ)

威徳王

住處

所居

田舎

坐(イ)

居夏姫

猪名縣

偉那公

猪那公(賜真人姓)

章那公・磐楸

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見

猪那公・高見



猪名部・眞根 四・三九五  
 井上君(キカミノキミ) 五・三二二  
 山猪 四・二九五・二九一六  
 井中 二・一〇一八  
 猪祝(土蜘蛛名) 三・一〇一  
 井邊(邊) 二・一〇一八  
 井上 二・一〇一八・一〇四七  
 井光(人名) 二・一四〇  
 尹貴(人名) 四・二六三  
 禮(コトワリノリ) 二・一〇三三・四・二六五四  
 禮(賀正禮・元日禮) 五・三三六二・三三九四  
 禮事 四・二六三  
 禮 四・二七六四・二八三三  
 禮畢 五・三六四三  
 無禮(キヤナシ) 三・二〇六四・四・二五四八  
 無禮 二七八七・二八二・五・三一五  
 不敬 三・一七八〇・三〇〇九  
 禮也 四・二五二二  
 禮數 五・三八三〇  
 禮幣 四・二七八七  
 禮儀(キヤマヒ) 四・二五八  
 拜禮 五・三七二〇  
 拜禮 三・一八五七  
 禮(キヤマフ) 二・一〇九七  
 跪禮 四・三三三四  
 禮遇(ウヤハヒ・キヤハヒ) 三・一九八〇  
 敬(キヤマフ) 二・一〇九七・三・一四九三  
 敬(重) 五・三三三四  
 祭(祭) 二・一〇九七・三・一四九三  
 祭 四・二二三三  
 祭 二・一四六・一四八  
 敬(キヤマフ) 二・一〇四九・四・二六八四・二七四九・二  
 八五三・二八七九・二九五二・二九六四・三〇二  
 八・五・三三三五  
 禮 二・一三四八・一三七二・一四〇二・四・二八二  
 三・二九六八  
 拜禮 三・一八五七  
 恭 四・二四八三・二四八四・二四八七  
 失禮 四・二六二  
 好禮 五・三八〇九  
 以禮爲本 四・二九五三  
 居 二・九一七・一七二・三・一六八〇・一八四二  
 坐 二・一六五  
 處 四・二四七七・二六〇七・二七九〇  
 御(所御) 三・一八九四  
 率 二・一四〇・三・二六四・四・二六三三・二  
 四七六・二六三〇・二九一三・三〇〇一・五・三  
 三〇五・三三三三・三三八六

卒 四・三〇二二・二三五六  
 將 四・三三九七・二四四七・二四九〇・二六二七  
 引 五・三〇二二・三二八二・三三四八  
 領(領兵數萬) 四・二八〇一  
 側(側助) 五・三四二二  
 奉(キテマツル) 五・三〇五五・三三三三・三三八五  
 猪折(人名) 三・一六五  
 餌 二・一〇一八・三・一八四七  
 惠雲(僧) 四・三〇八八・五・三三八九  
 惠隱(志賀漢人) 四・二九八六  
 惠隱(僧) 四・三〇八八  
 畫工 四・二九〇六  
 畫師 四・二九五八・五・三三五四・三六六四  
 畫部(エシ) 四・二三五九  
 繪 四・二三五九  
 畫部・因斯羅我(人名) 四・二九四四  
 餼香市 四・三九〇〇・三九九二  
 衛我河 五・三五七九  
 餼香川原 四・二九〇四  
 餼香長野邑 四・二九九〇  
 殖栗王 五・三七一六  
 殖栗皇子 四・二八六九  
 惠光(僧) 四・三〇三二  
 惠灌(僧) 四・三〇四四  
 惠尺(船史) 五・三六二二  
 惠尺(大分君) 五・三五二七・三六四二  
 惠齊(僧) 四・三〇三一  
 惠慈(僧) 四・二九二四  
 惠至(僧) 五・三三八九  
 惠施(僧) 五・三三八九  
 衛士(イクサビト) 四・二八八九  
 惠衆(僧) 四・二九〇六  
 惠寔(エシキ) 僧 四・二九〇六  
 惠宿(僧) 四・二九〇六  
 惠照(僧) 五・三三九八  
 惠善尼 四・二八五三  
 惠總(僧) 四・二九〇六  
 畫工(エカキ) 四・二九〇六  
 越州 五・三五五〇・三三七九  
 惠日(醫) 四・三〇三三・三〇七二・五・三〇〇八  
 狗 五・三三五四・三六八一  
 沈酒(于酒) 四・二五六二  
 被酒(サケニエヒヌ) 三・一六七二  
 惠便 四・二八五三  
 醉 一・五三〇・五六七・四・三三〇〇  
 咲(エミ) 四・二三三三  
 惠(エマヒ) 四・二三三三  
 惠彌(僧) 四・二九八八



惠明(人名) 四・二九八六  
 笑 二・一〇〇九  
 惠妙(僧) 五・三八八、三三〇、三六九二  
 笑之顔 二・一〇〇九  
 嘘樂 一・四三四  
 歡喜盈懷 四・三三四  
 嘘樂 一・四三六  
 惠隣(僧) 五・三八九  
 碑 五・三四五、三四五五  
 吞餌 二・一〇一八  
 尾 一・一〇七  
 陽(陰・陽) 一・二三九、五五〇、五五七、五六七  
 尾 五・五七五、五・三三九  
 尾(スエ) 一・三六九  
 丘(頓丘・二丘) 二・七七六、八一三

端(ハシ) 一・五〇六  
 夫 五・三四一  
 焉(少男焉・少女焉) 一・一〇一、一〇五、一二七、一三四、一三九、一四三  
 歟(同上) 一・一二七、一三四、一四三  
 乎(同上) 一・一四三  
 雄朝津間稚子宿禰天皇 三・二〇七、四・二四一、二四二、二四六、二八八七  
 小姉君 四・二六七〇  
 小石姬皇女 五・三四一八  
 小市岡上陵 三・一五七二  
 小碓皇子 三・一五七二  
 小碓尊 三・二〇四  
 續 四・二五八  
 續 四・二四六〇  
 困事 二・一一一  
 瘵(チヘヌ)は誤寫

瘵(チヘヌ)は誤寫 二・一一一  
 疾臥(チエヌ)を参照せよ 三・一七四  
 岳 一・三九、五・三八九六  
 丘岬(鳩介佐葉) 二・一〇一  
 崗前來目連(紀……) 四・三七一  
 奸 四・二五三、二八三八  
 被(被ニ其毒) 三・二九三  
 侵 四・二四二、五  
 侵 四・二七二  
 難犯 五・三三四  
 奸暴 三・一八五七  
 侵凌(チカス) 四・二六〇九  
 侵逼 四・二七〇二  
 侵害 四・二七二五  
 犯(犯の假字) 一・四九九  
 犯 一・四九三、四・二八三、三〇三七、五・三一、三四、三六五  
 奸 三・一七三四、一八五七、四・三六七、二三八

侵 七・二三九〇、二七九八、二八七四、二九九、三〇六九、三〇八〇  
 冒ニ風波(シメグ) 二・九九七  
 陵谷相續 三・二〇五九  
 崗津 三・一八〇一  
 崗縣主祖・熊罥 三・一七九五  
 崗浦 三・一七九五  
 丘首間狹 四・二八三三  
 崗君・宜 五・三〇八  
 阜嶺(ミホ) 五・三三三  
 崗水門 二・一〇八八  
 丘稚子王 四・二四八七  
 小鹿火宿禰 四・二六九、二七三、二七六  
 陽神 一・九九、一〇四、一〇五、一二七、一三四、一三九、一四三

齋 五・三三六  
 會 五・三三五  
 設齋 四・二八五三、二八五六、二八五七、二九六二  
 齋 二・九六三、三〇二八、五・三三九七、三八六〇  
 設齋大捨燃燈 五・三三九七  
 拜(迎拜)チロガム参照 二・一〇一三  
 岡本(飛鳥……) 五・三三三三  
 岡本宮 四・二九六六、三〇七三、三〇八一、五・三三三三  
 岡本宮 五・三五九八  
 崗本宮 四・二六五六  
 小杵(人名) 四・二六五六  
 招(風招) 二・一〇五一  
 招聚 五・三五八一  
 招慰 五・三七九  
 小分(錦織造……) 五・三七〇二  
 奉招禱(チギマツラム) 一・四四一  
 雄君(朴井連……) 五・三五二一

雄君連(物部……) 五・三六四九  
 招 一・四四一、二・一〇五一、五・三三七九、三五八一  
 少郊(チヌ) 四・二四八七  
 悶沙利(人名) 三・一九八八  
 小尿(倉臣……) 五・三三八四  
 小男 一・六五四  
 童男(鳥具奈) 三・一五七一  
 小熊(上毛野君……) 四・二六五八  
 小倉(人名) 四・二八三六  
 小黒吉士 四・二八三六  
 弘計王 四・二四四〇、二四四八、二四五三  
 弘計天皇 四・二四四七、二四五三  
 白朮(藥草) 五・三七七五  
 白朮煎 五・三七七九  
 煎白朮(チケラチニル) 五・三七七五  
 尾輿(物部大連……) 四・二六五七、二七五〇  
 上(オコシ・韓語)



誘	四・二五九三、二六九〇、二六九九、二七二四	男狹磯(海人)	四・二七七三	男鋹(櫻井田邊連...)	三・一〇〇一
誘聚	二・一六五、三・一六一五、一八九七、一九四〇	長(イサセタル)	五・三六四八	譯語彥(吉士...)	四・二八二九
小郡(コゴホリ)を見よ	四・二七〇八、二七二四、五・三三六五	譯語田(地名)	四・二八二九	をさほをすぎ(歌)	四・二四四九
譯語	五・三三六五	譯語田(地名)	四・二八二九	不安	三・一六七八
譯語	二・一四〇二	譯語田 天皇	四・二八七六、二九一三、三・一八九	艾安	四・二四二一
譯語(巨勢神前臣...)	四・二三五九、二九八六、五・三三七八	譯語田 淳中倉太珠敷尊	四・二六八五	平	二・一三四九
通事	五・三三九五	譯語田宮	五・三三八九	治	四・二九五三
長	四・二九七〇、二九八四	長田大娘 皇女(長田)	四・二三〇〇	治	二・七四七、八八四、三・一七五七、四・二二五
部領(コトリ)	四・二九二二、五・三三〇〇、三・三〇一、三・三九七	幼少孺子耳	五・三五五〇	攝	三・二八六〇、二九五三、二九五六、五・三三二
令(總令)	三・三五〇	不肖	二・一六六〇	制	一・三三八七、三・四四〇
領	四・二九九四	不賢(チザナシ)	三・一八五三	理	五・三八七八
男坂(地名)	五・三六四九	幼年	三・一六八一	定	二・一五二
小坂(太市造...)	二・一四四	不敏	四・二五八一	脩	一・六二五、五・三七〇七、三・八〇六
小鶴鷄(三輪君...)	四・二八八四	日佐・分屋(人名)	五・三四四五	脩	三・一九八六、四・二七〇〇、二五一、五・三九八
	四・三〇八一	小澤連・國襲	四・二七六六	脩治	四・二七〇四、五・三六九八

修繕	五・三三九四	葬埋	四・二七七三	葬(ハフリマツル)	二・八〇一、一〇〇二、一〇六一
脩理	四・二七七九、五・三六九六	所領	四・二四三七	脩理防護	四・二七二五
爲(爲政)	五・三〇九五	平定	四・二五五五	治平奉仕	四・二八七四
經綸(トノフ)	二・一三三九、三・一三三五	藏	三・二八六	沒	五・三七六一
馭(シル)	一六八一、一七二八、四・三〇四六	理官	五・三七〇七、三・八〇六	儲弦(ササユヅル)	三・一九四〇、一九四一
幸	二・六八六	沒官	五・三五四四	譯語・卯安那	四・二三六二
檢	四・二八三六、二九六八、五・三三二一	葬所(チサメムトコロ)	四・二七七六	重譯來	二・一四〇二
領	五・三三〇七	難治	五・三三五六	岐嶷(イコヨカナリ)	二・一六〇〇
收(トリチサム)	一・四八八、三・一八七九	供給	四・二四七六	軌制	四・二九二一
納	五・三三二四、三・三三〇六	供給	五・三三四四	明直	五・三三二八
藏(カクス)	四・二八三八	視養(ミチサメタマフコト)	四・二八四六	幹了者	三・一七六九
沒(チサメカラム)	二・一四二一、三・二八六、五・三三四一	收數田	五・三三二二	愛	四・二八三三、二七九八、五・三三七二
禁(オサフ)	四・二四六、五・三三〇七	脩營	二・一三〇七	壯鹿	三・二一五九
療(療病)	一・六〇八、五・三三二五	脩繕	四・二七三五	韋	三・二七四
葬	四・二三七六	賦歛	四・二九五六	韋	三・二七四
		收葬	四・二八二一	をしけくもなし(歌)	四・二三九〇



小鮪(吉士...) 五・三四一  
 小鮪(民直...) 五・五七六  
 教 一・一三一。三六一。五五五。二・一〇一三。一〇三三。一〇三四。一〇三七。一〇五一。一三四  
 八。三・一五〇五。二〇六四。四・二九五二  
 誨 二・九八九。一三五〇。三・一五二二。一八〇九。一九一  
 一。四・三〇三八。三〇六七。三〇六八。五・三三三二  
 訓 二・一六六。一四六  
 をしふたつてゐて(歌) 五・三七七  
 教 一・一三一。二・九九四。一〇三七  
 所教 五・三一〇五  
 教 化(化) 二・一七三。一四二。四・二四二  
 教養 一・六六〇  
 教(ノリ) 二・一三六八。一三七二  
 教言 五・三五八九  
 辭 二・一一四九

訓 二・二四九  
 不順教養 一・六六〇  
 隨 三・八四四  
 曉 二・二七五  
 諭(ナシハヘ) 一・一三一  
 教 五・三五八八  
 所教 一・三六一。五五五  
 教之 四・二七〇  
 教旨 二・一三六八。三・一九一  
 隨 四・二七九  
 所(所痛惜) 四・二七九  
 愛(メツ) 四・二八二  
 悵惜 四・二六四  
 惜 四・二八四  
 生食愛 五・三三七  
 食物(クフモノ) 四・二六四  
 飲食 四・三〇七。五・三八七  
 食 五・三八三。三八六

食 五・三八六  
 食(今本脱食字) 五・三八六  
 尾代(吉備臣...) 四・二四二五  
 をしろのこ(歌) 四・二四九一  
 飲 一・三五八。三七二  
 小隅(田邊...) 三・一七七  
 をそねをすぎ(歌) 五・三五六五  
 小田(山背部...) 四・二四九一  
 雄詰 一・三三〇。二・一〇九七。一〇一。三・一六八〇  
 小龍(忍海造...) 五・三四三三  
 をだて(歌) 三・二四四  
 小楯(伊與來日部...) 四・二四〇。二四六〇。二四九六  
 尾田吾田節之淡郡 三・一八三六  
 小足媛 五・三七六  
 男人(難波吉士...) 五・三五五一  
 老翁(鳥賊) 二・九四七。一〇七七

舅 四・三〇四一。五・三六八  
 叔父 四・三〇五八。三〇六六。五・三三六九  
 越智(地名) 五・三六七五  
 水表 四・三〇八四。五・三三八六  
 をちかたの(歌) 三・一九三四  
 をちかたの(歌) 五・三三四四  
 舅子(人名) 四・二七九  
 懦弱 四・二二二  
 微弱 四・二七二五  
 怯弱 四・二八九三  
 劣弱(ツタナクヨラシ) 五・三三九五  
 怖走(オザニク)を見よ 二・一三九〇  
 遠智娘 五・三四二九。三八〇九  
 小市岡上陵 五・三四一八  
 叔父 四・三〇五六  
 叔父 四・三〇五八  
 條々 二・八七〇

慄然振怖(オザチノノク) 四・二四三五  
 尾津(伊勢) 三・一七二二  
 小墓(高同ニ於小墓) 四・二三八四  
 小槻(難波吉士...) 四・三〇七七  
 尾津濱 三・一七三三  
 小手子(大伴糠手連女) 四・二九〇六  
 男(佐伯連) 五・三五五一  
 少男(鳥等孤) 一・一〇一。一三四  
 夫(ナトク) 二・三三四  
 士 四・二五八一  
 壯 二・一六〇。一三三九。三・一四三三。一五七  
 一。二〇八三。四・二四一。二九二四  
 壯大 四・二五七一。二六八二  
 男身調 五・三三五  
 男以女稱(妹) 四・二五二五  
 男 四・二五七一  
 少男焉 一・一〇一。一三七。一三四。一三九。一四三

少男 一・一三七。一三四。一四三  
 少男乎 一・一四三  
 男女 一・一八五。四・二二五八。五・三九〇八  
 男夫・婦女 五・三七九三  
 男女耦生之神 一・一八五  
 男女之法 五・三八六  
 男女皆呼爲君 二・八五八  
 壯 五・三五〇〇  
 小戸橋之憶原 一・二四〇。二九〇  
 少女(鳥等呼) 五・三三三七  
 少女 一・一〇五  
 幼女 四・二三五三  
 夫婦(ナヒトメ・メサ) 一・一〇五。四・二四三  
 夫婦四支 二七九八。二八一三。五・三三五〇  
 四・二三三二



童女姿 三・一六七  
 美女之暎 三・一八〇九、一八九四  
 少女焉 一・一〇五、一二七、一三四、一三九  
 少女歟 一・一二七、一三四  
 騾 四・三三七九  
 雄 四・三三六四  
 小鳥(土師連…) 四・三三七六  
 跳鬻(其類) 一・六六〇  
 童女君(人名) 四・二五八  
 小梨(吉備臣…) 四・三三六五  
 小麻媛 三・一〇〇一  
 烏那羅(葛城臣…) 四・二八九一  
 雄成(古士…) 四・二九八四  
 乎那利(雄成) 四・二九八四  
 小野 三・一六三三、四・三三三、三三四六  
 小野(チノ) 四・二四八七  
 小野朝臣・毛野 五・三九二九

小野臣(賜朝臣姓) 五・三七五一  
 小野臣・妹子 四・二九七〇、二九七四  
 小野臣・大樹(春日…) 四・三三九三  
 小野皇后 四・二五二二  
 小野榛原 二・一二三九  
 小野王(難波…) 四・二四八七  
 小野稚郎皇女 四・二五八三  
 小根(河内三野縣主…) 四・二四三五  
 小根使主 四・二四〇一  
 小野(チヌ)の條を見るべし 四・三三三〇、三三三三、三三三二、三三三三、三三三四  
 斧 四・三三三〇、三三三三  
 男軍 二・二一四四  
 尾氏磐城別(三尾氏…)を見よ 四・三三三三  
 大夫(マストラナ)(身毛君…) 四・三三三三  
 男子(マストラナ) 一・一〇四  
 男 一・三七二、五〇二

男夫 三・一八四七  
 男 一・五〇二、五・三六四四  
 産 四・三三七九  
 男女 三・一六六六、五・三一五〇  
 子女 四・二六〇九  
 奴(チノヤツコ) 五・三二八六、三二四一  
 奴(チノヤツコメノヤツコ) 五・三二八六、三七〇五  
 尾中 一・五五七、五七五  
 慄(アナナク) 二・二二六六  
 振佈 四・二四三五  
 陽元(チノモト) 一・一二七  
 雄元之處(雄元) 一・一〇五  
 斧 鐵(マサカリ)参照 五・三五六〇  
 雄水門 二・一〇一  
 麻山 五・三三三三  
 奴(ヤツコメノヤツコ) 婢 五・三七〇五

揮斧 四・三三九五  
 姨 二・二一〇八、四・二九六四  
 小葉枝皇子 三・二〇〇一  
 小橋(吾田君…) 二・九九五  
 小橋(地名) 三・三二三五  
 雄柱(ホトリバ) 一・二二二  
 小泊瀬舍人 四・二五六〇  
 小泊瀬造(賜連姓) 五・三七二九  
 小泊瀬造(祖・宿禰臣) 三・三二二一  
 小泊瀬稚鷲天皇 四・二五二九、二五三一  
 尾羽張(劍名) 一・五三三  
 小汀(五十狭々小汀) 一・六五四  
 小汀(可恰小汀) 二・九八二、一〇〇九  
 小林(山春直小林) 五・三五二〇  
 をはやしに(歌) 五・三三四四  
 尾張 三・一七二六、一七三二、五・三三四七、三六三〇、三七五二、三八九一

尾張熱田神宮・神庫本 一・二七  
 小墾田 五・三三三〇、三八一七  
 小墾田家 四・二七五〇  
 小墾田采女 四・二二六〇  
 小墾田臣 四・三〇六六  
 小墾田臣(賜朝臣姓) 五・三七五一  
 小墾田臣・麻呂 五・三七〇五  
 小墾田兵庫(兵庫) 五・三五五三  
 小墾田豊浦 五・三八一八  
 小墾田皇女 四・二八三三  
 小墾田舞 五・三七二四  
 小墾田宮 五・三三二〇、三八九  
 小墾田屯倉 四・二六五一  
 小墾田御世 五・三六六五  
 小墾田兵庫 五・三五五三  
 小墾田・猪手 五・三五三七  
 死(チヘタリ) 三・三二〇一

了時 四・二八九一  
 將及乎 五・三四三七  
 をはりに(歌) 三・一七三二  
 訖 一・五五五、三・一五二五、四・二八七六  
 了 二・七四七  
 尾張氏 三・一七一六  
 尾張大海媛 二・一三三三  
 尾張國 一・五五八、五七〇、四・二六七四、五・三二七九、三三四〇  
 尾張國熱田社 五・三七九〇  
 尾張國年魚市郡・熱田社 三・一七三五  
 尾張國吾湯市村 一・五五七  
 尾張國間敷屯倉 四・二六六〇  
 尾張國司 五・三五一一  
 尾張國司守 五・三五四八、三五九五  
 尾張國屯倉 四・二六七四  
 尾張國山田郡 五・三五六六







節 <small>ヲリ</small>	四・三三四	再拜 <small>ヲロガム</small>	三・一六八一。四・二	地 <small>ヲロチノ</small>	一・五六七
據 <small>ヲルトコロ</small>	二・二四六	頓首 <small>ヲロガム</small>	二四。二四七六。二四八三。二五七六。二七七	韓鉏之劍 <small>カササヒノツルギ</small>	四・三三九
止 <small>トドマル</small>	二・六八六	頓首 <small>ツツシミサロガム</small>	三・一七五八。一八五五	如 <small>ヲロチノ</small>	三・一六三〇
檻 <small>ヲシシマフ</small>	五・三六四〇	類致地 <small>ヲロガム</small>	三・二九七九。五・三六二。三四八一	雄武 <small>ヲラシ</small>	三・一六三〇
寮 <small>ヲシシマフ</small>	五・三六四〇	類致地 <small>チガム</small>	三・一九八五	雄壯 <small>ヲラシ</small>	五・三八八
夫人 <small>ヲリク</small>	四・二七七八。二九一一	頂拜 <small>ヲロガム</small>	四・二八六一	雄拔 <small>ヲラシ</small>	五・三五〇〇
折 <small>ヲル</small>	一・二二六	稽首 <small>ヲロガム</small>	五・三五〇八	雄拔之氣 <small>ヲラシキイキ</small>	二・二六〇
投 <small>ヲリテ</small>	五・三六二	大蛇 <small>ヲロチ</small>	一・五二二。五三〇。五五三。五五五。五六七	雄略之氣 <small>ヲラシキイキ</small>	三・一五七
所居 <small>ヲル</small>	一・五三〇	地 <small>ヲロチ</small>	五七五。三一七。四・二三四九	雄略 <small>ヲラシキコト</small>	二・三三九
居民 <small>ヲルタミ</small>	四・三三三	小蛇 <small>ヲロチ</small>	五七五。五・三八一七	雄斷 <small>ヲラシキダバカリ</small>	四・二五五六
處身疆畔 <small>ヲルトコロノサカヒ</small>	四・二七九六	蛇 <small>ヲロチ</small>	二・二一九。三・一六八七。一七〇一。一九六	雄略 <small>ヲラシキハカリヨト</small>	三・一八五三
斷 <small>ヲレス</small>	五・三三三八。三四〇	地 <small>ヲロチノアシキイキ</small>	一・四・二七四九。二八〇七。二八二一。二九四	雄裝 <small>ヲラシキヨソビ</small>	三・一九九八
をろがみて <small>ヲロガム</small>	四・二九九七	地 <small>ヲロチノアラマサ</small>	四・二七〇五		
拜 <small>ヲロガム</small>	二・二一九。三・一六八七。一七〇一。一九六	毒 <small>ヲロチノアラマサ</small>	三・二八一		
	一・四・二七四九。二八〇七。二八二一。二九四	地 <small>ヲロチノアラマサ</small>	一・五五七		
	四・五・三五三四。三八五五	正 <small>ヲロチノアラマサ</small>			

日本書紀通釋索引終

蓬室集



蓬室集序

信濃國は、山には淺間山・駒が嶽たかく天そそりて四面に仰がれ、河には木曾川・信濃川ながく流れて、南に北に貫き通し、はた諏訪の湖廣くたたへ、杣山林ふかく茂りて、勝れたる國がたなるもしるく、むかし今、雄々しくたけく、世にすぐれたる人々おほく出てこし中に、近き世にして我が國のもの學びもて名をあらはしつるは、蓬室のあるじ飯田武郷大人にこそ。大人が一世の心盡しは、日本書紀の説きあかしにて、通釋七拾卷、全くものし終へたりしを、眞名子たちいそしみて摺卷とし、既に世に現はれたれば、其の學びの力のほどは、こを讀み見る人よく知るべし。さるを歌よみ文かくわざにもすぐれて、をかしくめでたき歌文はたいと多かるをも、こたび摺卷にもすとて、己れに一言をと眞名子たちの請はるるに、ありし世のまじらひの事どもも、更に思ひ出でられて、まづ涙こそとどめあへね。そもそも大人が高く雄々しかりし心ざしは、淺間山・駒が嶽にもよそへつべく、日本紀のちうさく、ものせむと思ひ立ちし心の一すぢを、遂につらぬきとほししは、木曾川・信濃川をひきてもたたへつべし。もとより學びわざは諏訪の海の廣くして、のこし置



ける言の葉も、柚山林のいとしげかるを、いたづらに奥山の埋れ木となさで、斯く世にあ  
らはす事となれるは、眞名子たちの親おもひのいそしさ、またいとめでたしと思ふまを、  
やがてかい識して此のはしづみとはなしぬ。

明治三十六年五月

從四位 本 居 豊 穎

蓬 室 集 短 歌

飯 田 武 郷

新 年 歌

新 年

明け果てて去年に別る、心こそ嬉しきもののはれなりけれ  
汲みさしてあやしとぞ見る若水に知らぬ翁の影の見ゆれば  
立ち返る年の景色はもの皆も人もかはれる世に似ざりけり  
大君の年立ち返ることよみにはみたまのふゆぞ春めきにける  
霞だにまだ立ちあへぬ山の端をいかに尋ねて年は來つらむ  
鐘の音に暫時とちめて寝たれどもやがて明け行く年の初空  
横くもの立ち離れ行く山の端に年のとほそも今やあくらむ  
年立てど春の日かすのとほ山にかけ離れたる花のうへかな  
すめらぎの神をがみます曙に年のひかりや四方に満つらむ  
あらたまる年のはごとふる人の數も賑はふ君が御代かな  
花鳥のいろねはいまだ遠けれど御代の光にあくるとしかな

蓬室集 短歌

まつ竹の露にかやく初日かけ雪ふるとしの色としもなし  
おほ君の御代のうるひを松竹の露に見せても照る初日かな  
きみが代を祈る心の餘りとて、我が身をさへに祝ふ今日かな  
待つものは皆たがひ行く老が身に嬉しく年を今日迎へつる

新年天象

あさ日かけかがやく空に初年の神の御つかひいま降るらし  
ふるとしの名残のこして若水にしばしは浮ぶ朝づく夜かな  
朝がらす啼き立つ今朝の初聲に去年の名残の夢さめにけり  
横雲のわかれしあとに新しき年のはつ日ぞにほひそめたる

新年月

古へは星をとなへし雲のうへに月を残して夜はあけにけり  
ま近くも來にける年を山の端の遠きかたのみ何ながめけむ

新年望山



新年富士

富士のねに豊さかのほる初日こそ東の海のひかりなりけれ

新年雪

うめの花さかぬかしろの雪をしも散らしそめたる年の初空  
木々の上につしき計りを散らしきて花おもはする年の初雪  
あたらしき年のけしきを白たへに造りなしたる庭の雪かな  
初日影のほるを待ちて富士の嶺の雪さへ四方に耀きにけり  
いつしかとまたく心に二年をかけたる今朝のあわ雪ぞ降る

新年宴會の日雪のふりければ

盃のひかりを添へて雲の上に雪をさへこそめぐらしにけれ

新年梅

うぐひすの聲の導べの梅咲きぬ梅は年をやしるべには咲く  
立ちかへる年をこゝろと霞にも雪にもよらぬ梅咲きにけり  
しのぎし霜のみさをを現はして己が年とぞ梅さきにける

新年鶴

新しき年のはつ音をこゝろとき誰が家つ鳥なきはじめけむ  
にはつ鳥あけぬと告ぐる初こゑに花やぎ渡るとしの初ぞら  
岩戸あけし常世の鳥の心地して鳴くこゑ長し年のはつぞら

新年鶴

あらためて年の初めに祈るかなもとより祈る君が代なれど  
珍らしきことほぎならぬ言の葉や千代も變らぬ例ならむ

一月一日に

身にかへてきのふ惜みし大空もかたわれにのみ残る月かな  
をさな子がとりもつ今朝の盃をのみ始めけむ折もありしを  
長閑なるあしたの空に思ふかな何に惜みし去年のこゝろぞ  
あし垣のひとよの隔ていつこえて昨日に似ざる今朝の心ぞ  
横ぐものわかれを見する山の端に今はと年の行くへをぞ知る  
今はとて別れむとする横雲やことしの空のはじめならむ  
手を折りてうひに數ふるあらたまの年の暦の末ぞはるけき  
年月の身にせまりけむ昨日にもかへてのどけき今朝の心か  
大御門まだあけぬまにあけにけりおほうち山の年のはつ空  
ここの重の大内山の朝づく日よにもまちとる影の長閑けさ  
年波のかへるすなはちすみだ川こゝろに浮ぶ花のおもかけ  
吹きさそふ南の風をしるべにて冬木の梅もけさは咲くらむ  
珍らしき節をば添へぬ言の葉に加はる年のかひ無きを知る  
越え果てて願みすれば老の坂ふもとち遠くとしに成りぬる  
手を寒みまだ筆とらぬ初どしに思ひめぐらす言の葉もなし  
いくとせの後にかあかむ年ごと千代のはじめと祝ふ心は

あらたまる年のみそらと仙人も手がひの鶴に今か乗るらむ  
仙人も手飼の鶴やはなつらむのどかに見ゆるとしの初ぞら  
ちとせ經しその老づるの初こゑもはなやぎ渡る年のはつ空

鶯入新年語

こゑ立て、高きにうつる鶯も谷の戸いつるときは知りけり

新年興

うま人に手たつさはりて行くつまの袖もゆたけに渡る初風

新年遠情

大八洲くにはたてに匂ふ日の餘りを受くる四方の初どし

新年有感

梅もみな柳も春をふ、みけりまだ冬ごち我れぞはなれぬ  
七十の昔を今にくらべ見てあらたまる世のとしにおどろく  
いにしへは東やかたをいはひけりけふ九重の春を知らずて

新年所思

たち歸る年の姿にならばなむむかしをいとふ人のこゝろも

新年祝言

新世の年の榮えもふることに照らしそへてぞ見るべかりける  
君が代は年のよごとの多ければいづれを先にまつ奏さまし  
私のいのりは云はじ君が代を祝ひてのみや今日はくらさむ

一月一日曉がた月のいとあかきりければ

照る月のかたぶくなべにとちめけり年のさかひの明方の空

一月一日の夕つかたに

思ひいでて惜む夕べのあやなさを待ちつけてける年の始に

一月一日四方のけしきを見て

奥山の松のしけみをうつしきて年の榮えを見する里かな

一月一日空いと長閑けかりければ

霞だにまだ立ちあへぬ年ながら空にうき立つ我が心かな

一月一日二日三日雨ふりつづきければ

とし立ちて昨日も今日もふる雨は御代のうるひの餘なりけり

大君の恵の露のうるひとて今日ふる雨のしけくもあるかな

緑門と云ふものいと少くなりし年に

つくろひし緑の門はいろ消えて昔にかへる松のこゑかな

麴町に住みけるとしのはじめに

大内の山とほからぬ宿なれば近くぞあふぐ年の榮えを

牛込に移りける年のはじめに

この里は大宮とほみ馬ぐるま音だに立てず年は來にけり

年の始に芝浦を遙に見やりて

よる波の色も霞にうつもれて音さへ立てぬ年のはつかぜ



五十になりける年のはじめに

漕ぎかへす道こそなけれ老の波かけていそぢに船出する身は

五十九になりける年のはじめに

いそぢあまり九の子等に笑はれし昔の人もかくや老いけむ

六十一になりける年のはじめに

たちかへる暦のためししるからば昔の春にまたやあはまし

六十五になりける年のはじめに

六十ぢあまりいつかと思ひし重荷をも今は我が身の上荷をぞつむ

日本書紀通釋七拾巻書き了りたるつぎのとしに

卷々のふみの數さへ七十にみちたる年の始めなりけり

七十になりける年のはじめに

稀ならぬ頼みをかけて生れこし我やはたゞに年を経ぬべき  
まれにきてうましき世にもあひにけりなに七十を老と思はむ  
きもわかき我が身の上の七十はいまだ老とも思はざりけり  
我が身にも思ひはかけぬ七十を老いたるものと人やうとまむ  
いにしへも稀なる御代に生れあひて年の數さへ添ふる嬉しさ

書を讀みはじめて

いつみてもかはらぬ書の文字ながら又讀みそむる年の嬉しさ  
よみさせるしをりをかへて日本紀また新しきころたづねむ

春歌

春從東來

東路にありといふなるもろこしもなほ東より春やたつらむ

春風春水一時來

さそふにはおくれぬものと春風に水の心もうごきそむらむ

青柳のかけをなびけて吹く風に色なき水も春を知るらむ

立春雪

ふる年はまだ遠からぬさかひとて霞のきはも見えぬ春かな

初春月

山の端の雪けの空にほの見えておほろをならふ夕月のかげ

中空に離れてかすむ月見ればなほ山風はさゆるなりけり

初春見鶴

雪きえし松の梢を今朝見れば鶴のつばさにくづもれにけり

早春湖

諏訪のうみのあつき氷は奉る神の御まへのひのためしかも

氷始解

けぬがうへに結び結びし氷面鏡くだけそめては塵も残らず

鷺湖水解

讀みそむる日本書紀の卷々も又あたらしきころをぞ知る

試筆

難波津も何もと思へど年たちていまだ書くべき言の葉ぞなき  
かきながす硯の海の若みづに春のころやまづ浮ぶらむ

とけそめて再び結ぶ諏訪のうみの氷もけさは流れそめたる  
ゆるぐべき色こそ見ゆれ諏訪の湖の水のひまに風や通へる

子日

こむ年のたが子日にかひかるらむ残して歸る野邊の小松は

春霞

櫻田や千代田の上になびきけりかすみをおろす大内のやま

山霞

つゝむにもあまるばかりの山のはを霞の衣たちぞひろけし

おしなべてわれこそをれと山の端を所得がほにたつ霞かな

けふ見ればさかしき山もなかりけり春の霞やたちならしけむ

遠山霞

大空に聳えし雪のしら山もかすみの奥にやはらぎにけり

雪にのみ聳えし山もけふ見ればかすみにねざす小筑波の山

白雪にねざしとどめし遠山も春はかすみの上にたちけり

心あてのかすみの奥や山ならむたなびく色のふか緑なる

名所霞

おほわたの松の葉霞むたぐれに音を深むる志賀のさざなみ

水邊霞

吹きたゆむ風にしばしは残りけり霞をおとす春のやまがは



たぎち行く音もこもりて山川にかすみ流るゝ色のしづけさ

湖邊霞

富士のねの影をひたして諏訪の海の波の底まで霞む春かな

鶯出谷

谷の戸をあけたる儘に出でつれどよを鶯や歸りわづらふ  
谷の戸はおそくいであたる鶯もよの初音にはもれぬなりけり

鶯馴

さとなれぬ聲のうちよりなれにけりわがやどちかき谷の鶯  
かくばかりなれぬとならば鶯はわが宿をしもすみかにはせよ

松間鶯

谷間いでしこゝろならひは鶯の花なき松やすみよかるらむ  
咲けばちる花のなけきを鶯は松にわすれてあらむとすらむ

竹間鶯

うぐひすは巢造る枝やかへつらむ竹の園生の奥になくなり  
羽風にもいまだなびかぬ竹むらにまだこゑわかし園の鶯  
さやかにも鳴きこそわたれ笹の葉の水ふみおとす鶯のこゑ

花間鶯

飛びかけるすがたをさへにおりませて花にあやなす鶯の聲  
鶯はこゑ木かけを渡るらむ花のかぎりに心ひかれて

ふる雪に色をまがへて梅の花さかぬ枝をも手折りつるかな

霞中梅

鶯の飛びわけいぬるあと見ればかすみに残る梅のはなぞの

社頭梅

常よりもなほ引きはへよみしめ繩こゆらむ梅の香さへをしきに  
ちぎ高きあたりまでこそ匂ふらめ雲井をしのぐ梅のほつ枝に

庭上梅

庭にたつあきてこぶすま動かして夢路にかをる軒の梅が枝

窓前梅

とぢられし雪のふる枝を北窓におもかけかへて匂ふ梅が香  
文好む窓とや人のおもふらむとき知りがほに梅咲きにけり  
窓の中に梅の匂ひを集めおきて訪ひ来る人に香をあかせてむ  
窓にのみたえず吹き入る梅が香をあたり嬉しき風とこそみれ

公園梅

梅の花あるじさだめぬ園にきて心のかぎり香をぞしめつる

岡梅

かた岡の山にかたよる梅の花よそにしられぬ香をや集めし

黄なる梅を

妹に似る色のゆかりの梅の花いや懐かしき香さへそひつゝ

まとるせし人の歸れる花かけをおのれしめても鶯のなく

さく花のおもてぶせにはなさじとや聲をつくるふ園の鶯

鶯はおのがねぐらやたどるらむ散りかふ花の雪とつもれば

春鶯留客

鶯をさそひにこそは來つれども立ち歸られぬ山かけのいほ

若菜

翁草若菜の數に入らませば出でつむ身もうれしからまし

野若菜

なれなれし野末は雪にうつもれて思はぬ方の若菜をぞつむ  
つみなれし方をするべとあされどもまだ雪深し野への若菜は

故郷若菜

はこ草むかしはありしふる郷にわが身ぞいまは翁草なる  
もろともに摘みし思へばはこ草隔てし垣の若菜なりけり  
はこ草昔はありし故郷にそのよにも似ぬわか菜をぞつむ

春雪

あさみどり春の霞のうすものをそめかへしても降れる雪かな

瀧邊春雪

水上の水もゆるぐ瀧つせにくづれておつる春のあはゆき

雪中梅

柳經年

今年また芽をはる風に靡きけり切りはらはれし野路のを柳  
來しかたも遠つあふみの川柳いく春刈りし枝にかあるらむ

柳風

靡けども風に亂れぬ青柳はたてたるすぢのあればなりけり

水邊柳

沈むともうかぶともなく行く水を姿になせるあを柳の糸  
ねたしとや下行く水も思ふらむ影はながさね青柳のいと  
青柳のかげのいとにや掃ふらむちりもよどまぬ春の川水

野春草

置く露もおもしろき野の古草に色こそまじれ春のにひぐさ

故郷春月

なごりなき人の心をふるさとにかすめて見する春の夜の月

春雨

山鳩のこゑくゞもれる朝ほらけかすみの底や雨になりけむ

春雨ひねもすふりければ

鶯もいかに羽袖やしほるらむ長き日とほしはる雨ぞふる

名所春雨

うへの山梢は雨になりぬらむあや織りそむるしのばすの池



歸雁

常世べに歸りし後ぞ思ひ出でむ雁のうき世はすみうかりきと

夕歸雁

かへる雁この夕かけや急ぐらむ山もと霞みあめになりぬる  
さそひこし友はおくれて夕ぐれの霞にまよふ雁のひとつら

雨中歸雁

涙にはからぬものとてかへる雁霞がくれにあめをよくくらむ  
ふる雨に越路の花や急ぐらむ濡れ濡れかへる春のかりがね

遠歸雁

近きだにあかぬ雲路をかりがねの遠く歸るは悲しかりけり

牧春駒

春淺み雪間すくなき若草にまだつながれぬまきのあらごま

岡雉

岡越えの松の下道ゆきさしておどろく袖にきよすたつなり

野雉

昨日まで雪間なかりしみ狩野はきよすの聲に埋もれにけり

待花

たちつゝく雲より雲をしるべにて山また山の花を待つかな

山家花運

たづね入る山かけならで靜なるこゝろの奥の花をみるかな  
朝花  
うらうらと朝日にとくる露みれば花の姿のかるけなるかな  
朝日かけまちとる花の露のまの色こそ色のさかりなりけれ  
渡り守いまだわたらぬ朝川の堤のさくら見てかへりこむ

山花

をりをりは雲路わけ行く心地してわが身をたどる花の中山

山里の貧しき家に櫻咲きたり

里をさもしもとをおきて見にこなむわぎへの櫻今盛りなり

名所花

芳野山まだ見ぬ花と分け入れれば去年も來りし木かけなりけり  
わけ入らむよしの、花の果なきにうかれ心もひかれてぞ行く  
思ひてし花をばおきて今日も又あらぬ道ふむよしの、山

月前花

照る月の影しづかなる花の上はよのまの風も厭はざりけり

花如雪

咲く花のかけにるながらともすれば忘れて拂ふ袖の雪かな

霞中花

この花のさくやひめこの光をもとほす霞のみけしなりけり

花遅きことしの春の山まつりうぐひすのみや手向なるらむ

花

のどかにも見むと思ひしさくら花風に心のちらぬ日ぞなき  
日の本のことばの花に匂はずば櫻のめでもかひなからまし  
ありありて厭はるゝよにをしまれてちる櫻こそ羨しけれ  
日の本のもとの定めて咲きそめし花の心ぞうれしかりける  
しろたへの雪をいたゞく花陰にふゞきにも似ぬ春風ぞ吹く

始見花

今年またあくがれぬべき隅田川けふこそ花の始なりけり

朝見花

ちりばかり露をこぼして朝庭にあらひ清めし花のいろかな  
けさ見ればちりも跡なき白露に香さへしめれる花の色かな

靜見花

くれそむる松さへうれし大方の花見る人はかへる木かけに  
いざさらば花の木かけを我れ占めむ誘ひつれても人の歸れる  
咲く花にところゆづりて岩かけの苔のむしろに花を見るかな  
しづかなる心と花の色や見むつひに散らさぬ風しなければ  
朝露のこぼるゝ音に夢さめてねざめ靜に花を見るかな  
ひとひらも風になびかぬ庭櫻ちりのうきよの花とこそ見ね

雨中花

しづかなるものにもさわぐ心かな色さりやすき花のあま夜に

花満山

山わけてたづねむ花と思ひしを花こそ山はうづみはてけれ  
おほしけむ神のいさをのあらはれて花咲き續く大和しま山

花映水

かけの上にかけをかさねて水底の花の梢も八重になりぬる

窓前花

朝日影つねより匂ふ山窓は花のひかりのそはるなりけり

社頭花

ちはやぶる神の心のあら垣も咲きしづめたる花のいろかな  
神垣の花はゆふかも白妙にさかきのえだを咲きかくしけり

松間花

あらしには心のさわぐ松原をはなれて花は見るべかりけり  
朝な朝な山はさくらになりぬるをいつまで松の立ち残らむ

花春友

うつせみのよの友ならぬ嬉しさは時を違ふる花なかりけり  
病癒えける年花を見て  
白髪をなになけきけむ命あればことしの春も花をかざしつ



やどの櫻を見て

思ふともよのまの風をいかにせむめがれせぬまも散る櫻かな  
庭櫻あくまで見むとわがしめし心もかぜにまかせざりけり  
我が物としめたるやどの櫻花あくまでぞ見るあした夕べに

上野の花見にまかりて

言の葉の上野とのみや思ふらむまだ見ぬ人の花のよそめは  
老の波よるをも知らでしのぼすの汀の花にあまたなれぬる  
白雲のおりるる山のうへの山雪をはこばぬかぜなかりけり  
分け行けばめさへあやなる上野山道こそなけれ雪に埋れて

隅田川にて花を見て

うかれ行く心も花につながれてあゆみとゞまる牛島のさと  
幾春の花のみ雪かつもらむ年たけりなしらひけの森  
皆人の行きみめぐりのちまたには花の幣にも神やあくらむ

小金井の花見にまかりて

けふいくか流し流して散る花のかずも奥あるこがね井の水  
一筋のながれをとほす小金井に千本の花の影うつすらむ

對月惜花

月だにもまだ暮れ残る山の端にむなく消えし花のしら雲

落花

花ごとにそへし心も山ざくら消えてあとなきかけの雪かな

けふ見れば雲の上野は名のみして櫻はつちに散りしきにけり  
青柳のたての糸のみ残りけりほころびそめし花のにしきは

花の散るを見て

散る花をさそひすてける春風に心はなほもたぐひてぞゆく  
またせつる日数をさへにかこつかな餘りに花の散るを急げば  
吹く風のおわたゞしさにあくがれて花も心も亂れはてつゝ

野落花

あはせやる鷹の羽風に花散りてしらふにつもる野べの雪かな

春日遅

永き日をいかでか空につなぎけむくるともみえぬ春の遊絲

菫

手につみて何か歸らむ幾たびも見にきてましを野べの菫は

山躑躅

つゝじ咲く色の夕日にはかられて俄にくるゝ山のしたみち

水邊躑躅

夜ならばうつる篝と見えなまし鶉のすむ磯の丹つゝじの花

山吹

結ぶ手のしづくもかをる山の井に影もにこらぬ山吹の花

橋邊藤

さにぬりの橋をも染めて紫のいろまだなる藤なみのはな  
橋くちて人は渡らぬ谷川に藤のはなこそ咲きかゝりけれ

暮春月

彌生山有明の月の影をだにとぢめもあへず散るさくらかな

浦暮春

めもはるに春の暮れ行く跡見えて蘆のみ茂る難波江の浦

閏三月三十日

くれて行く春いま更に惜しまめや花に別れし心おもへば

春夕

咲く花を四方の山べに残しおきて霞きえゆく春のゆふぐれ

都春

たとふべきものこそなけれ花鳥の色にも香にもあまる都は

春鳥

千歳へしその老鶴ものどかなる春の日影にうかれてや舞ふ

春旅

花の香をおくり迎へてくろがねの道ゆく旅も春はのどけし

春述懐

花咲けば風もや吹くとこれのみぞ長閑なる世の物思ひなる



夏歌

首夏風

ぬぎかへし夏の衣に通ひ来て風こそ身には馴れはじめけれ

首夏藤

ゆく春を松の梢にひきとめて夏にかけたる藤なみのはな

早夏鶯

谷の戸やおそくいでけむ鶯のこゑも若葉のかけに鳴くなり

餘花

おしなべて咲きたる花のたゞ一木残るは難き世にこそありけれ

新樹

けふ見ればいづこの山も一重山たゞひとむらの緑なりけり

雨中新樹

さらでも若葉小暗き夏かけをかきくらしたる雨の色かな

咲く花にまがひし雲も色けちて青葉は雨にゆづりはてけり

桃櫻きのふの春のおもかけを洗ひすてたる雨のいろかな

卯花

卯の花の匂ふが上に月照れば一重も八重のこゝちこそすれ

雲はらふ山した風も卯の花の月のくまをばみがさざりけり

卯花隠道

ふみ分けし跡だに見えぬ卯の花の雪こそ道は埋みはてけれ

葵

いかならむ何れの時にあふひ草二葉の千枝に榮え行くらむ

新竹

新皮のおつるをみれば若竹のよを知りそむるはじめなるらむ

霜雪のふるよまだ見ぬ若竹は身のうきふしも知らぬ顔なる

時鳥

親の巢を今やはなる、時鳥おのが名のりをはつこゑにして

疑ひしその人傳もほとゝぎすはれて今朝こそ聞き定めけれ

ねたきこと如何にせましと思ひ寐の枕とよもす時鳥かな

聞きはやす人はまことあらぬ世に時をたがへぬ時鳥かな

尋時鳥

筑波山尋ねくらしてほとゝぎす今年はなかね年とさだめむ

待時鳥

待つ物とならばざりせば時鳥ぬる夜も一夜あらましもものを

まつものとならば誰がならはして時鳥つれなき心つけはじめけむ

筑波山にて時鳥を待つ

またで聞く山とおもひし時鳥なれつれなきは初音なりけり

竹ちかきよどこねならぬこのごろも朝いおどろく時鳥かな  
あさ風もつゆはこぼさぬ木のもとに聲おとし行く時鳥かな

栗田寛のもとより時鳥きゝつと云ひおこせる返事に

時鳥きゝつと聞くは嬉しくてわれにつらきも思はざりけり

なべてよに聞かぬとならば時鳥啼かぬになしてあらまし物を

古寺時鳥

ほとゝぎす聲たむけ行く古寺の軒端かたぶく月の影かな

時鳥歸山

里馴れしものとためめて時鳥かへる山にはなにいそぐらむ

雨中橋

橘の玉こきみだし降る雨にぬく手いとなくくらすころかな

つれづれの雨のまぎれに昨日今日たまぬきくらすのきの橘

早苗

とりどりに急ぐを見れば村君がおきてし早苗時すぎぬめり

くれぬとも今日は残らむ千町田にそはる墾田を急ぐ早苗は

水邊菖蒲

根を絶えて生ふる沼江の菖蒲草たが引き捨し名残なるらむ

節後菖蒲

中々に引きもたらされし菖蒲こそ根長き世をも経ぬべかりけれ

人づてに聞くだにうれし時鳥啼かぬ年かと弱るこゝろは

初時鳥

我がための初音と思はむ時鳥なべてのよには聲は洩らしそ  
聞きつとも人の語らぬ時鳥こよひやよには初音なるらむ  
待ちてだに聞かむと思ひし時鳥おほはぬ夜半のいまのはつ聲  
うつゝとは思ひながらも時鳥あけてぞ夜半の初音さだめむ  
人傳のねたさわすれてほとゝぎす初音にとくる我が心かな

和田峠にて時鳥を聞きて

一聲を聞かむと思ひし時鳥うれしく耳にひまなかりけり

夏さむき和田のたむけの時鳥まだ啼かむとも思はざりしに

朝時鳥



五月雨

日にそへて梅もつひゆる五月雨に人の心やうみわたるらむ  
ほの見てしその三日月の大空も望の夜すぐるさみだれの雨  
五月雨は日數ふるやのいたしとみしとどに濡れぬ床も席も  
行路五月雨

けふいくか雲をしるべに越えつらむ山また山の五月雨の空  
ひきかへす道も水層みかきやまさるらむ我が行く川の五月雨の頃  
五月雨はわが行くかたの道もなし水なし川も波たかくして  
さみだれは水なし川も波たちて我が行く山は雲ぞとちたる  
川五月雨

湖五月雨

かみや川みな薄墨と見ゆるかな降る五月雨にうは濁りして  
さみだれに諏訪の海づら水まして心のかぎり行く小舟かな  
螢

明けはて、木の間に消ゆる影までも螢は星にかはらざりけり  
玉と散る光やめでむ飛ぶ螢までにあつむるさかしらはせで  
螢飛ぶ道さまたけの一つ松すがりて行くもおもしろきかな

閑庭螢

人知れぬひかりや庭にあつむらむふみを友なるやどの螢は

夏月易明

鳥のねも待たで明け行く天の戸は月のさすまもあらぬ也けり  
河夏月

湖邊夏月

すみだ川かすみの底に見し月も波にうかべる影の涼しさ  
月はまだ高しま山に残れどもよなかの沖に明るみじか夜  
照る月の流れて早き夏の夜は諏訪の渡りもみじかかりけり

浦夏月

海士が刈る波の玉藻のふしの間もやどる程なき夏の夜の月  
月清み浦わの海士がほす髪に霜置きまがふかけの涼しさ

樹蔭夏月

をりをりは曇る月かと茂りあふ若葉の蔭をはなれてぞ見る  
大空に月の光はみちながらわか葉のひまをたづねてやすむ

雨後月

夕立のおき残したる露の上にひかりをそふる月のすすしさ  
もりかはる月を見れば夕立のこすゑのつゆに光そへけり

雲間夏月

中空に光をさむる月みればつゝみし雲もかひなかりけり  
時鳥こゑをかけたる雲間より月のかけこそもりはじめけれ

水邊螢

流れ行く田川の水をちこちに光をまきて飛ぶほたるかな  
ながれゆく螢のかけもくもでて水行く川の末ぞしらるゝ  
川上はひとつ光に流れきて末はくもでに飛ぶほたるかな  
うき草にすがる螢をかけと見てねたくも水を結びけるかな  
名所螢

ものゝふがみつく屍のたまちりて宇治の川瀬に飛ぶ螢かも  
あやせ川ほたるのかげのさゝらがた夜の錦や織り出すらむ  
大井川くだす鶺鴒をとるかぢに散りくる露は螢なりけり  
螢火秋近

水鶏

ねたしとや来ては水鶏の叩くらむ月を入れたる閨の板戸を  
あまのとは叩く水鶏に明けぬるを知らぬ顔にも残る月かな  
夏の夜のしもを氷にまがはせて月をもたゝく水鶏ならむ  
明けやすき夜半とも知らで叩くらむ月すむ門に水鶏なくなり  
泊水鶏

水鶏啼くあたりと知らで湊江にねたくも戩か河を立て、ける哉  
おどろきし水鶏の聲もなきそめて更け行く夜半の船の静けさ

旅夏月

我もまた雲のいづこにやどるらむ月に越え行く夏の山のは  
撫子

おく露にかたへは伏してそで垣をよすがと匂ふ撫子の花  
あまりにも露の光にかざられてところせけなる撫子のはな  
撫子を繕ひたてゝわがをれば露やねよけに置かむとすらむ  
夏草

一むらは刈り残されし跡ならむきはこそ見ゆれ野邊の夏草

風前夏草  
夏草はあまりに茂くなりはて、風のちからもよわる頃かな  
深夜蚊遣火

妹とわがとけてぬる夜と知らざらむ煙ふすぶる宿の蚊遣火  
山 蟬  
鳴く蟬の聲の時雨をおとしきて瀧のよどみもまさる山かな  
おろしくる嵐と思ひし夏山は蟬のとよみのゆするなりけり

林間蟬  
はれまなき雲の林はなく蟬の聲のしぐれをさそふなりけり  
入日さすかた山林くれそめてなけばは蟬もなきさしにけり

風前蓮



吹く風やいづこの露をもてくらむまなくこほる、池の蓮に

夕顔

一夜ねてかへらむものを夕顔の花のあるじも知らぬ宿かな

垣夕顔

内も外もわかぬ垣ねのたそがれに露のみ匂ふ夕顔のはな

夏菊

露の色は秋の光にかはらねど綿きすべくもあらぬしら菊

夏の夜の霜にほへる菊の花折らばや折らむ秋にまがへて

閨扇

吹く風のこもるもあやしわれならでかよはぬ妹が閨の扇に

氷をはむ

うたゝねもうちとけがたき夏の日の暑さしのぐは氷なりけり

夕立

よもやまの雲を集めてこの里の森をかぎり夕立のふる

鳴神のおとをなゝめにおとしきて雲の峰より夕立のふる

奥山の雪のくだけやはこびけむまじるもすすし夕立のあめ

市夕立

目にあまる雲をさそひて夕立の雨ふりいだすすぐろくの市

浦夕立

なにはがた神のうけひく夕しほに心涼しきみそぎをぞする

秋隔一夜

涼しさはかねて行きかふあし垣の一よにさはる秋の色かな

夏瀧

山祇のひとりしめたる涼しさをよそに散らしておとす瀧かな

夏山

峰も尾もたえだえ消えて六月を待つばかりなる富士の白雪

立ちのほる雲さへ染めて夏山は緑のほかのいろもなきかな

夏人事

賤の女がかへる蠶のいとなきに眠るその間も寝られざるらむ

うちわたす浦わやかぎり夕立の雲のひまより沖の鳥見ゆ

けふもまた離れ小島をかぎりにて浦まを傳ふ夕立のあめ

おろしきて磯もとゆるする夕立にふらぬ浦までさわぐ波かな

納涼

二國にわたせる橋を歩き歸りわたるはわれと風となりけり

日の光いとひし方にはしるして思はず月にうたゝねぞする

この頃のあさけのすすみ折りもよし蓮咲く池に月も残りて

樹陰納涼

吹く風のやどりと知らで暑き日の影は木の間をさし覗くらむ

舟納涼

涼しさを船にのせ行く心地して追ひ手にうくる利根の川風

午睡

今日もまたうまいの時となりけりやかか異の風ぞ涼しき

夏風聲

吹きわたる風はよぎりて高殿のいよすに残る音のすすしさ

夏祓

みそぎする川瀬の波の白にぎで齋杖にかけて手向けつる哉

祓へつる罪はとまらぬ川の瀬にやがて秋こそ淀みそめけれ

名所夏祓



秋歌

立秋

草木には今朝ふれそめし風なれど空には早く秋ぞ立ちける  
わが宿にけさおとつれし初風は何處の秋をさそひきつらむ  
行路立秋

初秋月

越えはて、あはむと思ひし白河の關のこなたに秋風ぞ吹く  
軒にあたる桐の一葉のひま見えて月の影こそおち始めけれ  
秋秋露

新秋雨

いつの間に重る許りは置きつらむこほれそめたる草の葉の露  
雲の峰くづしそめても降る雨に暑さを流すおとのすすしき  
残暑

朝顔

秋風のひまなくかよふ大空をいかにしのぎて残る暑さぞ  
夕かけにふゝめる花は朝がほの朝さくよりも楽しかりけり  
萩  
おく露もひるのにしきの色はえて玉しく庭に咲ける秋はぎ

朝蟲

かたぶきし影のなごりと月草のあしたの露に蟲のなくらむ  
朝霧のはれまをこむる草村にとぢめむとする蟲のこゑかな  
水邊蟲  
分け入ればいつしか絶えてにけ水のそこと知られぬ蟲の聲哉

野外蟲

おきあまる露をし見ればなく蟲の涙はつきぬ秋の野邊かな  
おく露のひまなき野邊も夕されば蟲のなく音に埋れにけり  
蟲聲近枕  
もの思ふわがうたゝねの手枕に人まつ蟲のこゑかよふなり  
手枕になびきし髪のかねをもちみだりたる蟲の聲かな  
蟲聲入琴

月前鹿

おく露のたまのをすけて調ぶらむことぢに通ふ蟲の聲かな  
なく鹿も忘れて夢やあはすらむ霜おきまがふ野邊の月夜に  
田家聞鹿

秋田

吹き渡る山田のおもの秋風に鹿のなくねもすぐる夜半かな  
守りあかす山田の稻のつゆけさもいつ乾くべき民の衣ぞ

萩露

花は露つゆは花をやかこつらむ風にこほる、萩のにしきを  
玉しきて誰を待つともなきやどの垣根をみかく萩のしら露  
手もふれじ庭も清めじ玉と見て拾ふ真萩の露にしあらねば  
風ふけば露も匂ひもこほれあひて萩は今こそ盛りなりけれ  
風を待つ露のさかりとなりしより小萩のうへぞ心おかる、  
閑庭萩

竹露

風ふけば露の玉萩うちなびきこほる、音もしるき宿かな  
おひ茂る千尋の竹の枝なれば秋のよながき露もおくらし  
秋風動簾  
玉すだれゆらがしそむる夕風に袖の露こそ散りはじめけれ  
田家秋風

野分

穂にいづる稻葉の末をうごかして夕日をわたる小田の秋風  
野分せし畑のおもてを今朝みれば瓜を枕にみなふしにけり  
破られし夢の名残をけさ見れば風に亂る、庭のばせをば  
夕蟲  
夕かけにのりて歸ればくつわ蟲馬追ひ蟲ぞさきはおひける

秋夜長

みし夢のあとを尋ねて思ひ寝のまた寝に結ぶ秋の夜ながさ  
駒迎  
かひがねになれし心もたどるらむ雲居にのほる牧のくる駒  
月の歌よみける中に

待月

あざむかぬ山の心をたのみにて月まつ夜半ぞ嬉しかりける  
十五夜の月を見てよめる歌の中に  
神代より幾その人の見さしけむ月はかはらぬ秋のもなかを  
月見つゝ遠き千里のほかまでも心のかけるもちの夜のそら  
今宵いかに姨捨山の月かすむこゝにもくまのあらぬ望の夜  
波あれし浦もなきて今宵こそえぞが千島も月は照るらし  
あまた見し望の月夜をあはせても今年計りはいまだなかりき



たぐひなき月のためしとこの夜半を誰も心にしるしおくらし

この里の雨をおくりし山陰にうらやみぬべき夜半の月かな

明治三十一年十五夜くもりければ

月前松風

思ふことたがひたかひて望の夜の月の影さへ見えぬ宿かな

照る月にをりをりくまと見ゆるかなふる葉を拂ふ軒の松風

更けなばと思ふたのみもありてなき月に限なす夕ぐれの雲

鳴く蟲の聲をちらして吹く風に月ぞみだる、野邊のつゆ原

をりしもふくろふの鳴きければ

深夜月

ふくろふの聲の恨もはれぬ夜の月はいづこの限にてるらむ

更くる夜の月も軒端にめぐり来て夢路さやかに通ふ空かな

明月如畫

深更月

をりをりは晝にまがへてもものへさへ行かむと思ふ月の影かな

あすの宵またもすむべき松陰と契り置きてや月は明けぬる

狂雲妬佳月

松間月

ねたしとてつひにかくさむ月なれや思へば雲は愚なりけり

空とほきものと思ひし月影も松の木の間のもとなりぬる

月のあかき夜

海邊月

これ一つかけたることの見えぬかな雲なき空の月の景色は

北の海や千島の沖にすめる月神代ながらの影にぞあるらし

月のいとあかきりける夜三本木の樓にて

社頭月

月清みあはたの奥の山科の山のくまさへ見ゆる夜半かな

照る月を波の底にや探るらむよるさへ出で、海士のかづくは

月前雲

海士の子がいぶきの霧やおほふらむ暫し限ある波の上の月

こゝろなき雲も心のありがほに月のあたりは離れ行くらむ

あさるべき貝をばおきて波の上に暫しとあまも月や見るらむ

雨後月

ちはやふる神のやしろの里なれば鏡の山に月も照るらむ

大空も心のかよふ道しあれば月をともにてとしはへにけり

閑居月

對月憶昔

さもこそは影かくしたる宿ならめ月にも限のある夜なりけり

月見つゝ知らまほしきは神の代の瑞穂の秋の最中なりけり

閑庭月

初雁

照る月を待ち出づるほかは友もなしこほろぎすだく庭の叢

おほつかな誰が言つてに渡りけむうはの空なるはつ雁の聲

園中歩月

雲間雁

見し宵の影やいかにと松陰にまた立ちかへり月を見るかな

天雲のたえまをかけて渡るらむ聲をつらぬる雁のひとむら

花薄なびくかたにと立ちよれば松の木かけの月ぞこひしき

浦霧

たちかへり同じ所にめぐり来てまた松かけの月を見るかな

浦近くはてにし船を忘れては霧のうみべになほまどひつゝ

月見つゝかなた此方とめぐれども松の樹陰は離れざりけり

浦浪の音を残してかくしけり夜霧やいくへ海人のいざり火

名所月

たちこめし霧の海べを浦松の絶え間とのみも眺めけるかな

老が身にかむりき山は願はねど月にはしのぶさらしなの里

程もなく暮れ行く秋の日ざらしを月夜にかへて賤はうつらむ

ふみわたる千曲の川の月清みさゝれも玉と見ゆる夜半かな

夜掃衣

ひかりをば波にながして玉川の水底ふかくしづむつきかな

老をせく花としきくの色ならば頭のゆきにまがはずもがな

月爲秋友

菊

いくよへて今宵の月に老いぬらむさてしもこりぬわが心かな

世の人のつくる巧みもしら菊を垣根に植ゑて我は見るかな

七十とせ馴れ見し月よまひはせむまたこむ秋の友と契れば

菊露

月爲友

さらでしも咲きこほれたる花の上に亂しておける菊の白露

栽菊



うゑたて、花より先と知らぬ身も菊故にこそ秋はまたるれ

禁中菊

くもりなきくもるの庭の菊の花つらなる星の光とぞみる

菊盛久

今よりの花なき後の月日をもきくにあつめて咲き匂ふらむ

暮秋菊

咲きそめし日かすの上に霜をさへ置きかさねたる白菊の花

紅葉

露霜にぬるでの紅葉ほさぬまもくちは勝らで色ぞまされる

山家紅葉

山松にこもれる宿と人や見むかけの紅葉をよそに知らねば

ぬしやたれ問へども云はで紅葉ばにかき籠りたる山の栖家は

おほかたの秋をかぎりと見る人は我が山里の紅葉たづねよ

社頭紅葉

山姫の織れるもみぢのから錦さながら神のみけしなるらむ

池邊紅葉

小車のあや織りかくる池水にさらすにしきは紅葉なりけり

山松の青地にまじるから錦さらすと見ゆる池の面かな

折紅葉

ゆるされて手折らぬ枝の咎めにはかざす紅葉に顔もこそてれ

上野の紅葉を

さもこそは日かけに近き山ならめ雲の上野にてる紅葉かな

瀧の川の紅葉を

年ごとにながす紅葉のから錦水の底にはなほのこるらむ

瀧の川の紅葉見にまかりけるに雨のふりければ

風もなく波もよどみて瀧の川紅葉のかけぞあめしづかなる

降る雨のしづくおちそふ瀧川は紅葉の色ふかさをぞます

みもすそ川にて紅葉のかげのうつれるを見て

少女子が渡るよそひと見ゆるかな御裳瀧川にうつるもみぢは

暮秋

何方ぞ秋のくれ行く道も見むちりかひくもる木々の落葉に

ゆく秋の道妨けとなりもせば散るもみぢ葉も嬉しからまし

くれて行く秋も暫しはたどらまし道妨けにもみぢ散るころ

空の海に散りて消え行くもみぢ葉や秋の湊のとまりなるらむ

惜秋

いかなれば惜むにつけて忍ぶらむ慰めかねし秋の夕べを

秋山

雲の峰くづれし秋の大空にそびえてのこる富士のしばやま

きのめ山雪には踏みし梢をも秋はもみぢのかけをこそ行け

山家秋

都人しらぬ紅葉のぬさ向けて我が山まつり今日はつかへむ

淋しさの四方に餘れる山里は立ちいでむそらもあらぬ宿かな

いかにしてとり集めけむ哀ぞと問はましものを秋の山里

山家秋夕

いざゝらむ山路くだりて袖ほさむ涙ひま無き秋の夕ぐれ

何處かは淋しからざる山邊ぞと思ひなしてもあきの夕暮

野外秋望

あはれをば四方に残して夕日影野末の空に暮れはてにけり

秋鳥

今更に何をうづらのかこつらむ己れ鳴きてぞ野をばふるしゝ

鳴のなく聲あわただしおのがすむ林の紅葉人や折りけむ

風の宮の杜

紅葉ちる風の宮居の夕ぐれに二こゑ三こゑ猿さけぶなり



冬歌

初冬

まだきよりならしもあへず木枯の俄にさむき冬は來にけり

初冬月

かけかくす梢はなれてなか空の落葉にくもる冬の夜のつき

時雨

おのれ染めおのれ散らしてもみぢ葉を心の儘になす時雨かな

禁中時雨

大宮の前わたりする村しぐれおとだにたてず過ぎも行くかな

夕時雨

村雲の薄きかたより夕月の行方は見えて降るしぐれかな

夕けたく烟も雨となりにけりしぐれて暮るゝ冬のならひに

月前時雨

一村のしぐれの雲にいざなひて月をも風はほこび來にけり

峰時雨

まきあぐる風にきほひて夕しぐれなゝめにかゝる葛城の山

谷時雨

風早みよもの高嶺のむら雲を谷におろして降るしぐれかな

夕落葉

夕月の影さへほそき窓のとに柳のおちば散りみだれつゝ

月前落葉

月清みさえゆく影の霜の上に數あらはれて散る木の葉かな

山落葉

いくばくの梢を風はさそふらむ山かきくもりふる落葉かな

谷落葉

なかなかにつもる落葉の深ければ淵もあせ行く谷川の水

川落葉

うき織の錦と見えてもみぢ葉をかさねかけたる山川の水

橋落葉

橋柱くちしあたりもうづもれて落葉が底はあやふけもなし

初霜のおきたるあした

朝日影てらすかたより消えそめて跡なき霜に匂ふもみぢ葉

野霜

紫は枯れてあとなき武藏野に霜こそ色を奪ひはてけれ

篠霜

いとどしく袖こそやれめ小笹原身をきるばかり霜のさゆるに

山家霜

浦時雨

積みそふるあし荷の上に時雨をも運びて歸るなには江の浦

杜時雨

下草も落葉もともに朽ちぬめりまなくしぐるゝ大荒木の杜

關時雨

浮雲のかならずよきぬ道なれやけふも時雨るゝ逢坂の關

閨時雨

さらでもつれなき閨のひまとちてよを残したる村時雨かな

落葉

さそふにはまかせぬものと山風にみを翻し散るおち葉かな

かけ高みよそにのみ見し紅葉ばも落ちて後こそ拾はれにけれ

いづこまであがる落葉の末ならむさはるものなき空の限りを

こがらしは葉守の神の心をもいかに亂して吹きさそふらむ

風前落葉

ちりぢりに亂れもあへぬもみぢ葉はさそふ嵐の風早みなり

落葉隨風

この本を秋のとまりのもみぢ葉も遂には風にさそはれにけり

朝落葉

あさなあさな清むる霜の色ならで拂ふ人なし庭の落葉は

朝霜におきかさねたる夕ごりのかわくひまなきみ山べの里

霜夜鶴

子を思ふ心のやみはさゆる夜の霜にもはれぬあしたづの聲

氷始結

あさ手あらふ笥の水の薄氷とけて寐ぬまにむすびそめけむ

神無月冬にいらいたつさかひとて一重みせける今朝のうすらひ

瀧水

吹きおろすあらしの外は音もなし氷をかくるみねの瀧つせ

吹く風に氷をかくる瀧つせはさらしすてたる布かとぞ見る

田水

稲むしろかりし山田をけさ見れば水をしきて冬は來にけり

岡寒草

岡越えのたが手すさびに結ばれて枯れにし尾花今も亂れぬ

庭寒草

たれ人を招きさしけむ吹く風に折られし儘の庭のをすゝき

池寒蘆

枯蘆は根さへあらはになりにけり池の下樋の水あせしより

湊寒蘆

湊蘆にまじれる草も枯れ臥してまばらにたてる色の寒けさ



柏霰

ならかしは枯れにし枝は廣葉にもつゝみかねたる玉霰かな

濱千鳥

夕闇にあさりかねても鳴く千鳥しらゝの濱の名をやたどれる

河千鳥

一むれはよる満つしほに上りけむ河邊の千鳥聲のすくなき

池水鳥

漕ぎかへす小船に馴れていくたびか嶋めぐりする池の水鳥

いづかたもおのづまなれや池二つ通ふをし鳥足もやすめぬ

河水鳥

もがみ川いかなる瀬々をかぎりにて上れば下る水鳥のこゑ

水鳥馴筏

いづこまでなれ行く鳥ぞ大堰川くだす筏に身をも流して

網代

明けはて、波に消え行く影みれば月は網代にとまらざりけり

夜網代

年をへてよそめはなれし網代守よかはの波やいかに寒けき

雪のうたよみける中に

都にも木々の葉しらむはつ雪は山里いかに降らむとすらむ

濱雪

はま風につもる眞砂の山をしも一重そふるは雪にざりける

島雪

越えもあへず波はかへりて島山の松に残るは雪にざりける

湖上雪

ふる雪は玉の散りしく心地してかゞみをおほふ諏訪の湖

里雪

清めすと里のうなるが手すさびに散らすもあたら今朝の初雪

閑居雪

中々に友まつ雪のふるころぞ人めはかるゝよもぎふのやど

都雪

山こそは都は雨とおもひねのあした嬉しくつもるゆきかな

古寺雪

としへたる佛のとばり風さえて雪あらはなる野路の古寺

古塚暮雪

つかの上の梢なびかす夕風に雪もあとをばうづめざりけり

松雪

枝もはもみなしらかしの雪間より松は嵐にあらはれにけり

松上雪

山里に侘びし寒さはむかしにてみやこも老の冬ぞ堪へうき  
空にのみ亂れみだれて散る雪は風にしたがふ花とこそみれ  
花にしも何かまがへむおもしろき雪は雪とぞ見るべかりける

雪を見て

老が身にさむくふりそふ雪みれば心を花になすべくもなし

朝雪

ふりまがふ雪ふむ駒にあとつけて分け行く道も樂しかりけり

山雪

さつをらがもたせの弓のたけにしも餘りてつもる山の雪かな

峰雪

麓には時雨の雲間みえてけり高嶺のみ雪いまや晴れなむ

柿雪

ひきなやむ道うづもれて奥山の柿木も雪にいでにけるかな

關雪

關もりも夜をまどはしてあけつらむ雪にあとある足柄の山

川雪

隅田川こぎ行く船の跡もなしたただ白たへの雪のあけほの

堤路はゆきかひ絶えてすみだ川ふねのみきほふ雪のあけほの  
よる波の色こそなけれ隅田川雪より明るる四方のひかりに

したをれはいとはぬ松のみさをとてねたみ顔にも積る雪かな

竹林雪

千尋あるものと思ひし吳竹も手にとるばかりたわむ雪かな

雪中竹

下をれの音身にしむる雪の夜にくだくるたけの心をぞ知る

吳竹は雪ふりつみて聲もなし風のやどりや夜半にかへけむ

雪の降りけるを見て思ふことを

我が身には雪とふりつゝ人みな的心をいかで花になすらむ

雪ふりけるあした故郷へ文のついでに

みやこには空にけぬべき初雪を山に降らせて君や見るらむ

雪の降りけるあした

降りつもる雪はあさま峰つゞき楨の葉しなふ奥はいかにぞ

神路山に雪の降りけるあした

神さぶる光を添へていとゞしく雪しづかなる松のむらだち

寄雪雜

はかなしと何かは雪を思ひけむ積りてなれる富士もあるよに

狩場風

はや鷹も翼ながるゝみ狩野にあらし吹きまく音のはけしさ

野鷹狩



隠れてもありかしらるゝみ狩野にみのをはり知る鳥の哀れさ

埋火

忘れゆく雪の寒さにまがへども灰あたゝけき埋み火のもと  
埋火にわがよの更もわすられて昔の春をかたる夜半かな

爐火

ほだくぶる賤が軒端のうす烟かをる夕べもはるめきにけり

神樂

朝倉の聲面白くなりけりあそびはすとも神ないさめそ

佛名

唱へてもつくれる罪や残るらむ佛の名さへかぎりあるよに

梅花先春

寒さにや又やしほまむ梅の花春たちてこそ咲くべかりけれ

年内早梅

すてかぬる年の惜しきをまだきより春になしても梅は咲きけむ

待春

老が身は春まつべくもあらなくに幼な心のまだもやまぬか

歳暮歌

歳暮

跡もなくただ消え消ゆる年月を立ち歸るべく思ひけるかな  
月花に遊ぶと見しは夢なれやさめてはかなき今日の暮かな  
あすありと思ふ心も忘れてひたすら惜しむ今日のくれかな  
神代より始もはても無き年をなに送りてか何迎ふらむ  
世の常もあだにすぎさぬ我なれど今日あらためて惜しき年哉  
徒に過ぎしそのよはかすならで惜しとは今年おもひけるかな

山家歳暮

曆なき我が山里もくれぬめり寒さはいつかつきむとすらむ

閑居歳暮

さもこそは心急がぬ宿ならめ暮れ行く年の遅くもあるかな  
よを捨てし心の奥の塵までも雪ふりかくす年の暮かな

歳暮雪

入る月の影はかたぶく山の端に光をのこす雪のいろかな

學者惜年

讀む書をとちめむとする明方にわがよの更の惜しき年かな  
よみ残す机の書はそれながらつくる曆ぞ惜しまれにける

五十になりける年の暮に  
船出するいそぢの波にひろひけり心にもあらぬ物忘れ貝

七十の年のくれに歳暮祝を

書きをへし七十の書のかすかすをあはせて祝ふ年の暮かな  
稀といふ年も過してかすならぬ身をさへ祝ふ今日のくれかな  
數ならぬ身を祝ふと思ふらむ七十の年を人の知らねば

除夜

やはらるゝ今宵の鬼にあらなくに老が身かくす方ぞ知られぬ  
市人のこゑをさまれる都路に今はと年や行きかよふらむ  
硯には海をたゝへてありながらこの夕しほの限をぞおもふ  
をしむにはいつかは年のとまりけむ借しもこりぬ此の夕べかな  
事なくして巻き收めける身のさちを曆につけて祝ひつるかな  
よむ書も早く見さしゝ年の内に今宵となりて何をしむべき  
梅の花咲かぬかしろの雪だにも空しく消えて年はくれけり  
いかにして年の關守たゆめけむうちも寝ぬまに夜は明けけり  
更くる夜を鐘にとちめて庭鳥の聲あたらしき年のそらかな  
をしと思ふ心の末も限あれば燈火けちてそらぞ明け行く  
讀む書も月も残れる窓の戸にひま見えそめて夜は明けにけり  
ねられぬをしひてぬるまに夜は更けぬ今こそ年の境なるらめ



鐘のねにこそをとちめて鶏の聲あたらしき年やむかへむ  
今宵はと心とよめて惜しめども年はさはず早あけにけり  
寝ても待ち寝でも待ちける年なれど空はひとつに明け果にけり

病中除夜

手力もあらぬこの身は天の戸の明くるを待ちて年を知るかな  
隙つなく駒しなければ行く年を追ひまどはして歎く暮かな

閑中除夜

かねの音に更け行く年をまかせ置きて心静かに眠る年かな

除夜讀書

惜しと思ふ心の糸をとちめにて讀みさす書に夜はあけにけり

戀歌

初戀

もの思ふはじめはありて我が心をはり知られぬ戀の道かな  
思ひ入る戀の山路のくるしきをいかゞはすべき猶やわくべき  
幼戀  
いわけなきそのうひ事のもりなばと思ふばかりを歎く頃かな

祈神戀

石上ふりにしこひをあらためていのる月日も久にへにけり  
あふまでの命をだにと祈るかな行末かけてたのみがたさに

契戀

中々にかはりかはらぬ言の葉もかけぬや深き契なるらむ  
遣車待戀  
わがこふる力車をやりそへつれなき人もひきやよせまし

歎無名戀

ほしあへぬその濡衣の朽ちもせでつれなき物はうき名なりけり  
如何にして云ひ流されし我ならむつらき名取の川ならぬ身に

別戀

諸共に月の顔のみまもられてわかれむ空もあらぬ夜半かな

後朝戀

思ひやれ今朝やる文のもじだにも消え行く許りくらす心を

偽戀

戀故はいまだならはぬ偽もつらきにつけて云はむと思ふ  
嬉しさをつゝみし袂空しくて人の言の葉ほころびにけり

互偽戀

年を経てこりぬ心のつれなきにわが偽もあらはれやせむ

恨絶戀

とけざりし心思へばかた糸のたえての後もうらめしきかな

疑戀

いかにせむたち隠れても見てましを人の心の隈もなきかな

戀不離身

さまざまに思ふ思ひの一つだに我が身はなれぬ戀の道かな

戀不知程

大海もめぐればもとに歸るてふはてなき戀も我はするかな

夢中戀

うつゝにはいかでか道のなかるらむ渡ると見てし夢の浮橋

馬上戀

妹がりは駒の心もやさしきにいつより道をならしそめけむ



路上戀

玉梓の道ゆくらもしるからば歸るさいかに嬉しからまし  
へだてける君が心をうちそへていとゞはるけき道の空かな

忍歸戀

人しれず閨の板戸はあけたれどかへりわづらふ月の影かな  
夕戀

被返書戀

おしかへす力もなくて小車のわれからくゆる水くきのあと  
被厭戀

途難戀

厭ひしはことにもあらず思ひしを苦しや人に厭はるゝ身は  
難かりしそのかた糸の節こそは解くるはしにてありける物を

夏戀

卯の花に重ねし袖のあやしきは我もながめにくたすなりけり  
夏忍戀

雪中戀

いかにして忍ぶ思は見せましと夏蟲ならぬ身を恨みつゝ  
夜をこめて雪にかへりし妹が門あくるけしきの何急ぐらむ

色かへぬ常磐の松を吹く風につれなきものとよそに見しかな  
寄夢戀

寄刀戀

恨みてもいはむかたなのさやなれや君が心は隔てのみして  
寄鳥戀

わが戀は雲居を渡る鳥なれやめにのみ見えて遠ざかりつゝ

寄若菜戀

手につめばまだうらわかき若草を心のうちに結びてぞ見る  
珍しとはつかに見ゆる初草はいつねよけにもならむとすらむ

寄涙戀

涙川浮ぶ水泡と身をなさばくるしき瀬々に消えもせましを  
寄烟戀

寄衣戀

古へはよそへし富士の烟だにいまはなきよの我が思かな  
隔てなき中の衣に同じくはきぬぎぬといふことなくもがな

寄船戀

わが戀は碇うしなふ船なれやこゝぞとまりといふときのなき  
くれどなほ人をみぬちの郡には戸隠し山のあればなるらむ

寄簾戀

ゆるされて入るかひもなき玉すだれ心の通ふ道しるべせよ  
寄屋戀

寄物語名戀

東屋のまやの餘りの戀しさにふける板目もあはでねにけり  
つれもなく思ひしらぬに思ふかなとりかへばやと人の心を



雑歌

天

春秋ののどけき見ればみ雪ふり照りはたける空としもなし

雲

入日さすとよはた雲の紅もおもかけのみに消えのこりけり  
大空の風をたねなる白雲はねをとどむべきやまだにもなし

朝雲

夕ぐれの雨となりてや歸るらむ朝たちいでし峰のしら雲

橋雨

村雨は谷間づたひにのほるらむ今こそかゝれ峰のかけはし

曉寐覺

中々に音きゝなれてさびしきは鐘より後の寢覺なりけり

曉鐘

ねぞめして待つほどもなく聞えけりまくらになれし曉の鐘

朝

ひるはなど思ひそふらむ朝ごとのねぞめ空しくなれる心に  
いかなれば夕べの空の悲しさを長閑になして夜は明けぬらむ  
かくばかりのどけしと思ふ朝心夕べはいかで悲しかるらむ

富士晴雪

隅田川うかべる雲のかけきえて遠く晴れたる富士の雪かな

關

旅人があはれをこめし關の戸は開くる御代に跡もとどめず  
關こえて行くみちのくの白川も知らぬ昔のあはれなりけり

驛路

碓氷山ほらの中道ゆけふはうまやのをさの家居だになし

湖

諏訪の海の氷をわたる神ごゝろあやふき道を人に知れとか

諏訪湖

ひらけ行く道ぞあやふき諏訪の海やかけし氷の跡のしら波

諏訪の湖に燃ゆる油の水上に湧き出づるを見て

國土やまだわかゝらし今もなほ浮べるあぶら波にたゆたふ

諏訪湖八景

戸川暮雪

くれ残る戸川の水の色きえてまさごぢ白くつもる雪かな

濱澤夜雨

小船こぐよかはの波はをさまりて雨しづかなる濱澤のさと

守屋晴嵐

雑山

賢しきはおほかた出でてみ芳野の山に人なき君が御代かな

名所山

つまどひに争ひまけてうき事を厭ふその名やみゝなしの山  
いかなればつらき名おひて花紅葉たぐひあらしの山にあるらむ

富士

雲居までなれるを見れば神代より多くの年やゆき積りけむ  
神代よりいく歳月をふる雪のつもりてなれる富士の山そも  
雪つもる多くの歳をねざしにて雲居になれるふじの山かも  
塵ひぢにありし其世やいかならむ雲居の富士の高くもあるかも

この花のさくやひめこの光より匂ひ出でたる富士の雪かも  
雪のみを根ざしと思ひし富士の嶺は多くの年の積るなりけり  
富士の嶺の雲をねざしにふりつみて國の光となれる雪かも  
富士のねは神代の雪をねざしにていく重なる山にかあるらむ  
雲居迄登れる富士も塵ひぢにありしその世のありやしつらむ  
大空のものと思ひし富士のねはなほ日の本の山にざりける  
日の本のものとは神やさだめけむ高く貴き富士のたかねを  
久方のあめのものなる富士のねを國の寶とおもひけるかな  
大空の縁にねざす富士の根をくにのものとも思ひけるかな

守屋山神のいぶきの末はれて夕日かがやく諏訪のうみづら

衣崎歸帆

船はみなかた帆になりぬ夕ぐれの衣のわたり風かはるらし

千壽晚鐘

くれ知らぬ海のおもての釣舟にこゑをつたふる入相のかね

文手落雁

霧こむるふみでの里の夕まぐれ聲のみおつる小田の雁がね

高濱夕照

うちよする音たか濱の夕浪に入日をあらふ諏訪のうみづら

小坂秋月

明けかゝる海の面をよそにして小坂のもりに月ぞやどれる

衣が崎

大空の縁にねざす富士のねを波こゝもとにうつしてぞ見る

犀川

水上は穂高の奥にかよひけり神のひらきしさいかはのみづ

わたつみのほたかの神やつくりけむ山きりとほす犀川の水

久米棧橋

かけそめしその世の岩を柱にて萬代たえぬ久米のかけはし



よそめには危きものと思ひけり岩もてなれる久米のかけ橋

名所里

山畑は家居となりていしずるも島にひかる、かまくらの里  
あらはさぬ妹が家路は遠くともなほ分け行かむ玉嶋のさと  
なにかその川上までは尋ねけむかへるさ遠し玉しまのさと  
手づくりの色おもほゆる玉川にかけをさらして浮ぶ月かな

畑織渡

山祇の神のみけしのはたおりと清見が瀧にうちさらすらむ

鹽竈村

流れ行くみゆをたへて鹽がまの畑にぎはふ里となりぬる

名所瀧

君が代はつゞみの瀧も苔むしていたづらになる水の音かな

遠開川浪

ふもと川流れ行く瀬や變りけむさゞれにかゝる音の聞ゆる

晴後遠水

吹きおろす雲の行方をほのみせて夕風はる、遠のやまがは

遠望帆

雲の波けぶりの波に入りにけり今こそかぎり沖の帆かけも  
眞帆あけて畑の波に入る船の追ひ手やめぢの限りなるらむ

雲海漫々

雲の波深きあたりやとこよべに行きかふ道のわたつみの原

孤島残月

島山の松をかぎりに残るらむかたぶきかゝる波の上の月  
月ひとり残ると思ひし磯山の松の木かけに船ぞとまれる

古戰場

さきだちし駒の腹帯のゆるびをのうちとけがたき人心かな

城山懐古

城山の松もひびきやあはすらむ恨にむせぶ谷川のみづ

山家雲

我がいほの軒端のものとなりにけり出で、は歸る峰の白雲

山家烟

吹きおろす峰の嵐にはらはれて軒端に歸る夕けぶりかな

山家夕

さびしさを常になしたる山里も夕べの空の色ぞ身にしむ

山家客來

都にはいまだ出さぬにひこのめ我が山つともて歸らなむ

山家烟

御田や守見てや定めむ年々ににぎはひまさる民のかまどを

いろかへぬ心ふかさは中々に松にしてこそ知るべかりけれ

磯松

よそにてはこゆらむ磯と思ひしを松こそ波のかぎりなりけれ  
風吹けば松の上葉に露ちりて磯にくだくる波のおとかな

古松

霜といふものに始めて逢ひしよもありけるものを庭の老松

羈中松

旅人のたえず立ちよる松陰は風はやどりをかるにざりける

庭竹

吹く風はいづこの限にやどるらむまだよ短き庭のくれたけ  
今年生は何のふしきへなかりけりすなほにのぶる庭の吳竹

田家竹

すぐなるを軒端の竹にならばなむなびくは民の心なれども

緑竹年久

色かへぬ竹の葉山のそれながらいく一入をとしにそへけむ

釋竹契齡

若竹のよ毎に千代をこめたればのび行く節ぞかぎり知られぬ

朝鶴

明けてこそ聞くべき物を何しかも霜夜の田鶴に物思ひけむ

閑居草

のがれすむ心や種となりぬらむ世を忘れ草のきに生ふなり

山居夕

いつとなく軒端をこむる八重雲にくる、きは見ぬ深山邊の里

木

から國にふさはぬ種とさくら木は神や定めて持ち歸りけむ

松

ひかれにし野邊の遊びを思ふにも寒き霜夜の松や身にしむ

松樹似烟

吹く風にたえだえなびく姿までまつは畑にまがひはてけり

翠松遶家

ぬしやたれ問へども松の風ならで答へぬ宿のあるじなるらむ

松色映水

早き瀬に流れぬ松の色みればかけさへ水にねざしとめけむ

松影映水

水底の松にも風やよどすらむそよけば寄する池のさざなみ

雲居にもほると思ひし松が枝を淵に沈める龍かとぞ見し

松不改色

朽ちやすきものとや人を思ふらむ霜より後の松のこゝろに



晴天鶴

大空を翼にかけて行くたづはおのが友をや雲と見るらむ

浦鶴

よする波しきつが浦のあし田鶴は世をふる數に比べてやすむ

松上鶴

松が枝はつちにつけども鳴く田鶴の聲は雲居にたち登りけり  
今年よりすみそめてける雛鶴は何れの松に巢だちそめけむ

鶴龜

龜山の影をうつして行く水に聲さへたぐふ田鶴のむらとり

閑居鳥

隠れ住む軒端にすだく群雀あながま世にはありと知らすな

靈鷹

あら浪を遠くかけりてはし鷹のはねうつ音は國もとどろに

龍

うろくづにかき濁されて水底のうきにも暫し龍はすむらむ

夜宴

燈火をとりて遊べばよる光る玉さへ得たるこゝちこそすれ

舞

琴のねも鼓もせまる夕ぐれに日も入りあやの手を盡しけり

碁

小黑崎みつの小島のまなこちによるしら波のおとのさやけさ

夢園碁

かちまけも夢の如しと知らねばやなき手の限りうち出すらむ

寶

つたへます君ゆるこそは貴けれ三種のたから人は知らねど

玉

豊なる瑞穂の稻にかへてこそこがねも國のたからなりけれ

唐人

唐人がそのたはわざも七わたの玉の緒よりや思ひ絶えけむ

漁舟

蟹小舟よそめのどけき沖はあれど寄邊なきさになど漁るらむ

鐵道

山をさへ抜くといふなる世の人のちから車の通ひ路ぞこれ

汽車

烟のみ跡に残して妻も子もひきくるまの路ぞやすけき

電信

言の葉を四方に傳へてひく糸のかけ離れたる國もなきかな

風船

ゆるされて通はぬくもの道なれば天の岩戸も神はひらかじ

諸物俊寛

引きとめし綱さへたえて薩摩瀧みを繋ぐべき船だにもなし

諸物郡郞

老の波にはかに寄する音すなりいそ枕にやわれは寐にけむ

諸物安宅

さまかへてつれなく見えしたばかりも心の涙せきやとめける

諸物鉢木

宿かさぬ心づよさのたわますば雪ふる松もいかで折られむ

琴

いかさまにひきうつしてか物いはぬ琴に思ひの通ひそめけむ

鼓

たつ波に聲をあはせてあだ船もうちかへしたる鼓なりけり

聞笛

をこたりをせめし鼓も名のみにて諫めの聲も今はやみにき

文車

笛のねは吹きとほせども大空の雲のゆき、はなほとまりけり  
あけまきが草刈りはてし夕暮の笛の音淋しいつはあれども

文車

燈火に油さしそへ夜もすがらなほ文車をひきかへしつ、  
文車を心のうちにきしらせて難きふしをぞ分けなやみける

寫眞

いかばかりやさしからまし目に見えぬ心の隅のかゝらましかば

瓦斯燈

ひきわけて送るけぶりの枝々によるの花咲く玉しきのみち

窓燈

照る月の影のすくなき山窓はともし火のみぞひかりなりける

北海道の樺もてつくれる短冊に

これもまた御代のひかりと文机にてらし添へたる窓の燈火

ことの葉の花に匂ひて奥えぞのかには櫻も世にはいつらむ

信濃國伊那郡箇原村なる箒木の板を武井一郎より送られ

たりこれを聯といふものにつくりて柱にかけてよめる

きえやらぬ世々の形見の箒木をかたへにありと見るが樂しさ

都路の塵の中にもいでにけり賤が伏屋におふるは、き木

渡邊千秋が淀の水車のつるべ一つもてるを見せて歌一つ

乞ひければ

めぐりこしそのかたわれの水車問はばや淀のかはり行く瀬を

信濃國御嶽山なる岩茸といふものを人のもとよりおこせ

ければ

御嶽山神の國なる茸の名にあえてやいはのよはひ經ぬべき